

RADIO CONTROLLED ELECTRIC POWERED RACING BUGGY

4WD OFF-ROAD RACER

OPTIMA

- ★DESIGNED FOR HIGH PERFORMANCE
- ★FOUR-WHEEL DRIVE FOR MAXIMUM TRACTION
- ★SELECTABLE FRONT/REAR POWER BIAS
- ★EXTRA LONG WISHBONES FOR NEGLIGIBLE BUMP STEERING
- ★SPIKE TIRES OPTIMIZED FOR FOUR-WHEEL DRIVE
- ★LIGHT WEIGHT FOR QUICKEST ACCELERATION
- ★SHIELDED DRIVE CHAIN FOR LONGEST LIFE
- ★TRUE GEAR-TYPE DIFFERENTIALS FRONT AND REAR
- ★PRECISION-MOLDED DRIVETRAIN GEARS FOR SMOOTH POWER DELIVERY
- ★LOW-RESISTANCE SPEED CONTROLLER FOR LOW POWER LOSS
- ★HIGH GROUND CLEARANCE AND LONG SUSPENSION TRAVEL
- ★OIL-FILLED SHOCK ABSORBERS ON ALL WHEELS
- ★HIGH-STRENGTH ALUMINUM AND GLASS-FILLED NYLON PARTS
- ★PERFECT 50-50 WEIGHT DISTRIBUTION
- ★TRUE GEOMETRY ACKERMAN STEERING LINKAGE
- ★EASY STEP-BY-STEP ASSEMBLY INSTRUCTIONS

1/10スケール 電動ラジオコントロール レーシング バギー
4WDオフロードレーサー **オプティマ**

1:10 SCALE

BATTERY: 7.2V-1200mAh

RADIO: 2ch.

[NOT INCLUDED]



組立て説明書

KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

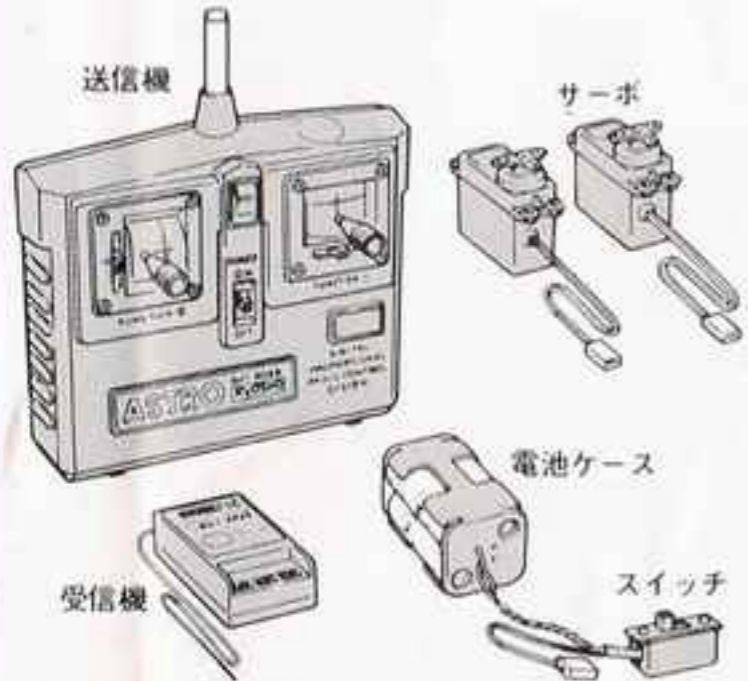
KIT No.4032

- ★コンパートメント四輪駆動システム
- ★デファレンシャルギヤ 前後2基装備
- ★ダブル ウィッシュボーン式 四輪独立懸架
- ★オイルダンパー4基フル装備

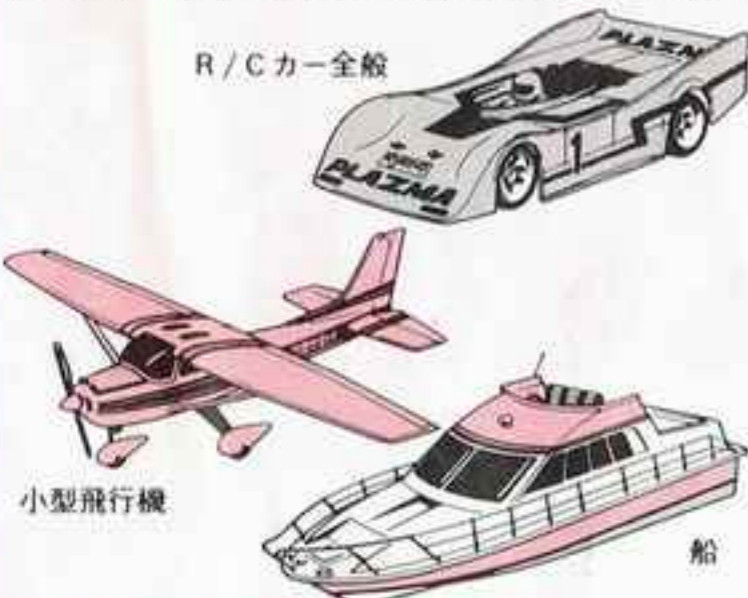
4WD OFF-ROAD RACER OPTIMA

ラジオコントロールプロポとは

このラジオコントロールモデルには2チャンネル・2サーボ・デジタルプロポ方式のラジオコントロール(R/C)メカを使用します。



2チャンネルプロポは1セット購入しておけばいろいろなR/Cモデルを操縦できます。(2チャンネルプロポでR/C操縦できるもの)



ニカドバッテリーとは

正式にはニッケルカドニウム電池といい充電して繰り返し使用できる電池なので乾電池よりはるかに経済的で電圧も一定しているので、R/Cモデルの動力用電源に最も適したバッテリーです。

京商では6N-1200バッテリーとか7.2Vレーシングバッテリーというように明記し販売しております。

6N-1200バッテリーとは、1.2V1200ミリアンペアの電池を6本直列にパックしたバッテリーです。

※ニカドバッテリーはR/Cカー、船などいろいろなR/Cモデルに使用できます。

キット以外にお求めいただくもの

<2チャンネルプロポ>

プロポの送信機にはスティックタイプとハンドルタイプがあります。自分に合ったものをお求め下さい。



<走行用ニカドバッテリー>

このR/Cカーには京商7.2Vレーシングバッテリーが使えます。

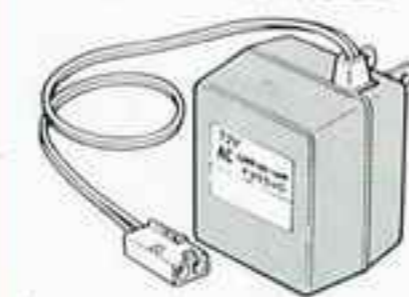


<ニカドバッテリーの充電器>

京商ニカドバッテリーは高性能で正しく充電すれば長期間、使用ができます。充電方法は家庭用100Vコンセントから行なう15時間充電器と自動車のシガーライター又は12Vバッテリーから行なう急速充電器(約15分)があります。使用目的に合った充電器を下の方より選んでお求め下さい。

品番	充電器名	充電時間	充電%	特長	価格
No.2221	スーパーニカド充電器(AC100V)	14~16時間	100%	初心者向	¥ 1,700
No.2207	スーパーニカド急速充電器(DC12V)	15分	約70%	初心者向 タイマー式	¥ 4,800
No.1846	マルチチャージャー(DC12V)	20分	100%	タイマー式 電流計付	¥ 6,800
No.1848	オートチャージャー(DC12V)	約20分	100%	デルタピーク検知式 電流計、電圧計付	¥12,800
No.2232	スーパーニカドAC急速充電器	約40分	約80%	家庭用電源から充電 電子タイマー式	¥ 4,900

No.2221
スーパーニカド充電器



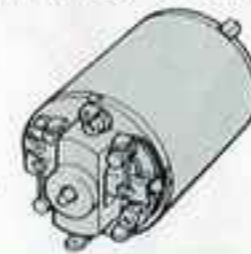
No.1848
オートチャージャー



<モーター>

オプティマにはマブチRS-540Sモーターが標準装備してありますがレース用にマッチングしたレーシングモーター・ミル・マン600E、(汎用ハイトルクタイプ)とミル・マン360PT、(ハイパワー、ハイトルクタイプ)を用意しております。

モーターには付属品としてコード、コンデンサー、取付ビスが入っています。



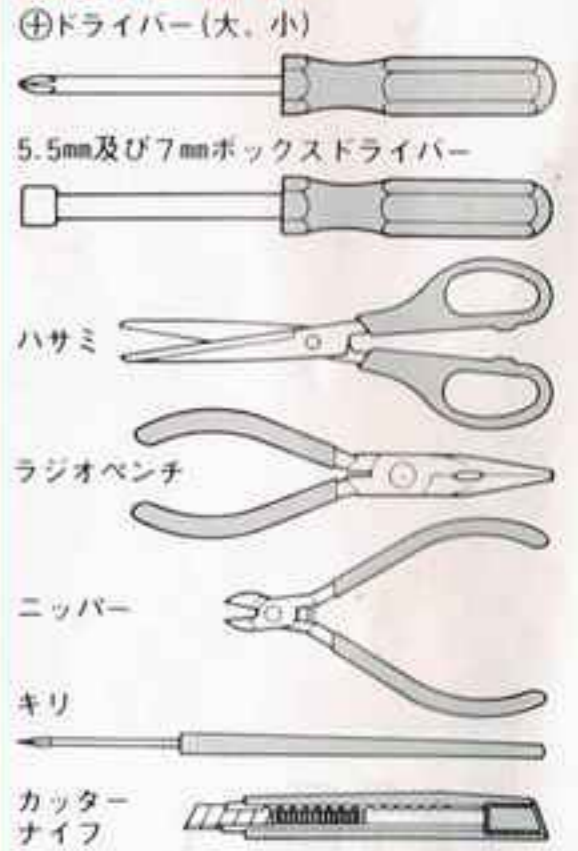
組み立てに必要な工具と接着剤など

<キットに入っている工具>

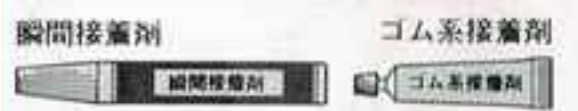


走行中の振動などによりビス、ナットなどがゆるんだり脱落を防ぐのに使います。

<用意する工具等>



<用意する接着剤>

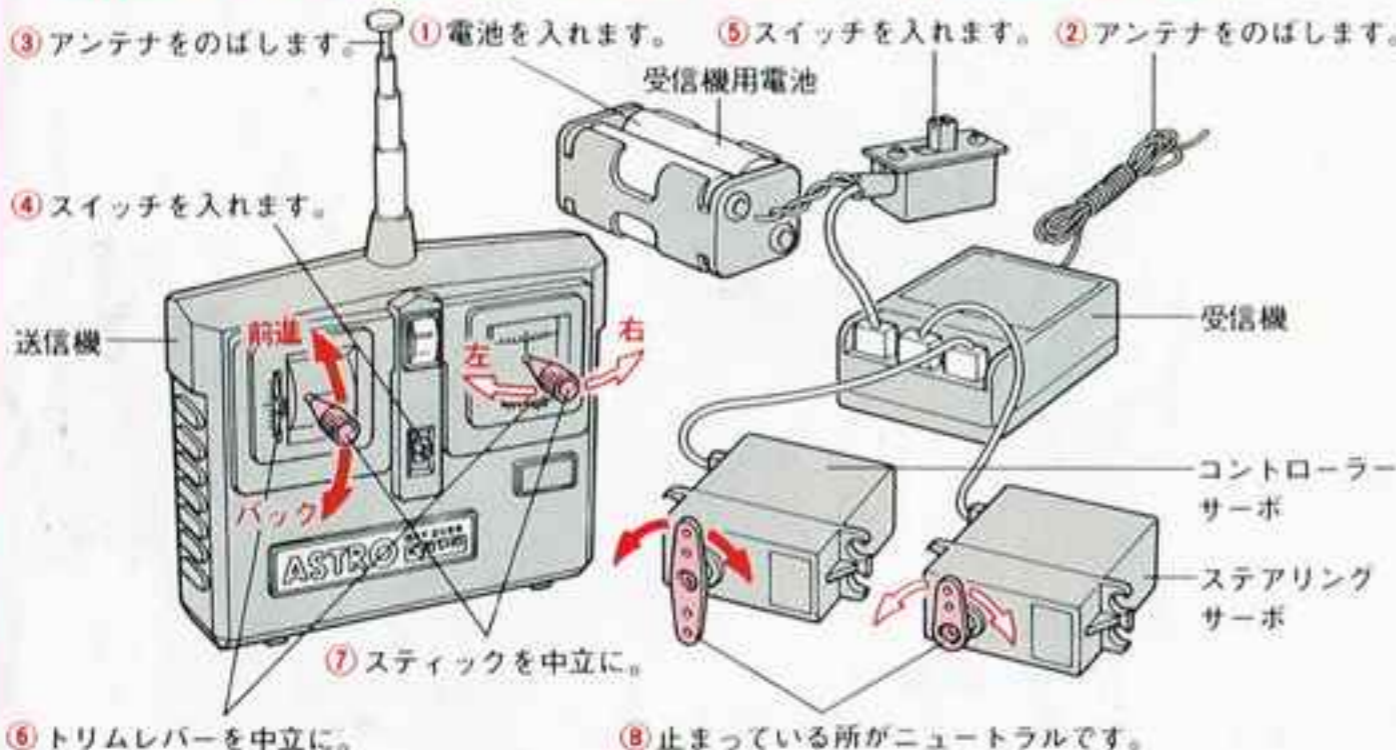


<塗装に必要なもの>



※塗装については取扱書の塗装の項にくわしく出ています。

プロポのチェック 番号順にラジオコントロールメカを動作してみます。



※プロポのスイッチを入れるときは送信機を入れてから受信機のスイッチを入れます。切るときは逆に受信機、送信機の順に切るようくせをつけましょう。

2チャンネルプロポは、送信機、受信機、サーボ、電池ボックスなどから成り立っています。

- 送信機.....操縦するコントロールボックスでスティックの動きを電波でアンテナから発信します。
- 受信機.....送信機からの電波を受けサーボに送ります。
- サーボ.....受信機が受けた電波をモーター、ギヤを使い車のコントロール部を動かす装置です。
- アンテナ.....送信機のアンテナは電波を送り出し、受信機のアンテナは電波が入る重要なものなのでいっばいにのぼし使います。
- トリムレバー.....送信機のトリムレバーはサーボの中立(ニュートラル)をずらし、車の右、左のステアリング及びコントローラーの前進、バックの位置を微調整するレバーです。
- レベルメーター.....送信機の電池の減り及び電波の発振状態を確認するメーターです。
- サーボホーン.....サーボと車のコントロール部をつなぐもので何種類もあり、使用目的にあった形状を使用します。

〈組立てのまえに〉

組立てるまえに説明書を終りまで良く読んで、あらかじめの構造を頭に入れてから組立てるとスムーズに作業が進行します。

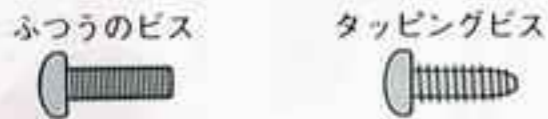
お買い求めの際、又は組立ての前に部品キットの内容をよくお確かめになって下さい。なお、組立てを始められた商品の返品、交換などには応じかねます。又、万一組立て中に不足、不良部品があった時は受用者カードに販売店の印をもらい、京商サービス部までパーツ名を明記の上、ご連絡下さい。

- **SW LOCK** このマークのところにネジロック剤をつけて下さい。
- **グリス** このマークのところにグリスを少量つけて下さい。

〈組立てまえの注意〉

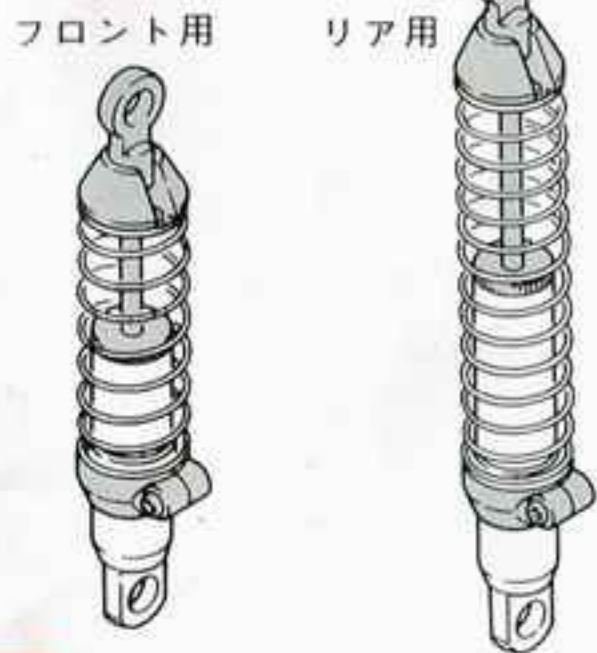
本車はプラスチックパーツを多く採用し、そのためタッピングビスも多く使用しています。

- タッピングビスはふつうのビスにくらべ、ネジ山が少なく、先がはそくなっているビス。



タッピングビスは必要以上にしめるとネジがきかなくなります。ネジ部がパーツの中にかくれ、しめつけがきつくなったところで、しめつけをやめて下さい。それ以上しめつけると、パーツのネジ部がこわれ、ビスがきかなくなります。

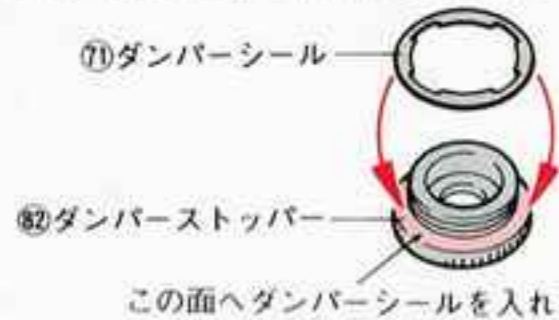
1 ダンパーの分解



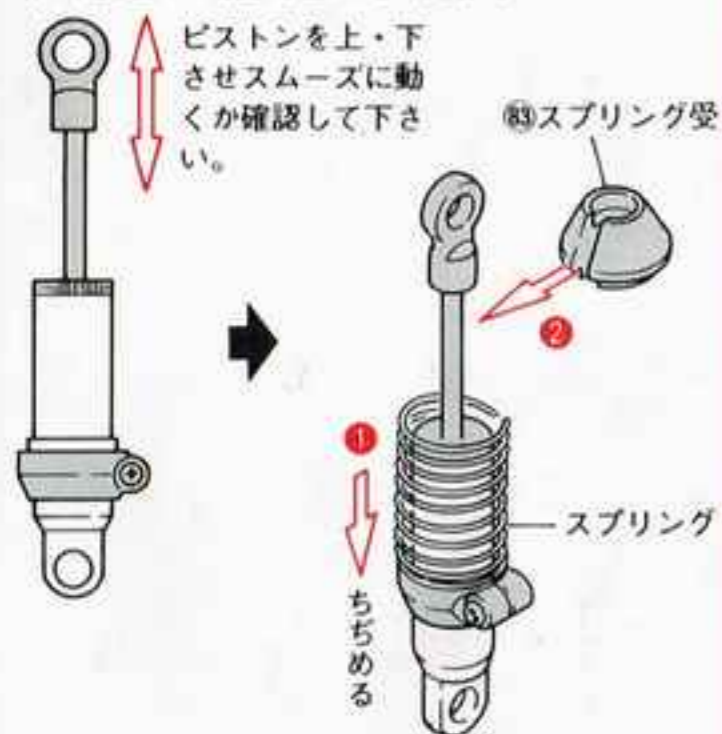
3 ダンパーオイルの注入

〈ダンパーシールの入れ方〉

オイルダンパーにオイルを入れる時、ストッパーにダンパーシールを入れて下さい。
● ダンパーシールは、針のような先のとがったもので少しずつはめ込んで下さい。

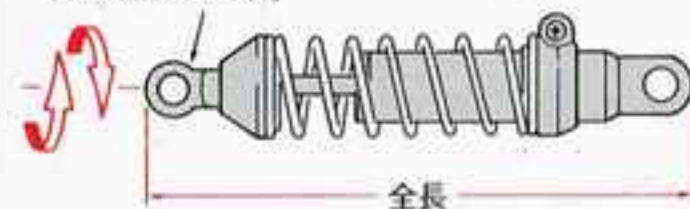


右図のようにオイルを入れたら、下図のように元通りに組み込んで下さい。



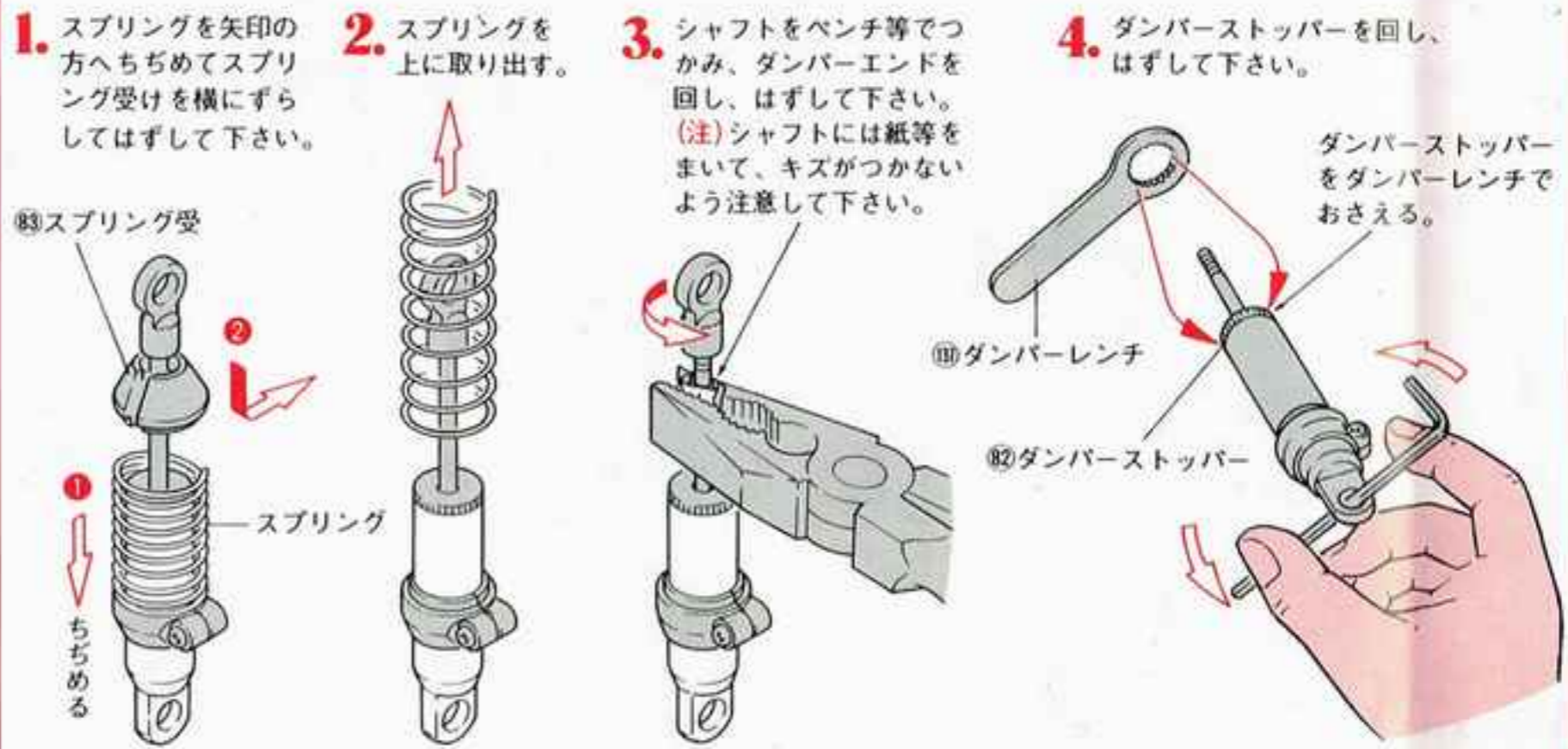
フロント及びリアダンパーの左右の全長が同じになるよう調節して下さい。

ダンパーエンドをねじって長さを合わせる。



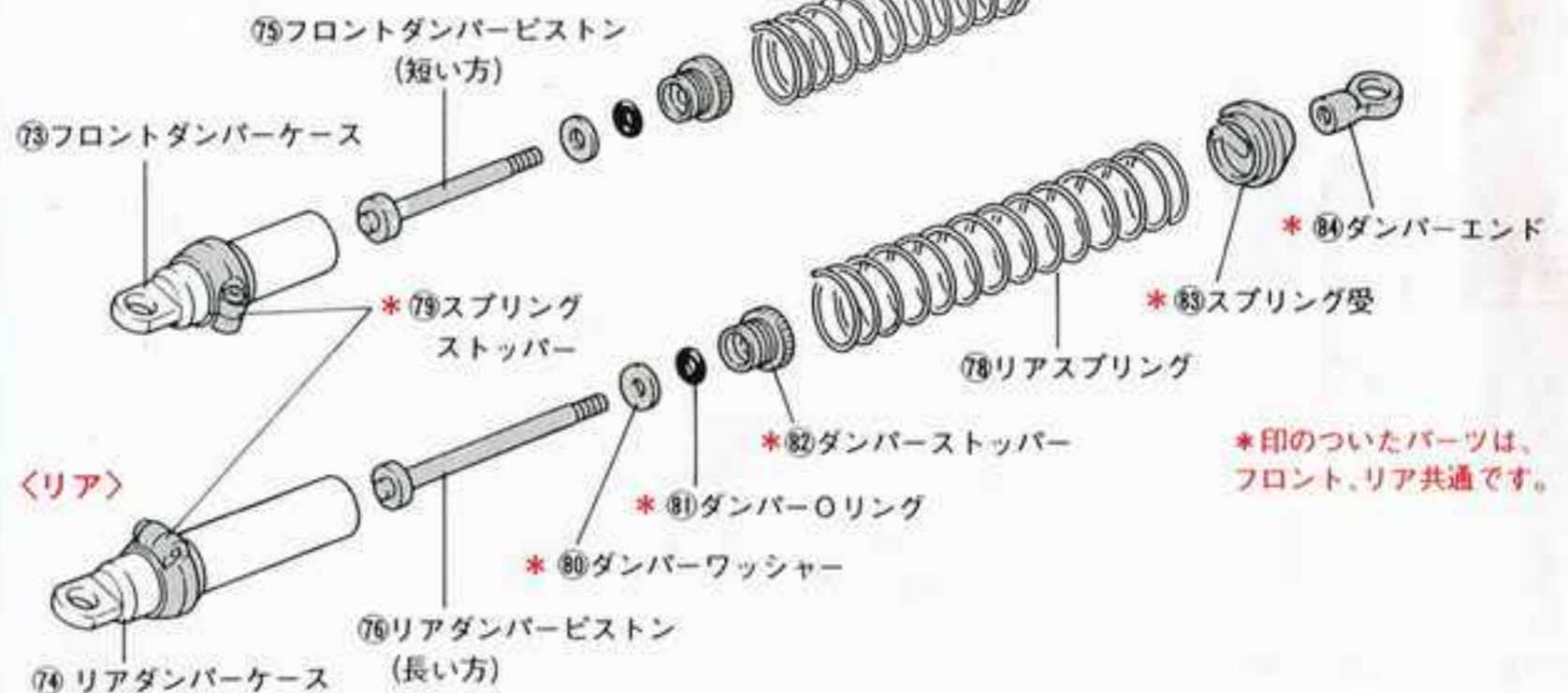
1 ダンパーの分解

※ダンパーは組立済みとなっていますがオイルを入れるため分解して下さい。フロント用とリア用ではパーツが異なるものがありますので1本ずつ分解し、オイルを入れ組みこんで下さい。



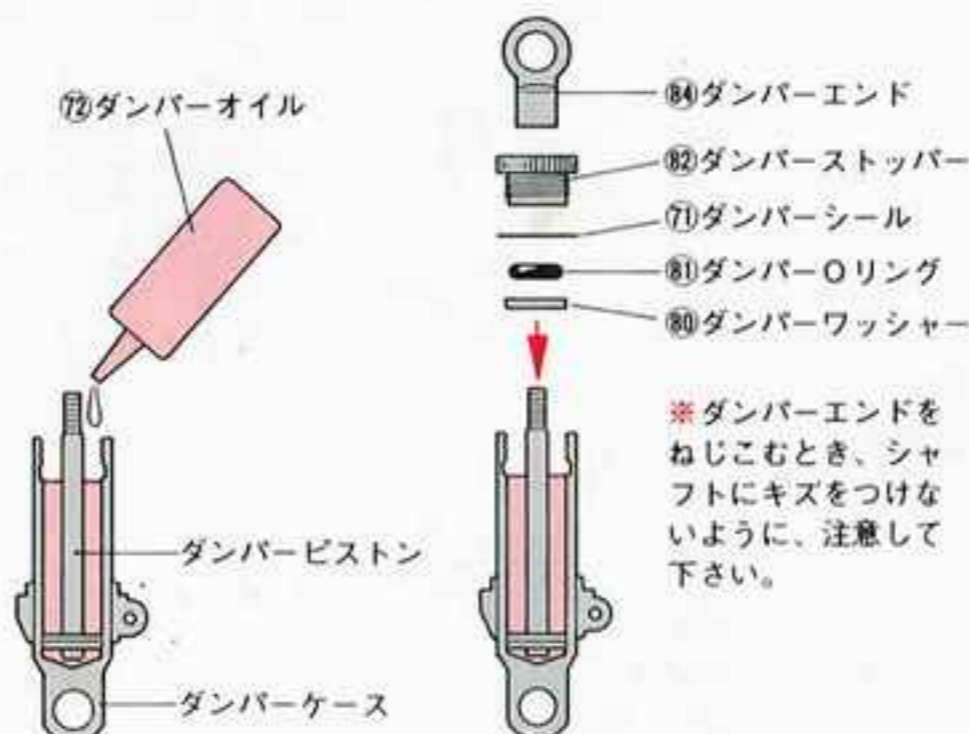
2 ダンパーの分解図

〈フロント〉



3 ダンパーオイルの注入

オイルの注入が終了したら元通りに組立てて下さい。
(注)フロントとリアを間違えないように注意して組むこと。



1. ピストンを一番下まで入れ、中に空気泡が入らないように図の位置までオイルを入れる。
2. 図の順に組立てます。(注)ダンパーシールを必ず入れて下さい。
3. 図のようにしっかりとストッパーをとめて下さい。

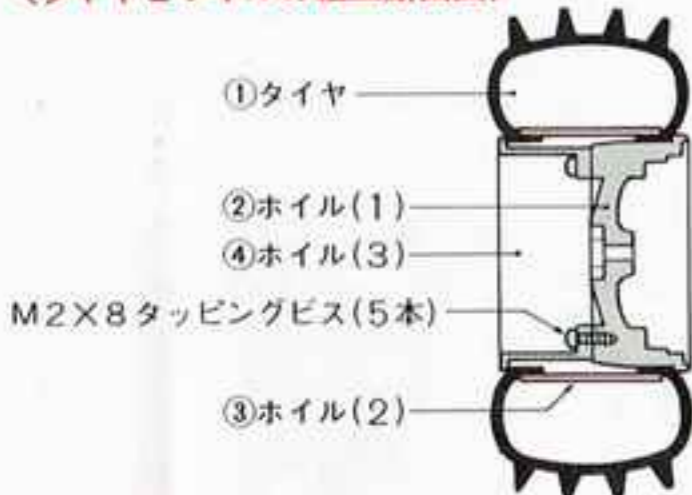
4 タイヤのくみだて

●ビス、ナット、ワッシャー等は原寸で図示してあります。原寸図に合わせて長さや大きさを合わせ、くみだてして下さい。

〈使用する小物パーツ〉

M2×8タッピングビス…20

〈タイヤとホイルの組立断面図〉



5 ジョイントのとりつけ

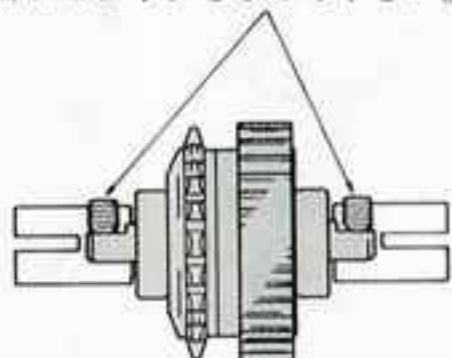
〈使用する小物パーツ〉

M4×4 イモネジ…4

⑤8φ×14ベアリング…4

⑥ジョイント…4

M4×4 イモネジをシャフトの平らなところに合わせ、ネジをしめて下さい。



6 ギヤボックスのくみだて

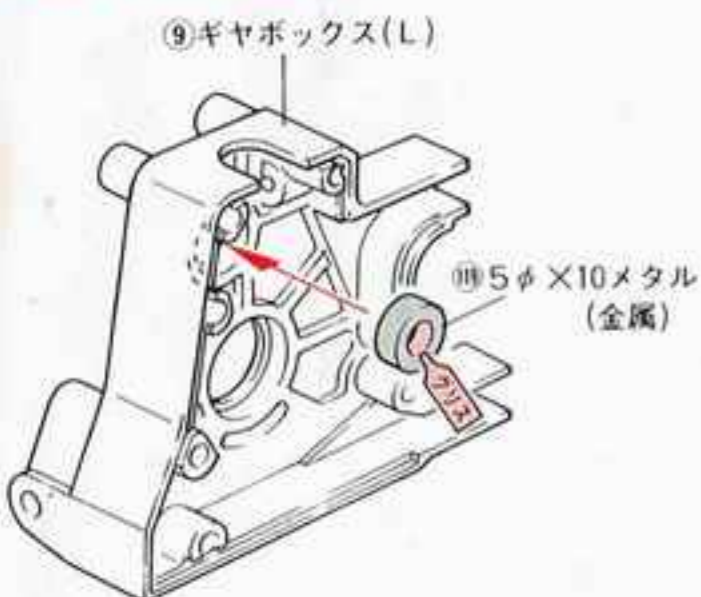
〈使用する小物パーツ〉

M3×18タッピングビス…3

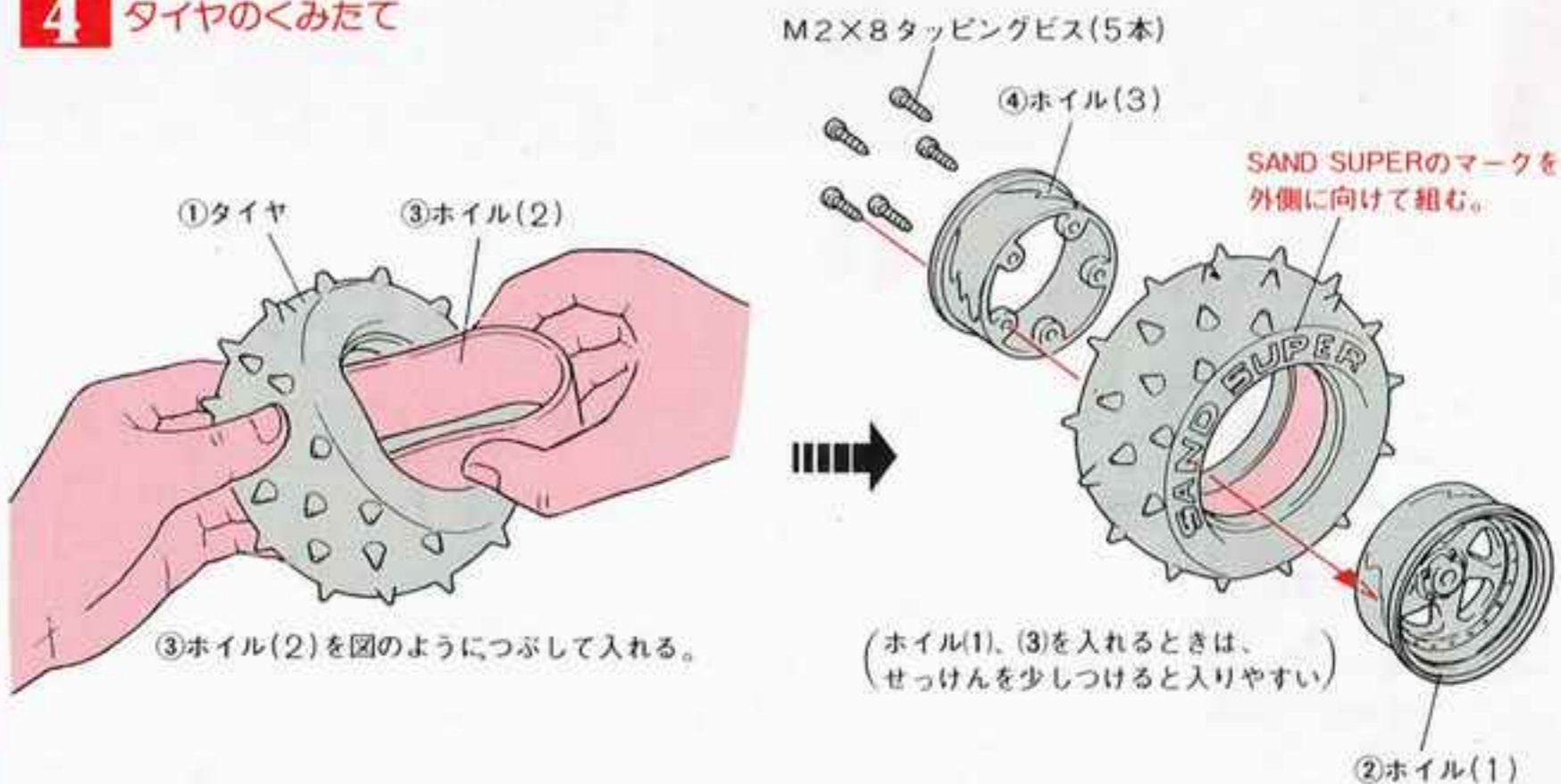
M4×4 イモネジ…1

⑧5φ×10メタル(金属)…1

〈5φメタルを入れる〉



4 タイヤのくみだて



③ホイル(2)を図のようにつぶして入れる。

M2×8タッピングビス(5本)

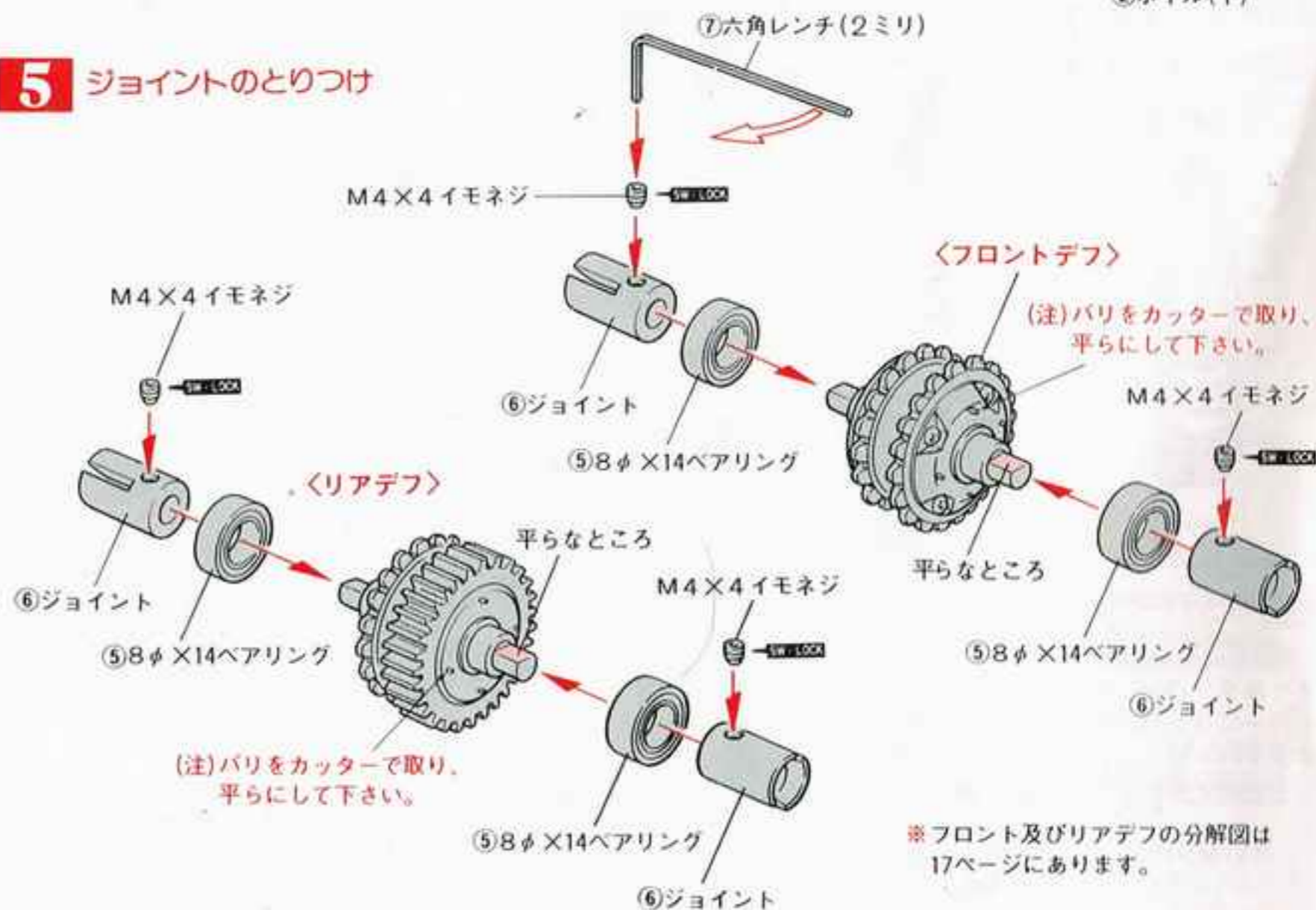
④ホイル(3)

SAND SUPERのマークを外側に向けて組む。

(ホイル(1)、(3)を入れるときは、せっけんを少しつけると入りやすい)

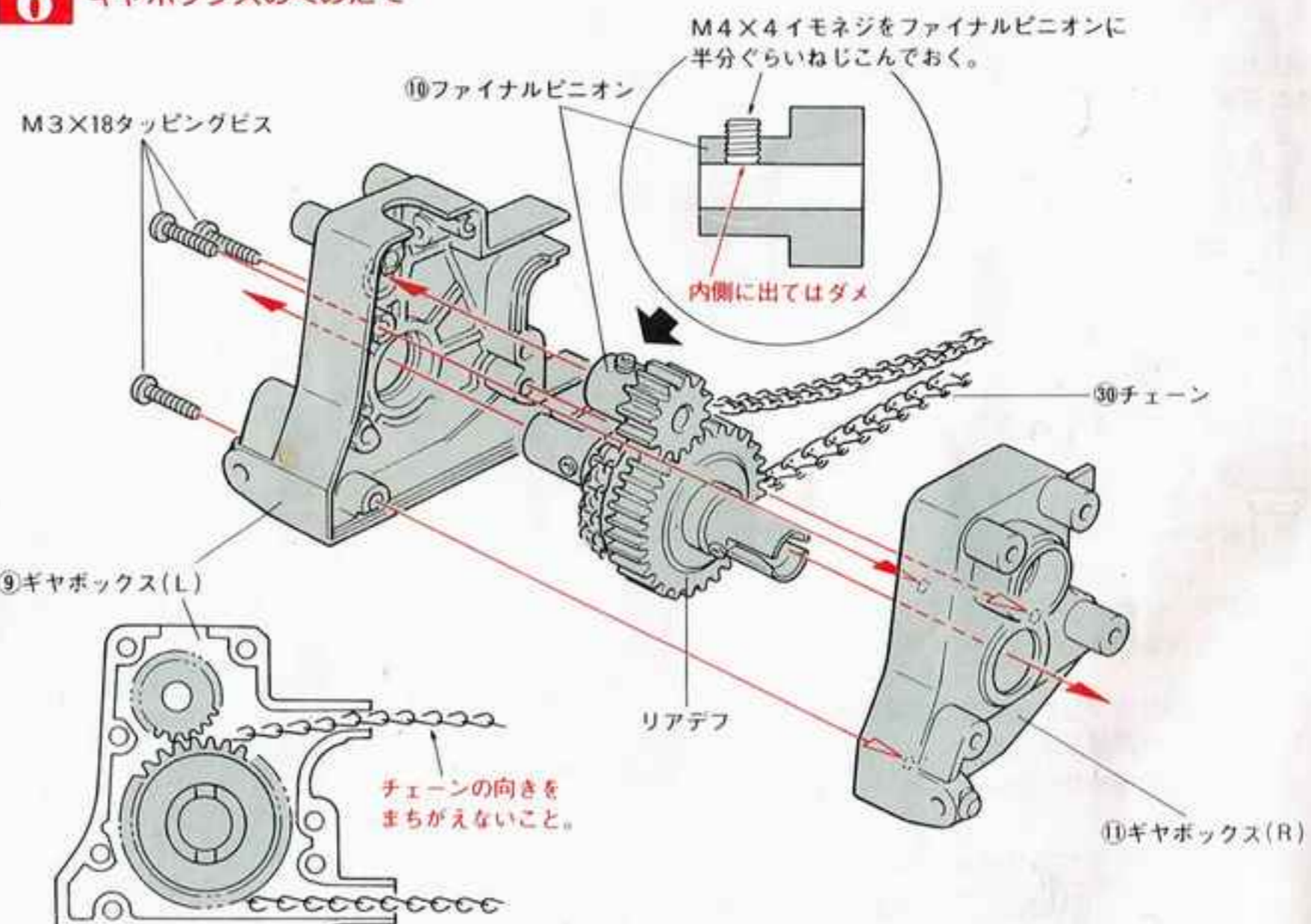
②ホイル(1)

5 ジョイントのとりつけ



※フロント及びリアデフの分解図は17ページにあります。

6 ギヤボックスのくみだて



⑨ギヤボックス(L)に各パーツを図のようにセットし、⑩ギヤボックス(R)をかぶせる。

7 ギヤベースのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×8ビス……………3

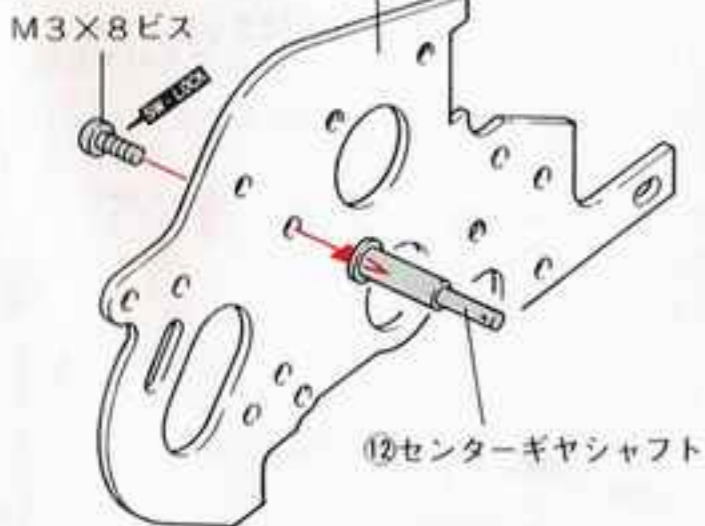
M3×45バインドビス……4

⑫センターギヤシャフト…1

M3スプリングワッシャー……4

〈センターギヤシャフトのとりつけ〉

⑬リアプレート(R)



8 ファイナルピニオンのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

⑩5φ×10メタル(金属)…1

9 リアダンパーステーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×12タッピングビス…2

M3×15ビス……………2

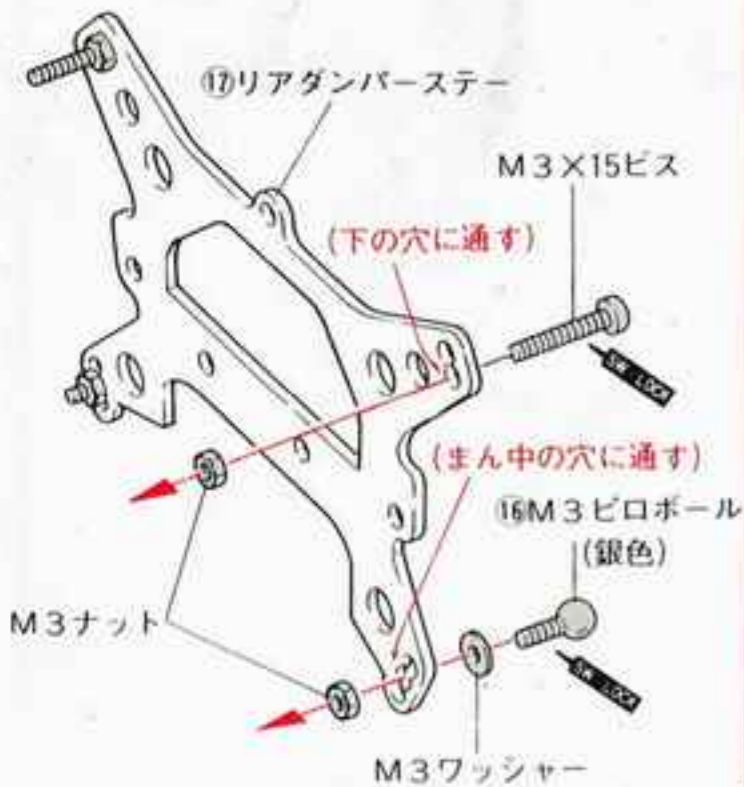
M3ナット……………4

M3ワッシャー……………2

⑩M3ピロボール(銀色)…2

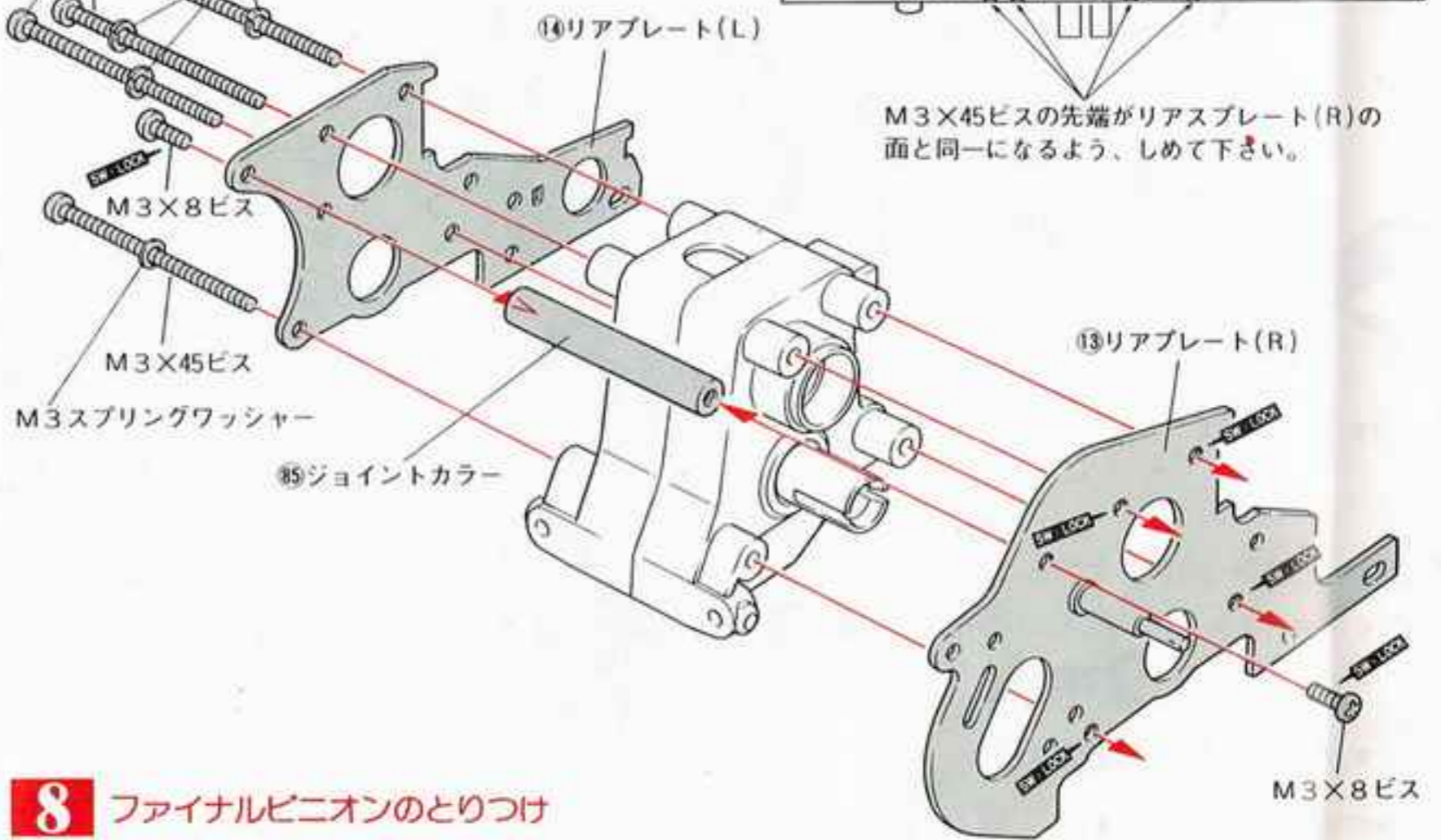
⑱ギヤボックスハッチ……1
(プラスチック)

〈リアダンパーステーにビスをとりつける〉

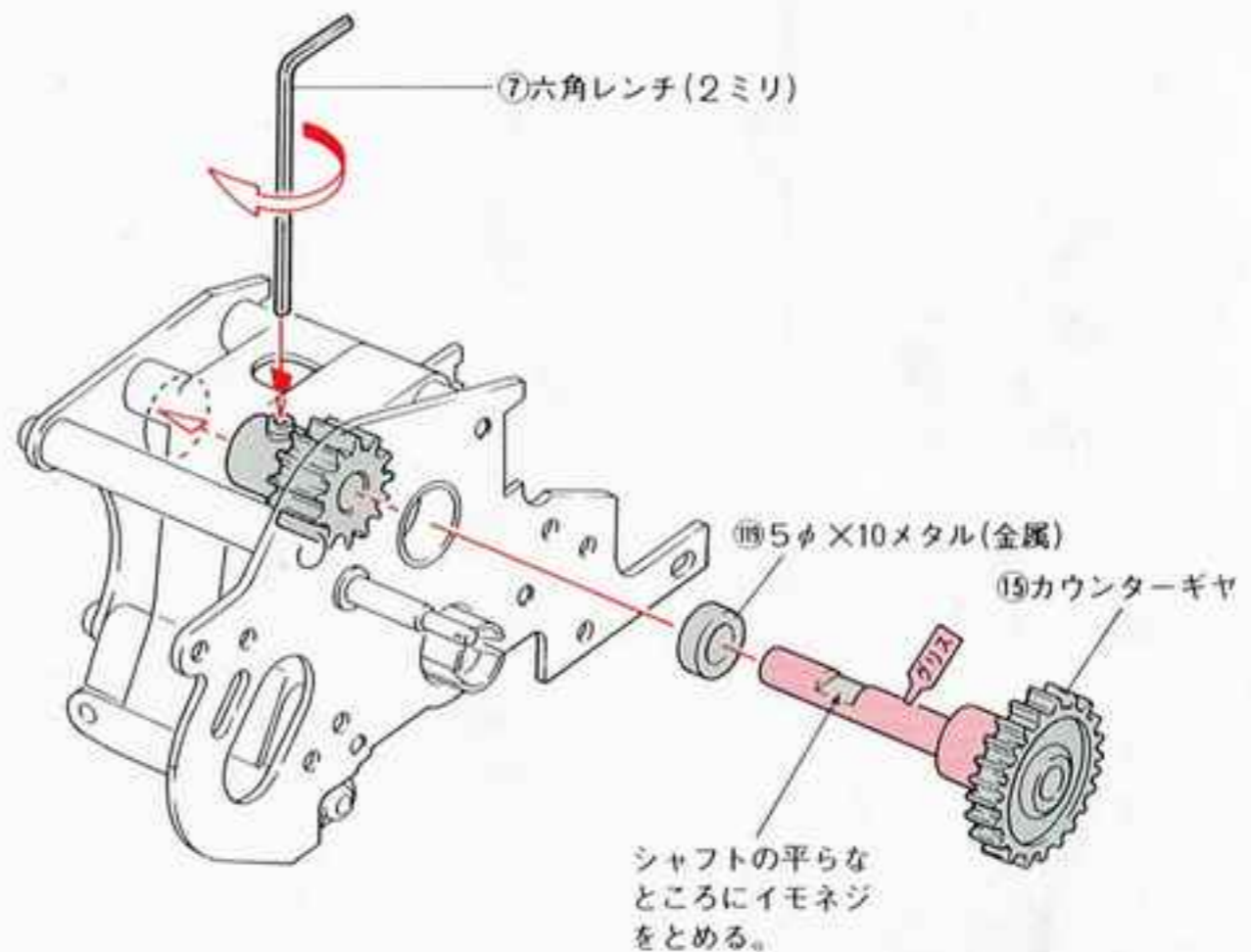


7 ギヤベースのとりつけ

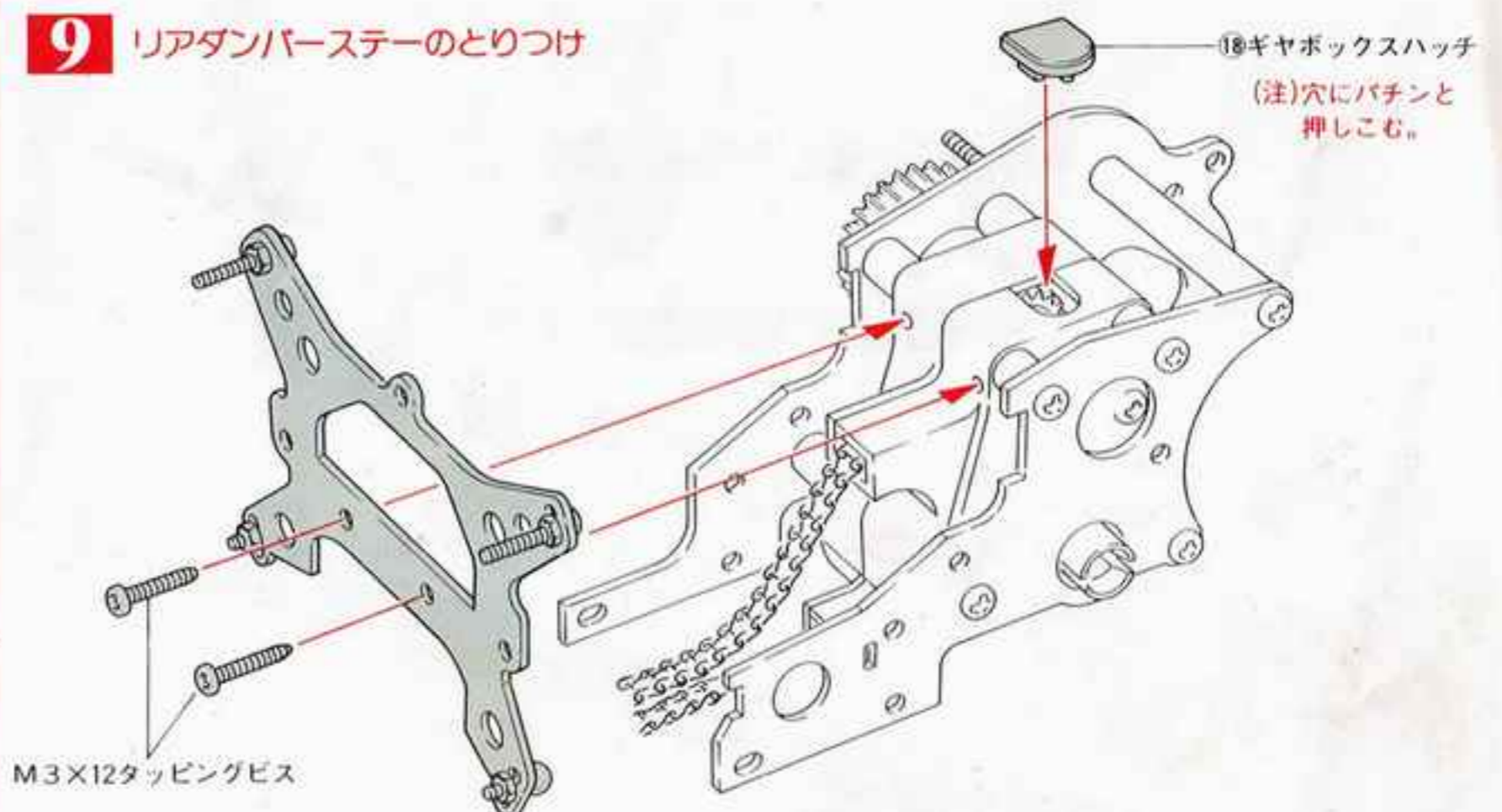
M3×45バインドビス
M3スプリングワッシャーを通しておく。



8 ファイナルピニオンのとりつけ



9 リアダンパーステーのとりつけ



10 バルクヘッドのくみだて

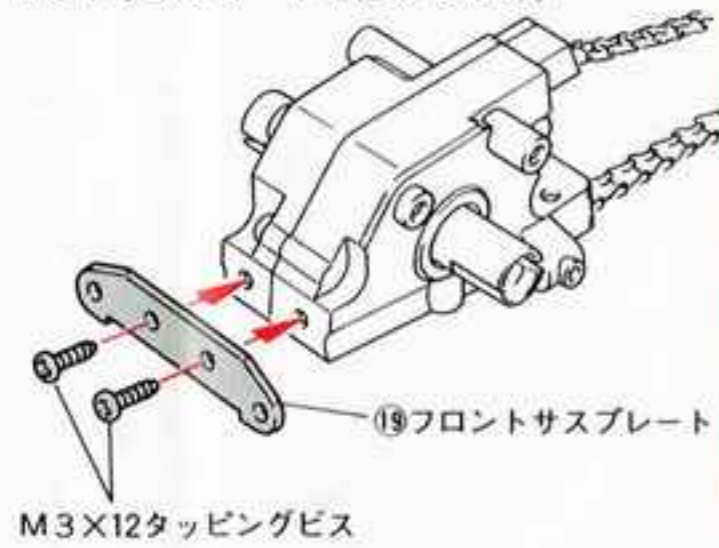
〈使用する小物パーツ〉

M3×12タッピングビス…3

M3×18タッピングビス…1

〈フロントサスプレートのと取り付け〉

※右図の組立がすんだら下図のように⑬フロントサスプレートをと取り付け。



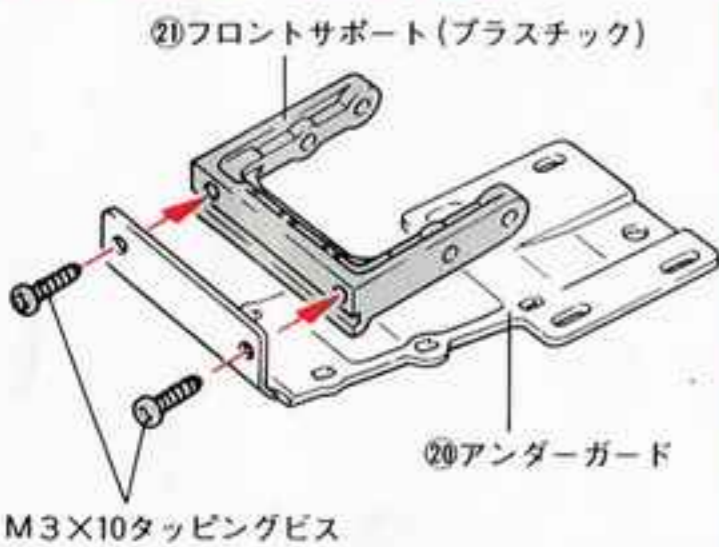
11 アンダーガードのと取り付け

〈使用する小物パーツ〉

M3×10タッピングビス…4

M3×8タッピングビス…2

〈フロントサポートのと取り付け〉



12 リアプレートの取り付け

〈使用する小物パーツ〉

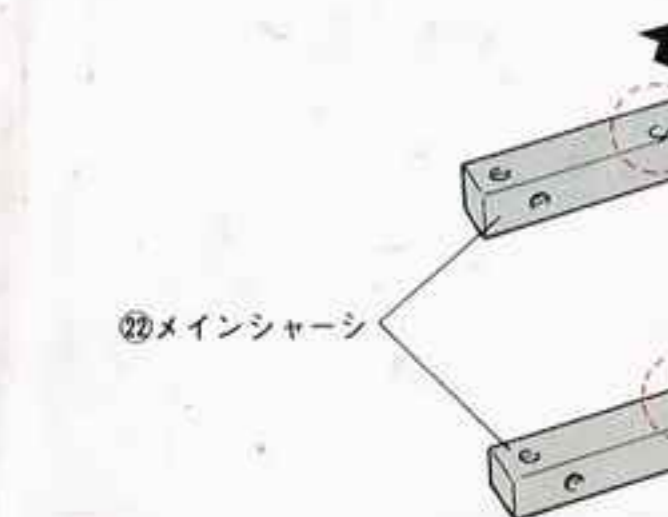
M3×8ビス…4

M3×8タッピングビス…2

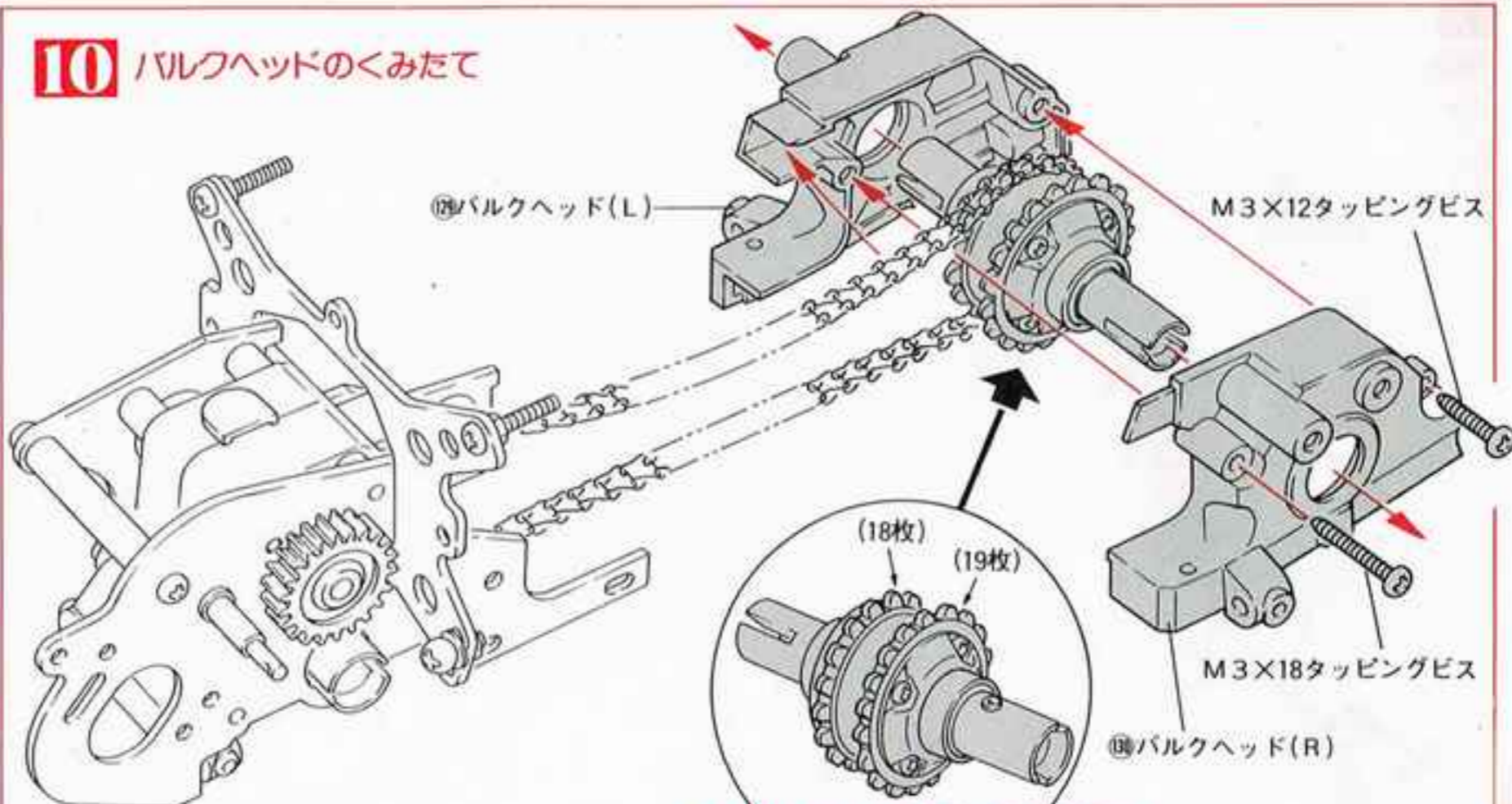
⑳リアメカポスト…2
(大きい方) (プラスチック)

〈注意〉

この穴は中心よりズレてあいています。図のように穴が内側によっている方を内側にしてくみだてして下さい。

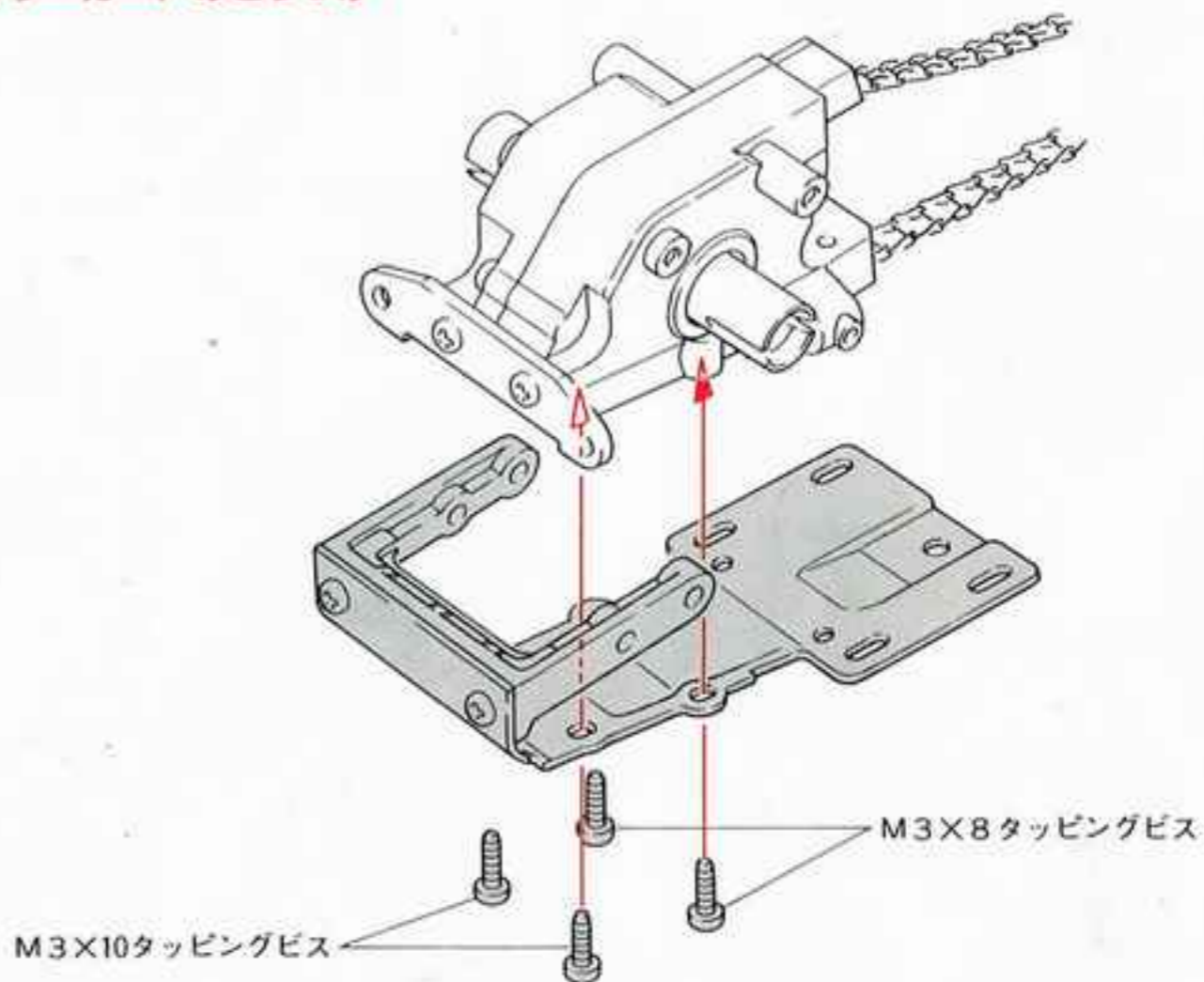


10 バルクヘッドのくみだて

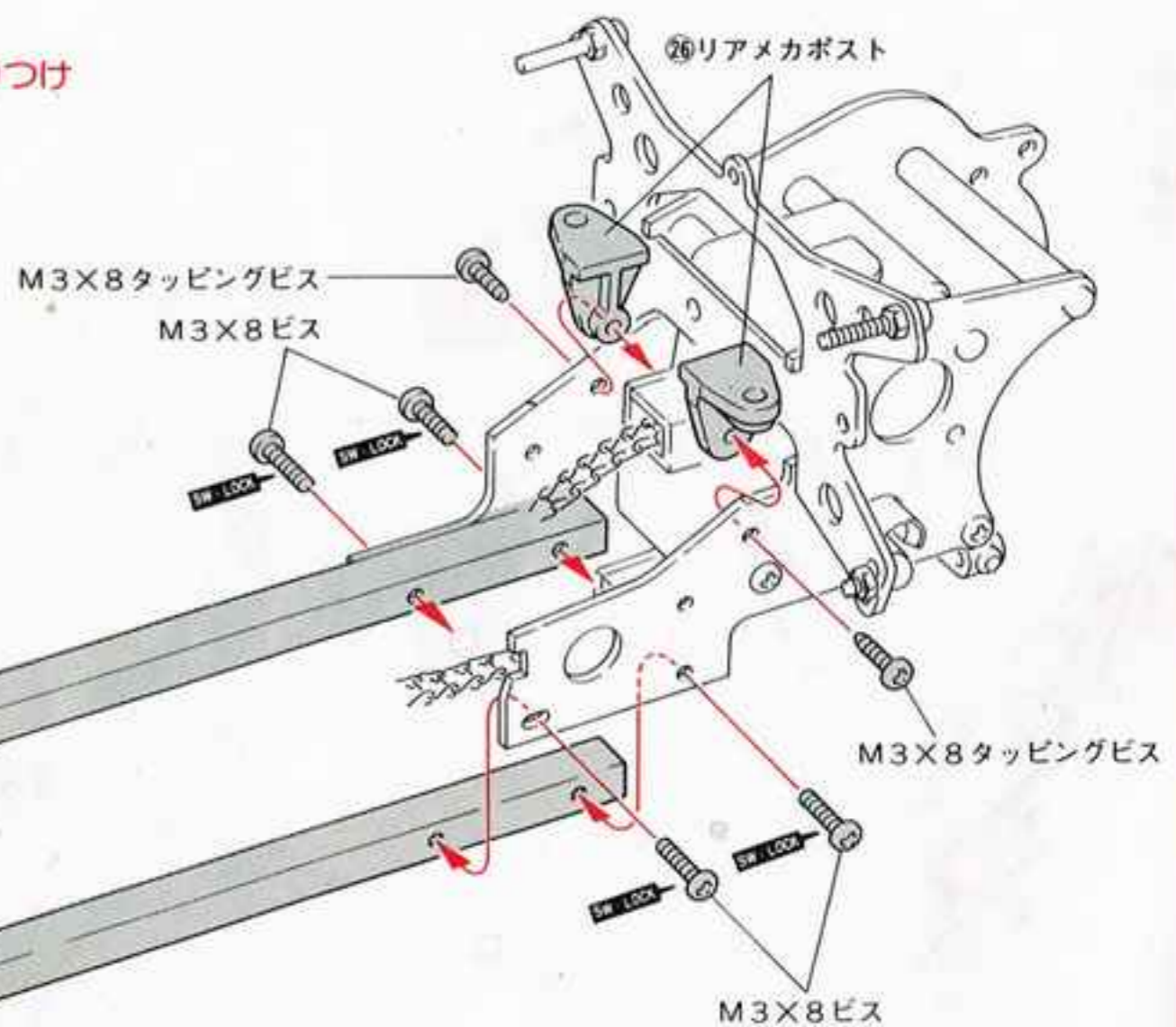


※sprocketは2種類(18枚と19枚)があります。ここでは18枚の方へチェーンをかけ、くみだてして下さい。

11 アンダーガードのと取り付け




12 リアプレートの取り付け



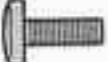
13 バルブヘッドのとりつけ

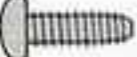
〈使用する小物パーツ〉

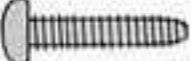
M2.6×6 バインドビス…2 

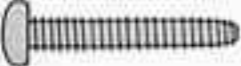
14 フロントサイドプレートのとりつけ


〈使用する小物パーツ〉


M2.6×6 バインドビス…4 


M3×8 タッピングビス…2 

M3×12 タッピングビス…2 

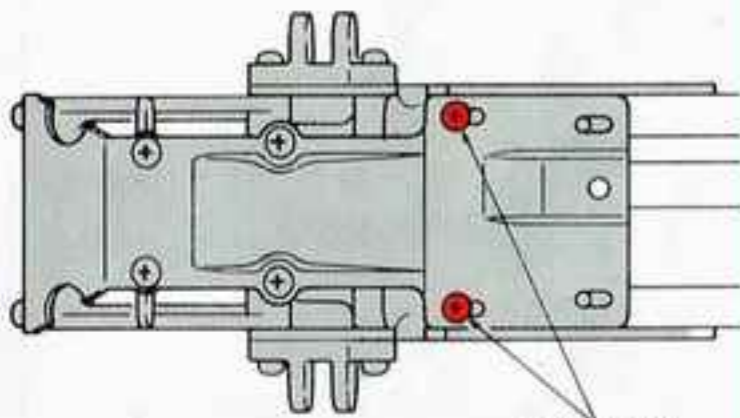
M3×16 タッピングビス…2 

24 フロントアッパーピボット(L)…1
(プラスチック) 

25 フロントアッパーピボット(R)…1
(プラスチック) 

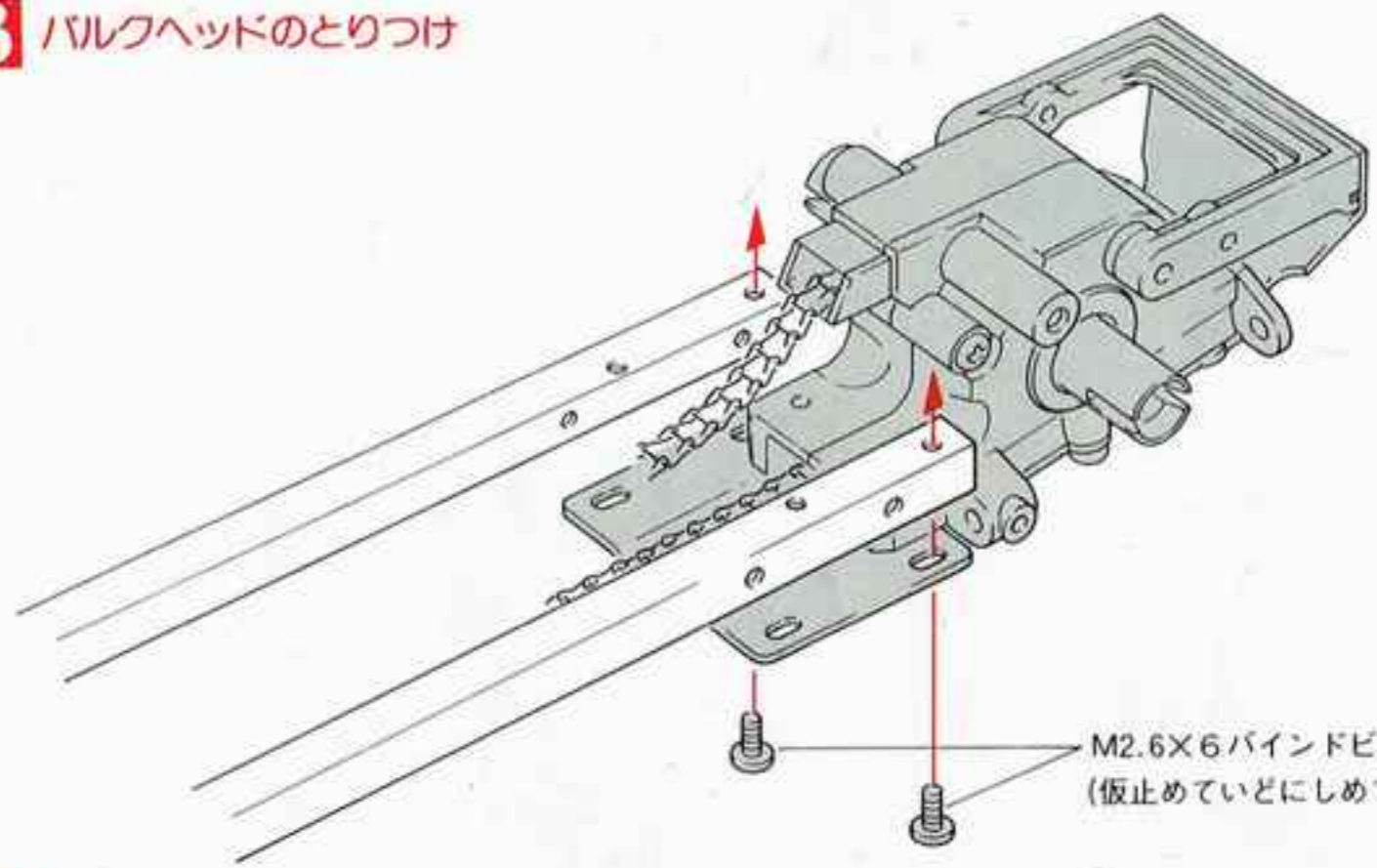
27 フロントメカポスト…2
(小さい方) (プラスチック) 

15 チェーンの張り調整



2本(下側)

13 バルブヘッドのとりつけ



M2.6×6 バインドビス
(仮止めていどにしめておく)

14 フロントサイドプレートのとりつけ

M3×12 タッピングビス

M2.6×6 バインドビス
(仮止めていどにしめておく)

M3×16 タッピングビス

Lのマーク

24 フロントアッパーピボット(L)

23 フロントサイドプレート

M3×8 タッピングビス

27 フロントメカポスト

27 フロントメカポスト

M3×8 タッピングビス

M2.6×6 バインドビス
(仮止めていどにしめておく)

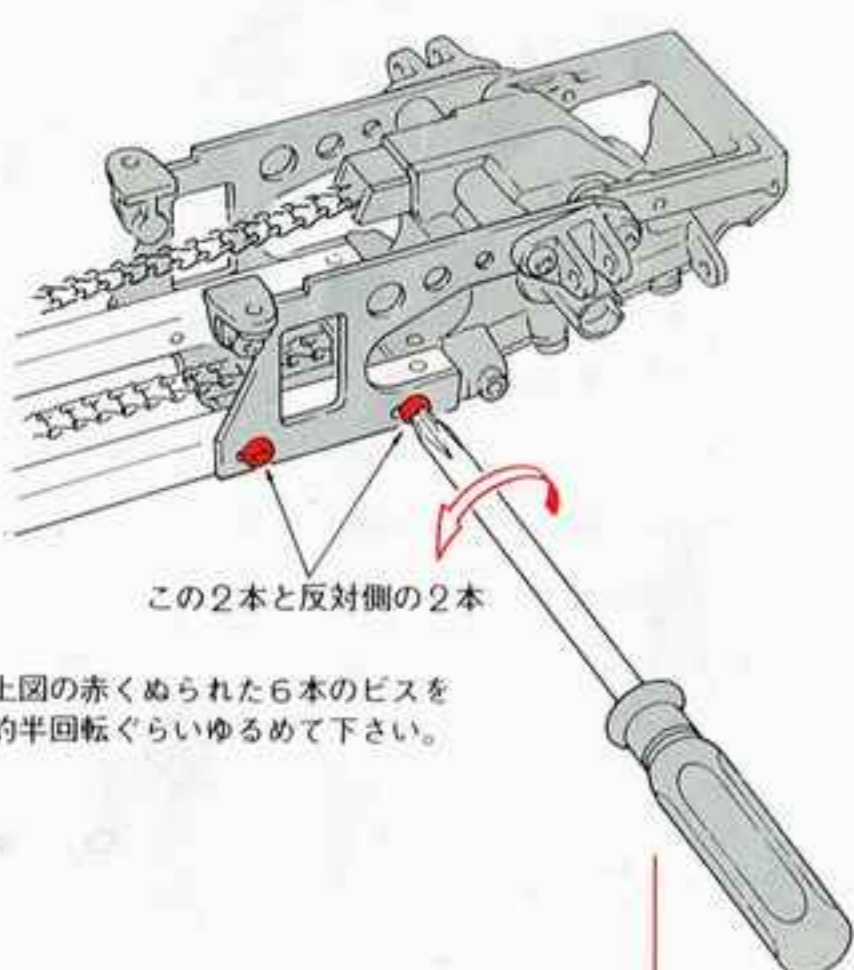
23 フロントサイドプレート

25 フロントアッパーピボット(R)

M3×16 タッピングビス

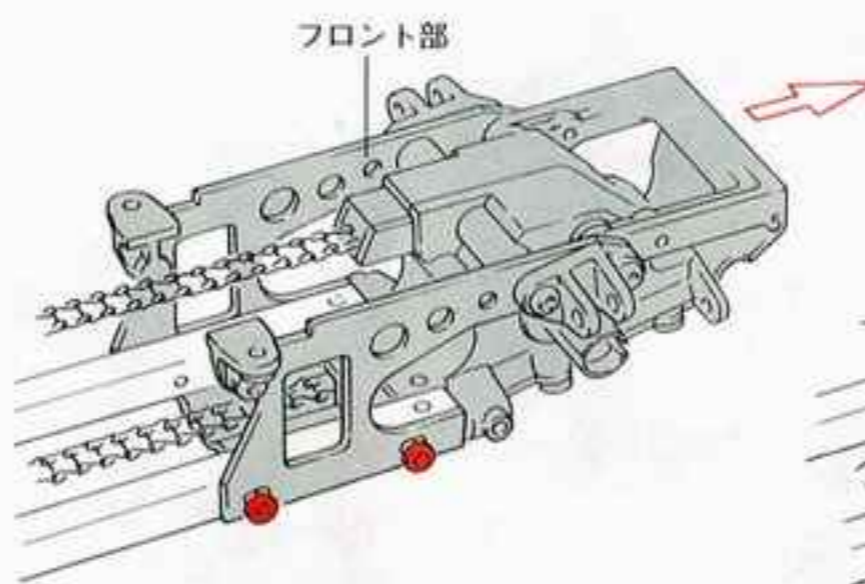
M3×12 タッピングビス

15 チェーンの張り調整

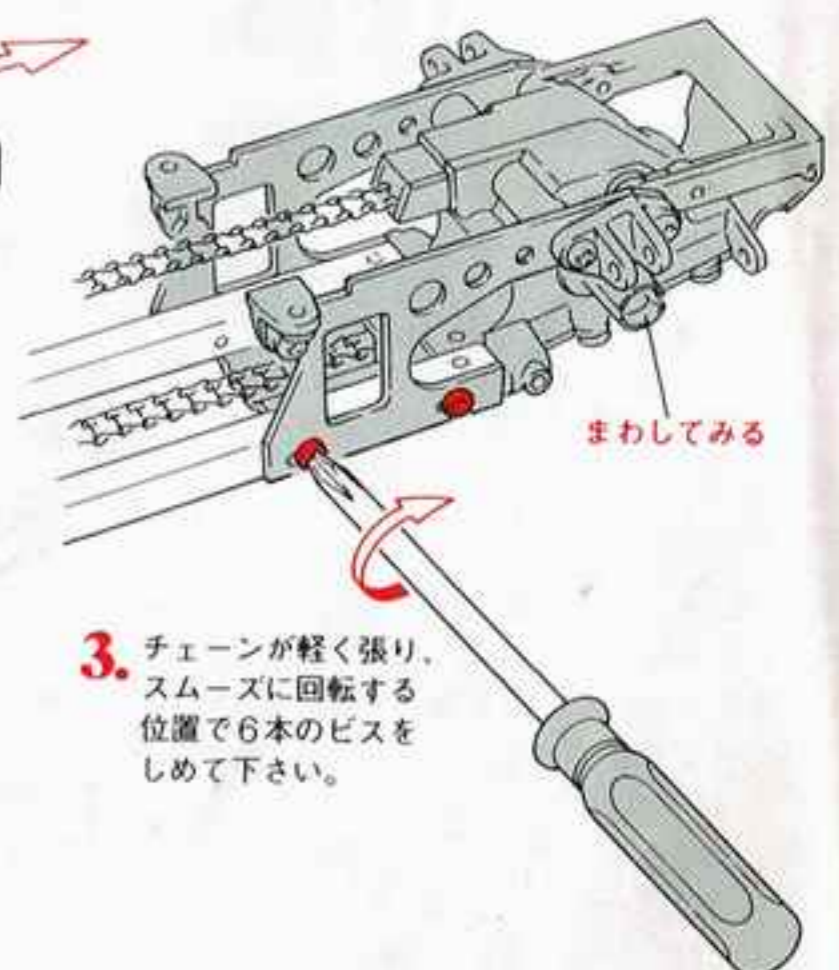


この2本と反対側の2本

1. 上図の赤くぬられた6本のビスを約半回転ぐらいゆるめて下さい。



2. チェーンが軽く張る位置までフロント部を前にずらして下さい。



まわしてみる

3. チェーンが軽く張り、スムーズに回転する位置で6本のビスをしめて下さい。

16 チェーンガイドのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2×8タッピングビス…2

29チェーンガイド(C)……1
(プラスチック)

17 サーボセーバーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2.6×6バインドビス……1

M2.6×15バインドビス……2

M2.6ワッシャー(黒色)……2

31ボールナット……3

32セーバーシャフト(A)……1

33セーバーシャフト(B)……1

36M2シャフト……1

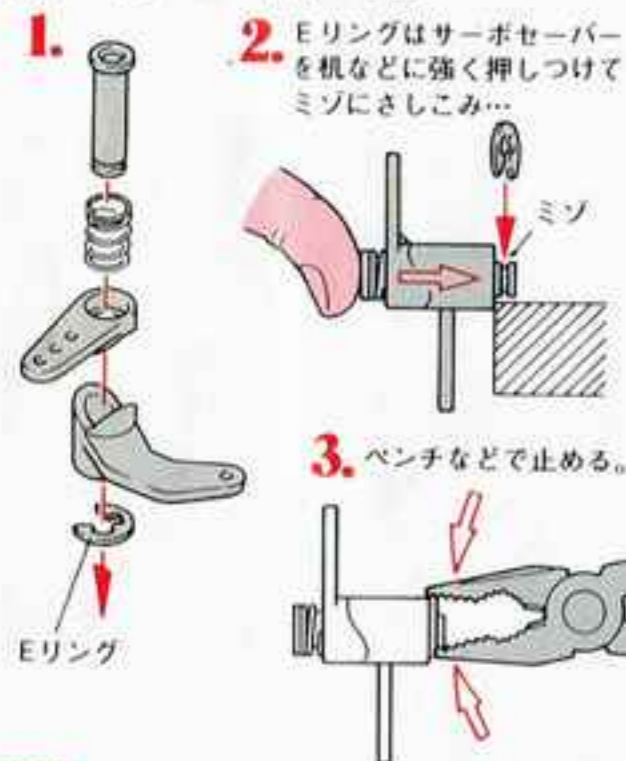
37ボールエンド(小)……2

100M2.6ピロボール(黒色)……2

100セーバー
スパーサー……1

〈サーボセーバーのくみたち〉

34サーボセーバー(A)……1組



18 ナックルアームのくみたち

〈使用する小物パーツ〉

M2.6ナット……2

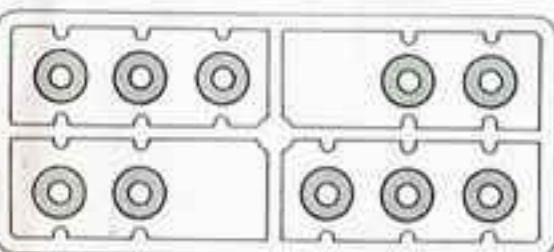
M3ピロボール(銀色)……4

38キングピン……4

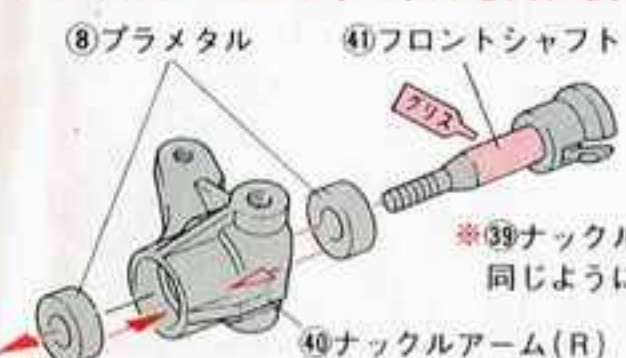
100M2.6ピロボール(黒色)……2

8ブラメタル……4

ブラメタルをカッターなどで切りはなし、バリを取って下さい。(10ヶ)

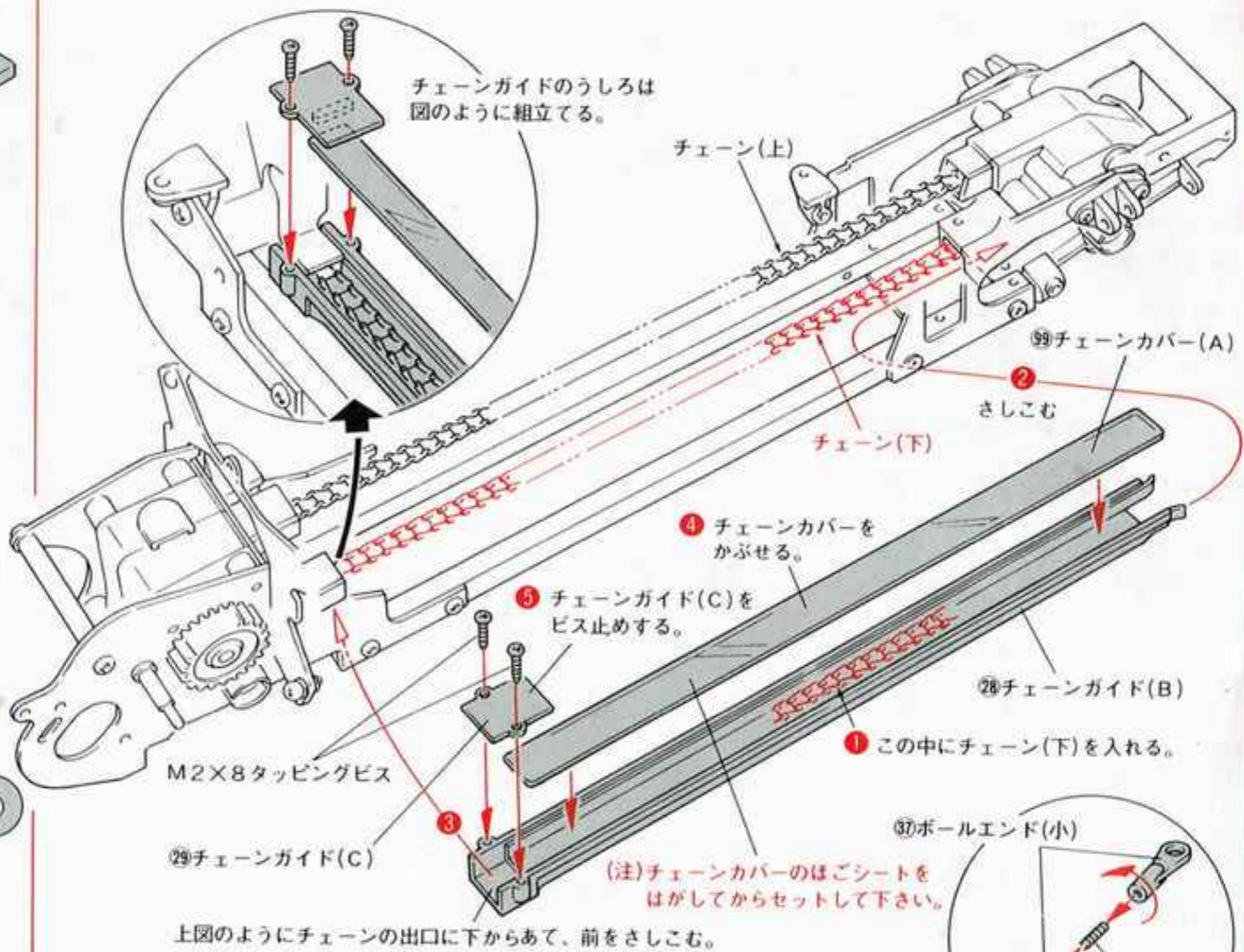


〈ナックルアームにブラメタルを入れる〉



16 チェーンガイドのとりつけ

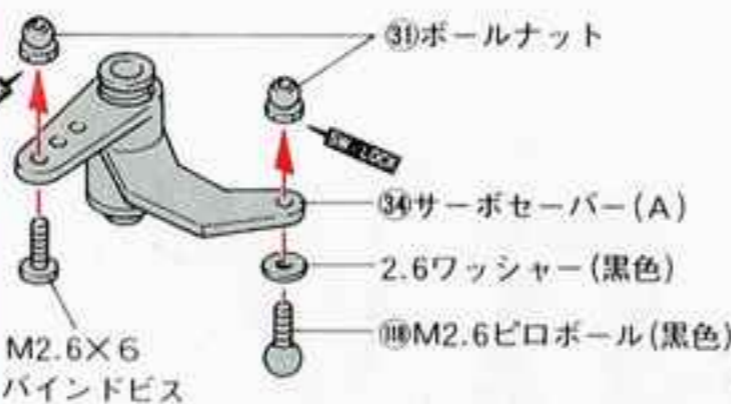
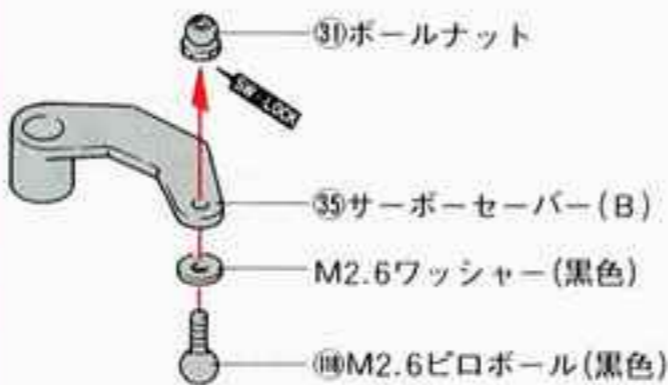
①～⑤の順にくみたちます。



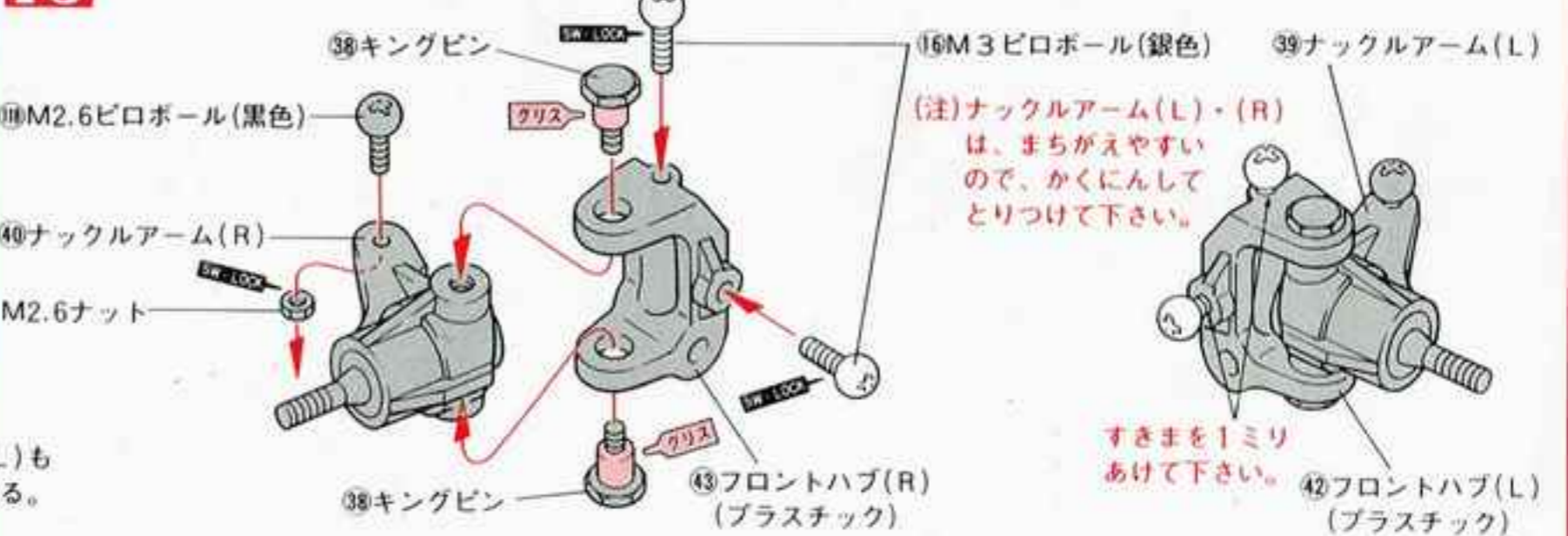
17 サーボセーバーのとりつけ

〈ボールエンドのカット〉

19ミリのこし、この部分をカッターナイフで切りとって下さい。



18 ナックルアームのくみたち



19 フロントサスアームのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×4イモネジ.....2

44Eリング(E-2.5).....2

45サスシャフト(A)
(短い)
(銀色)

46サスシャフト(B)
(短い方)(銀色)

20 フロントアッパーロッドのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×15ビス.....4

M3ナット.....2

M3ナイロンナット.....2

495.8φボール.....2

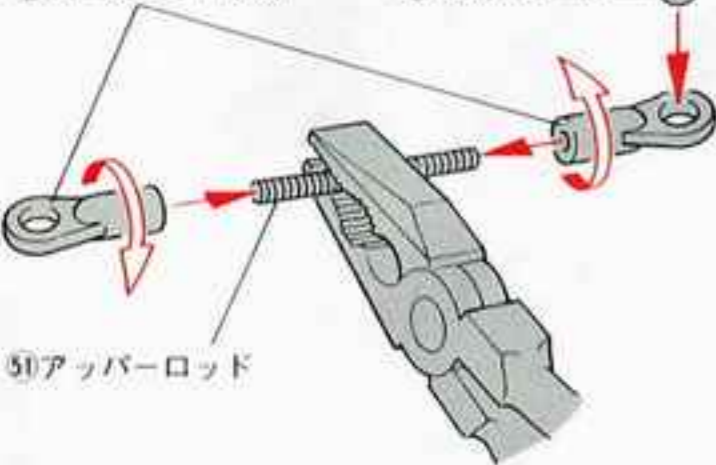
50ボールエンド(大).....4

51アッパーロッド.....2

〈アッパーロッドを2本つくります〉

50ボールエンド(大)

495.8φボール



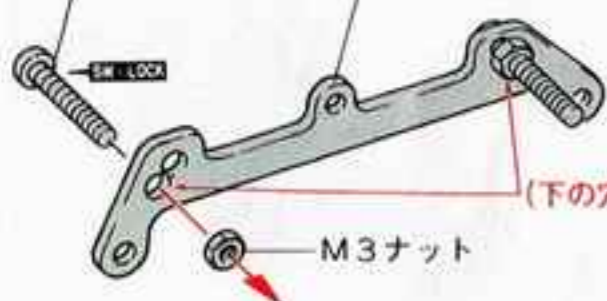
51アッパーロッド

約55ミリ

〈フロントダンパステーにビスをとりつけます〉

M3×15ビス

52フロントダンパステー



(下の穴に通す)

M3ナット

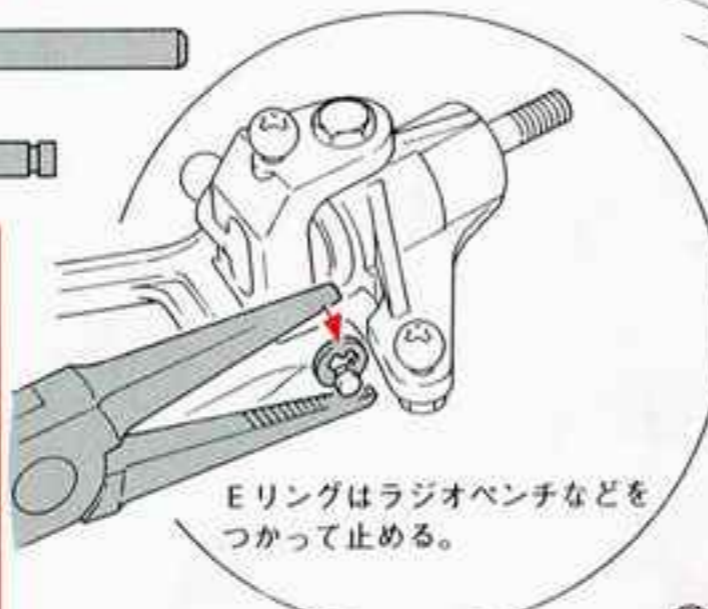
21 フロントダンパーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

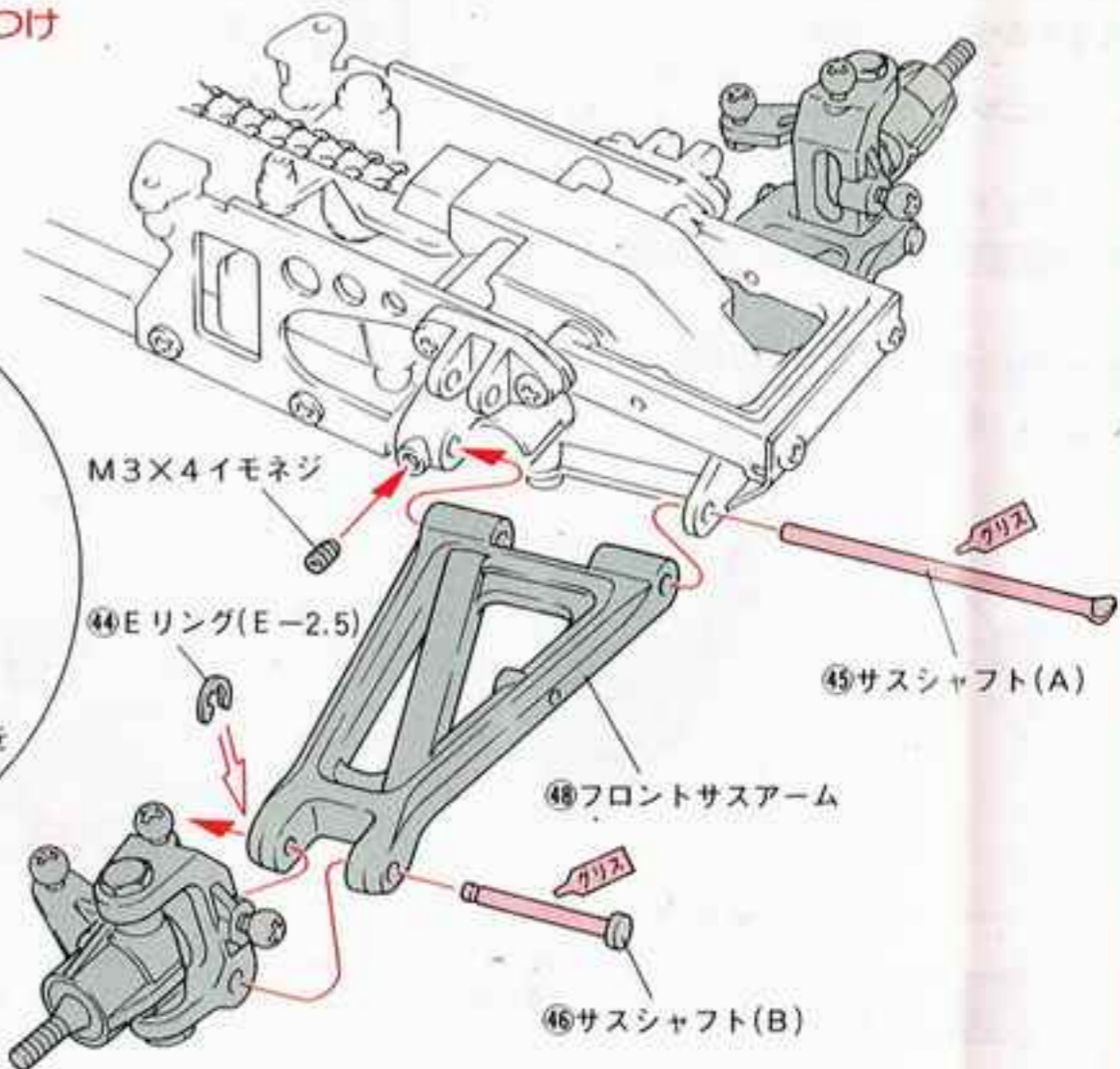
M3ナイロンナット.....2

53ダンパーブッシュ
(黒いゴム)

19 フロントサスアームのとりつけ



Eリングはラジオベンチなどをつかって止める。



M3×4イモネジ

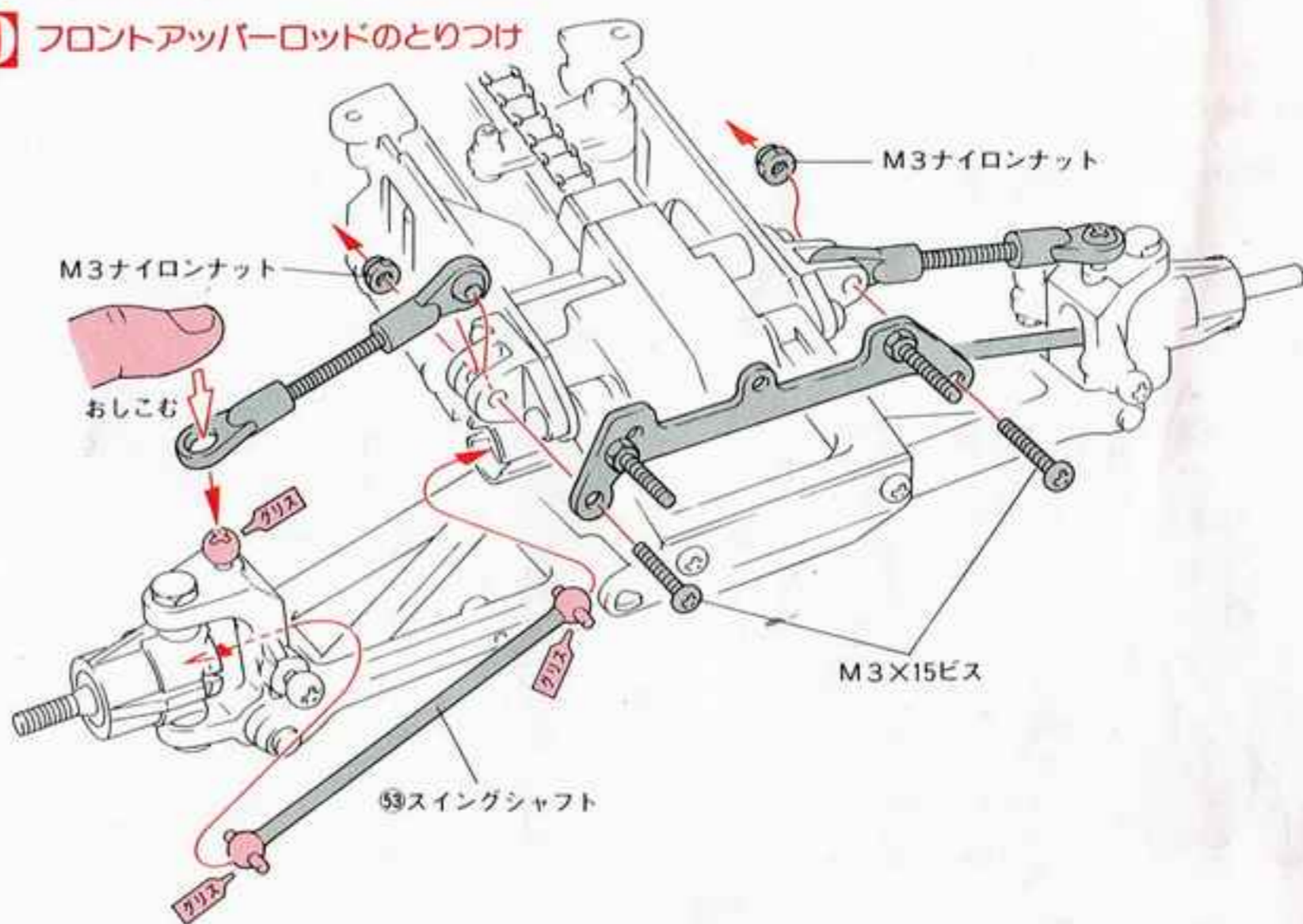
44Eリング(E-2.5)

45サスシャフト(A)

48フロントサスアーム

46サスシャフト(B)

20 フロントアッパーロッドのとりつけ



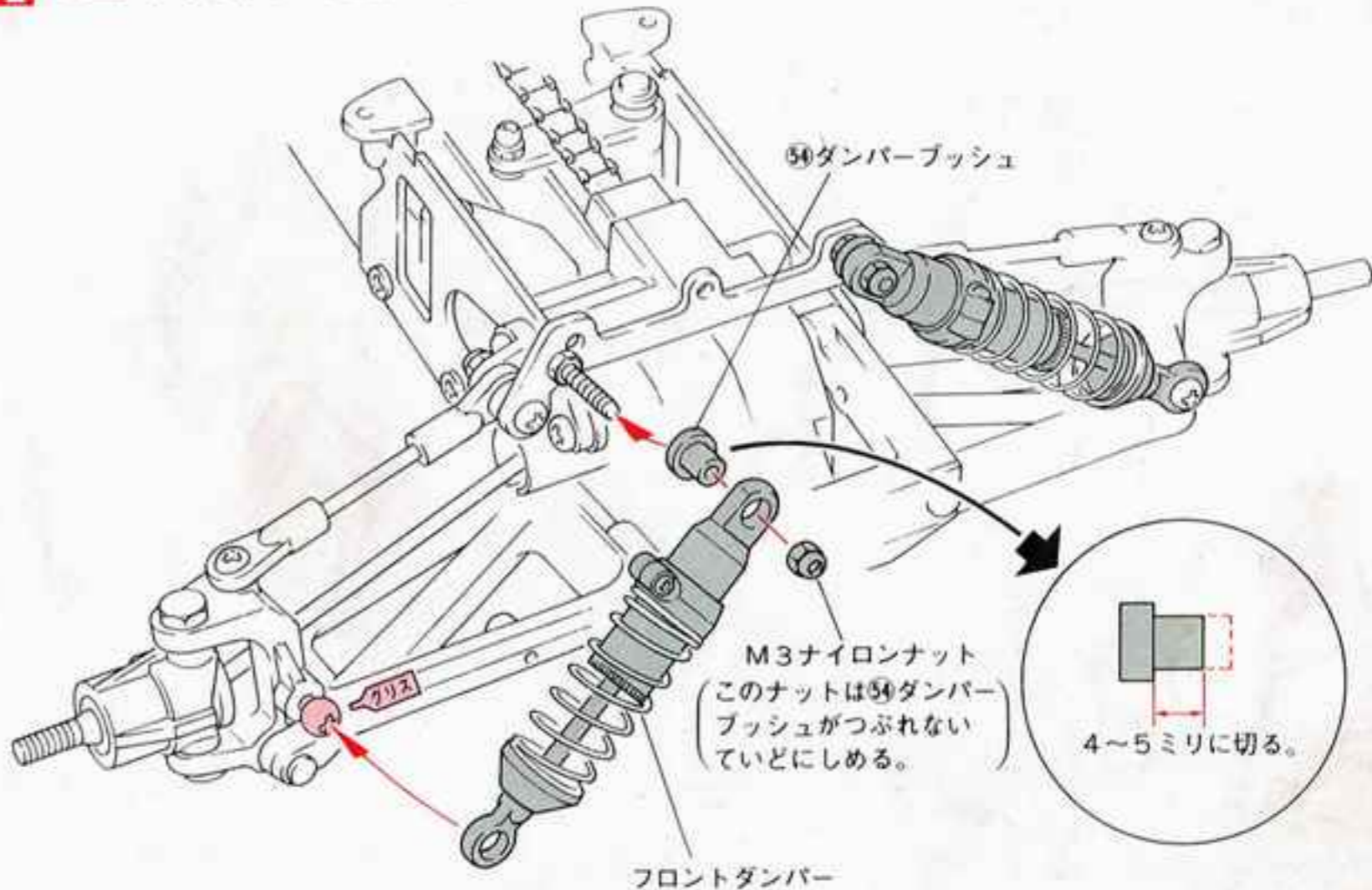
M3ナイロンナット

おしこむ

M3×15ビス

53スイングシャフト

21 フロントダンパーのとりつけ



53ダンパーブッシュ

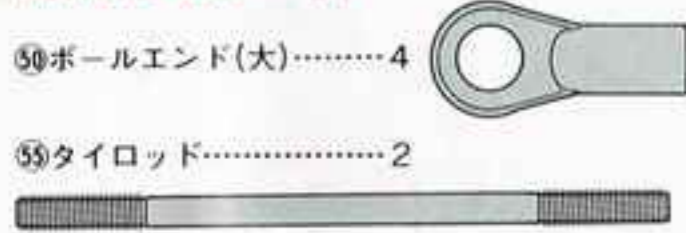
M3ナイロンナット
このナットは53ダンパー
ブッシュがつぶれない
でとにしめる。

フロントダンパー

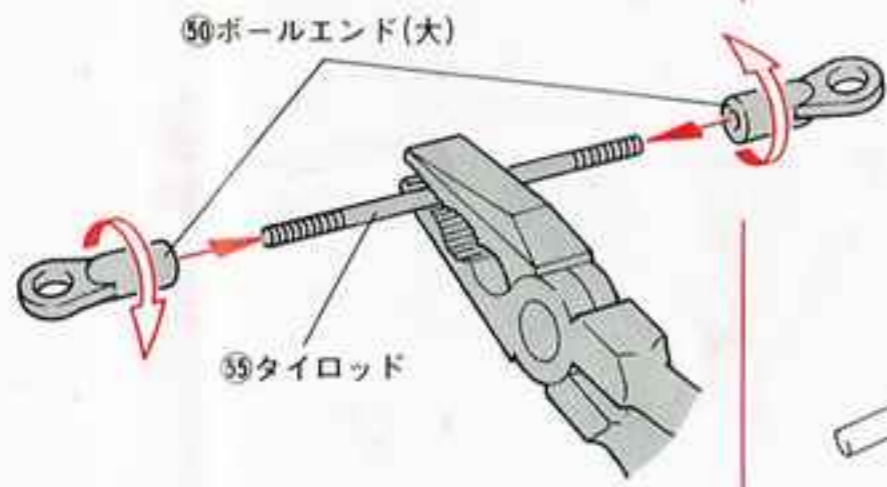
4~5ミリに切る。

22 タイロッドのとりつけ

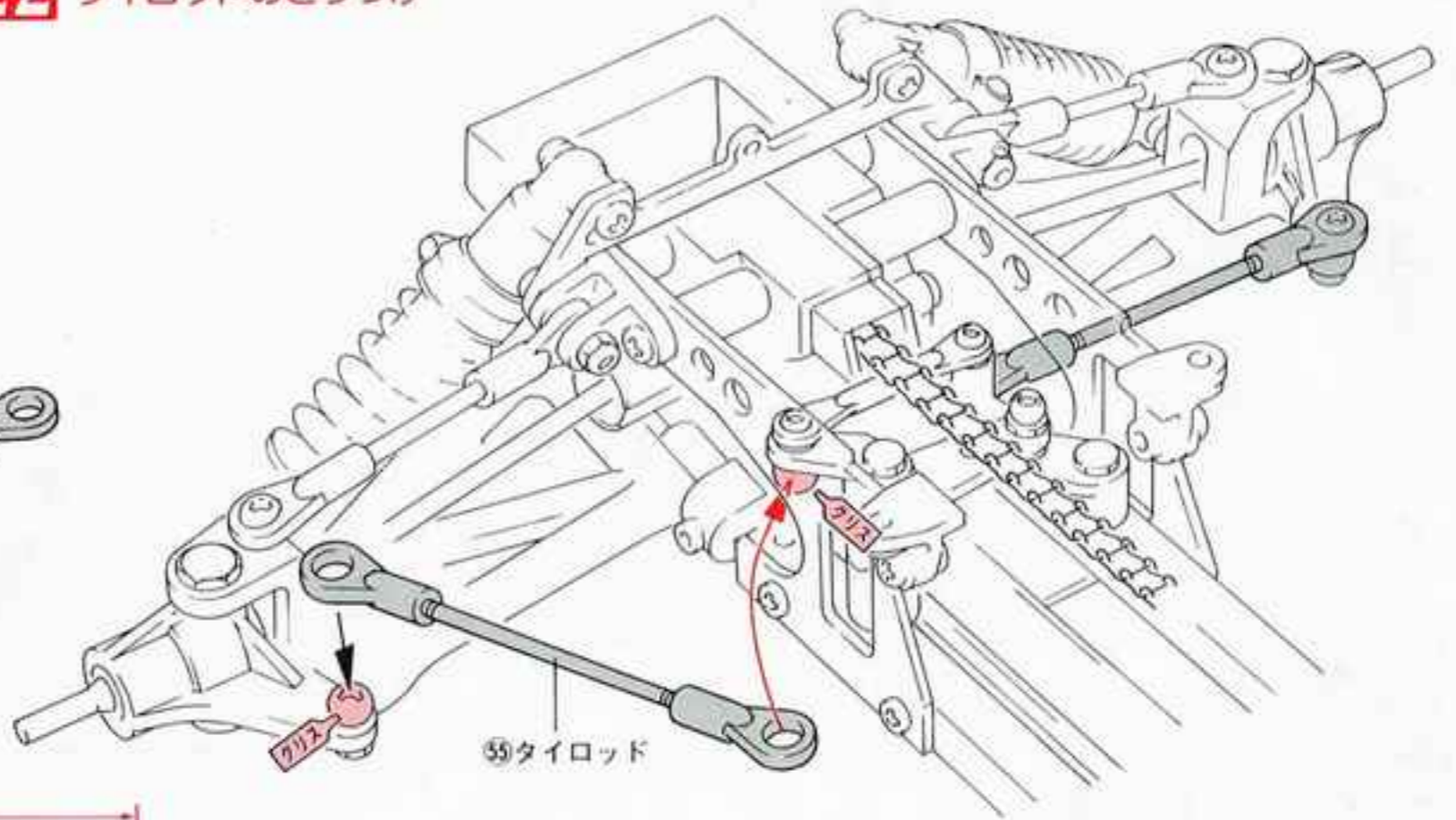
〈使用する小物パーツ〉



〈タイロッドを2本つくります〉

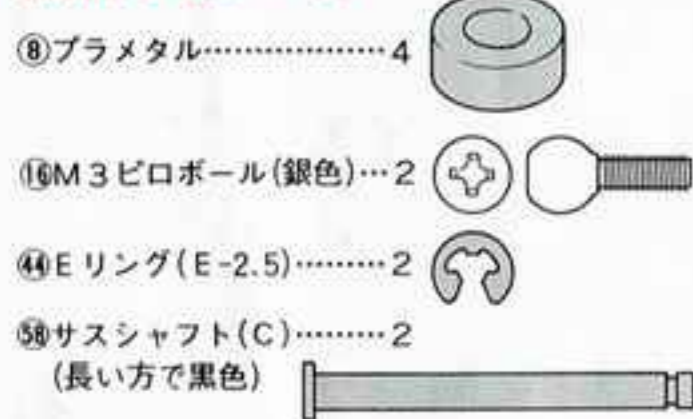


22 タイロッドのとりつけ

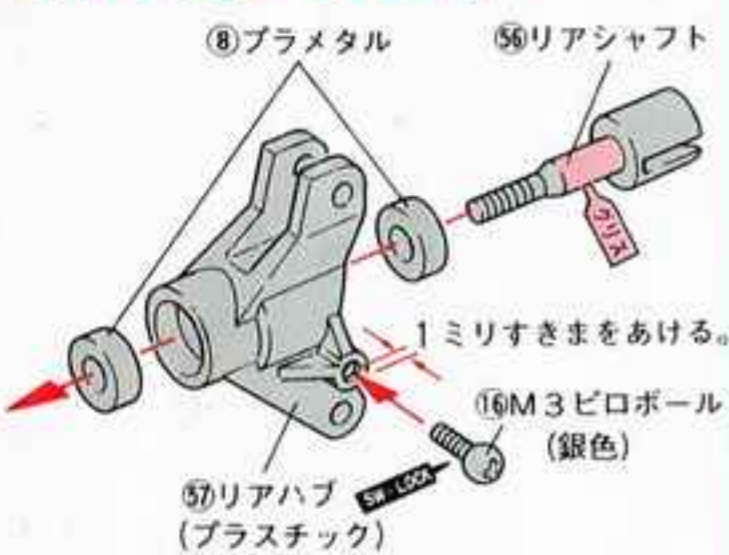


23 リアハブのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

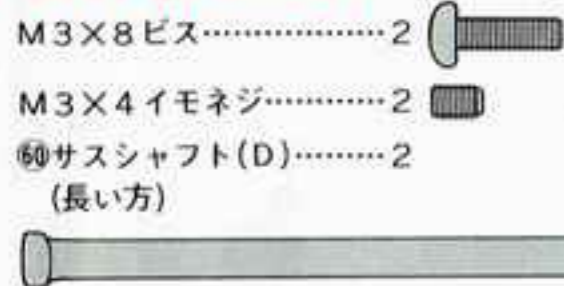


〈リアハブを2ヶくみたてます〉

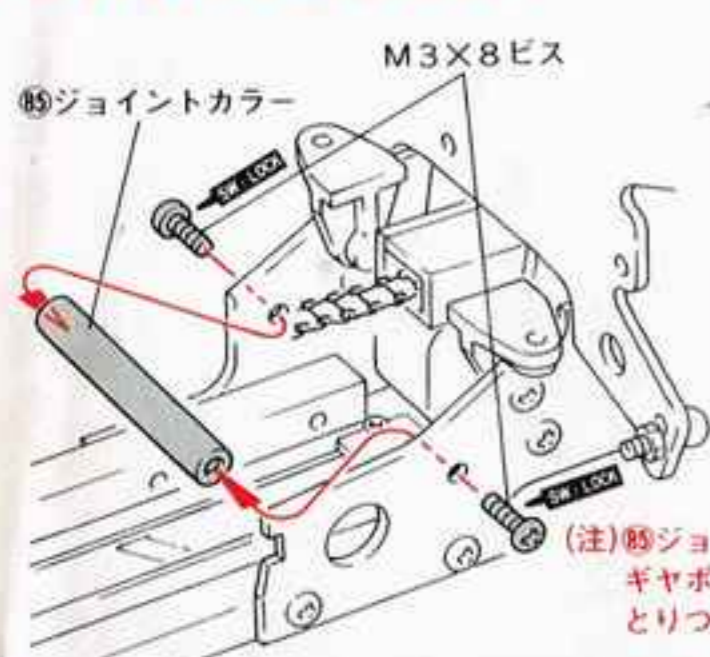


24 リアサスアームのとりつけ

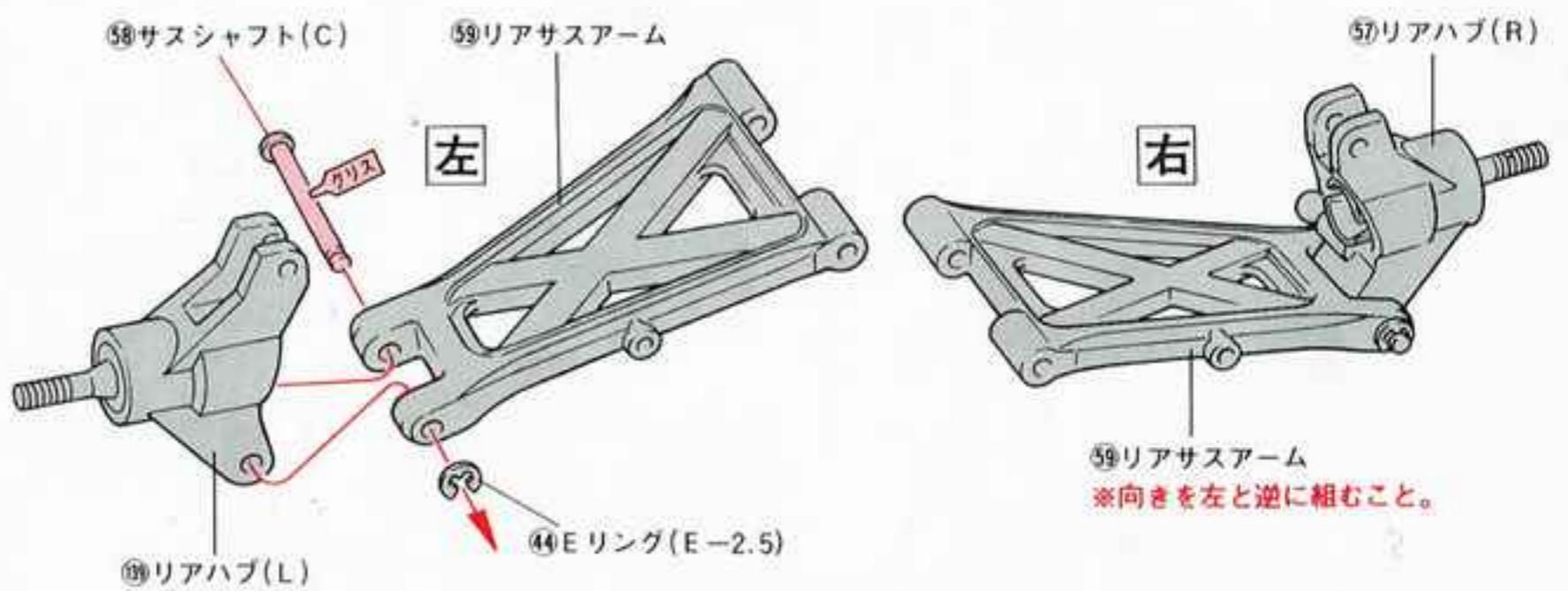
〈使用する小物パーツ〉



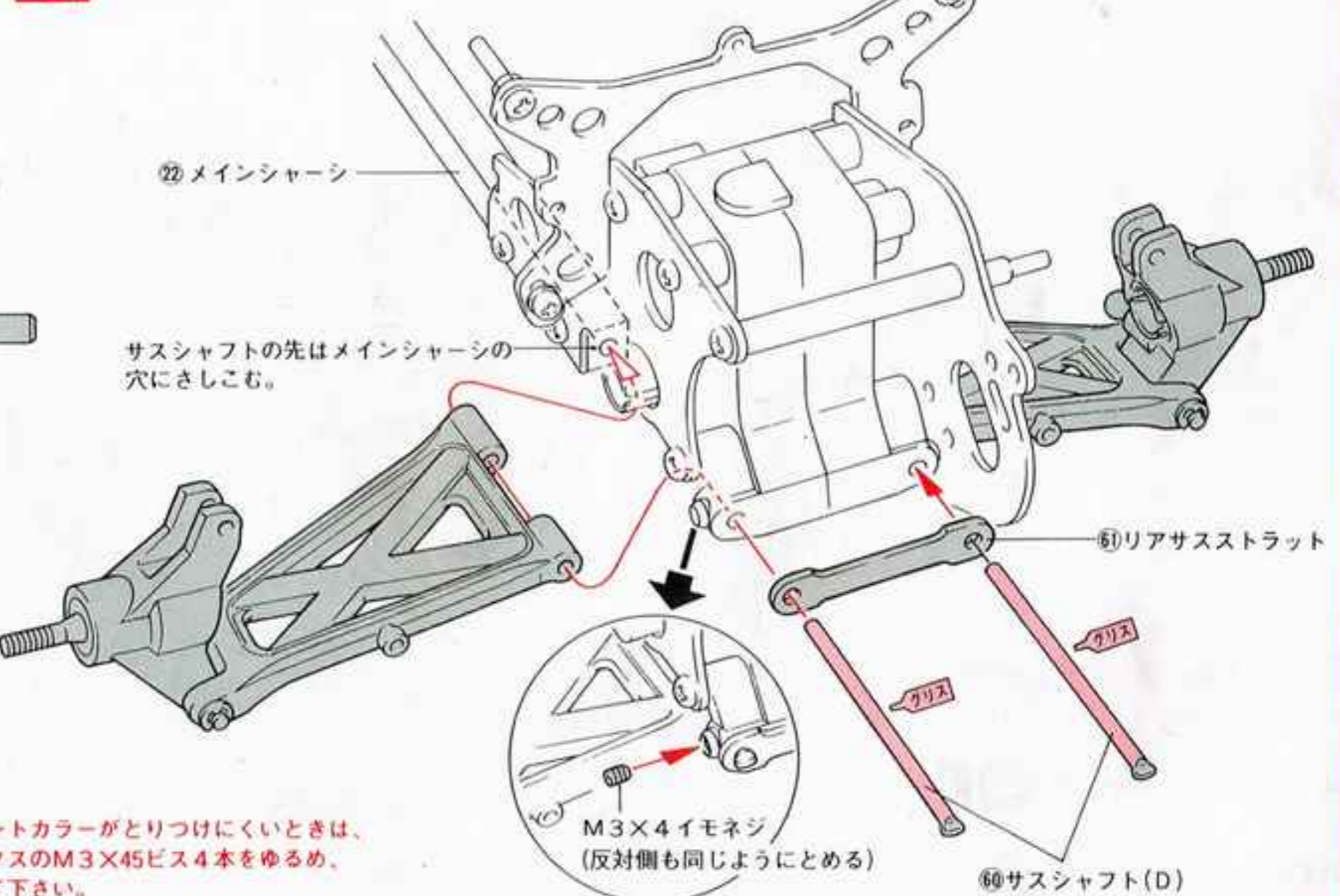
〈ジョイントカラーのとりつけ〉



23 リアハブのとりつけ



24 リアサスアームのとりつけ



25 リアアッパーロッドのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

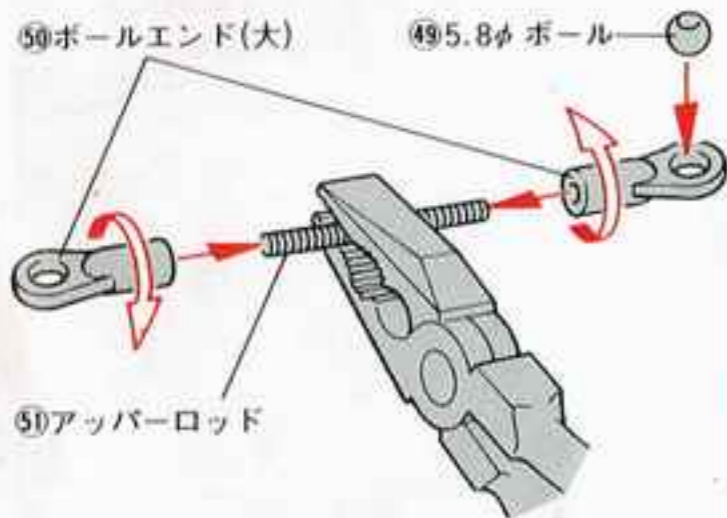
M3×10ビス……………2

φ5.8φ ボール……………2

50ボールエンド(大)……………4

51アッパーロッド……………2

〈アッパーロッドを2本つくります〉



26 リアダンパーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3ナイロンナット……………2

54ダンパーブッシュ……………2
(黒いゴム)

27 センターギヤのとりつけ

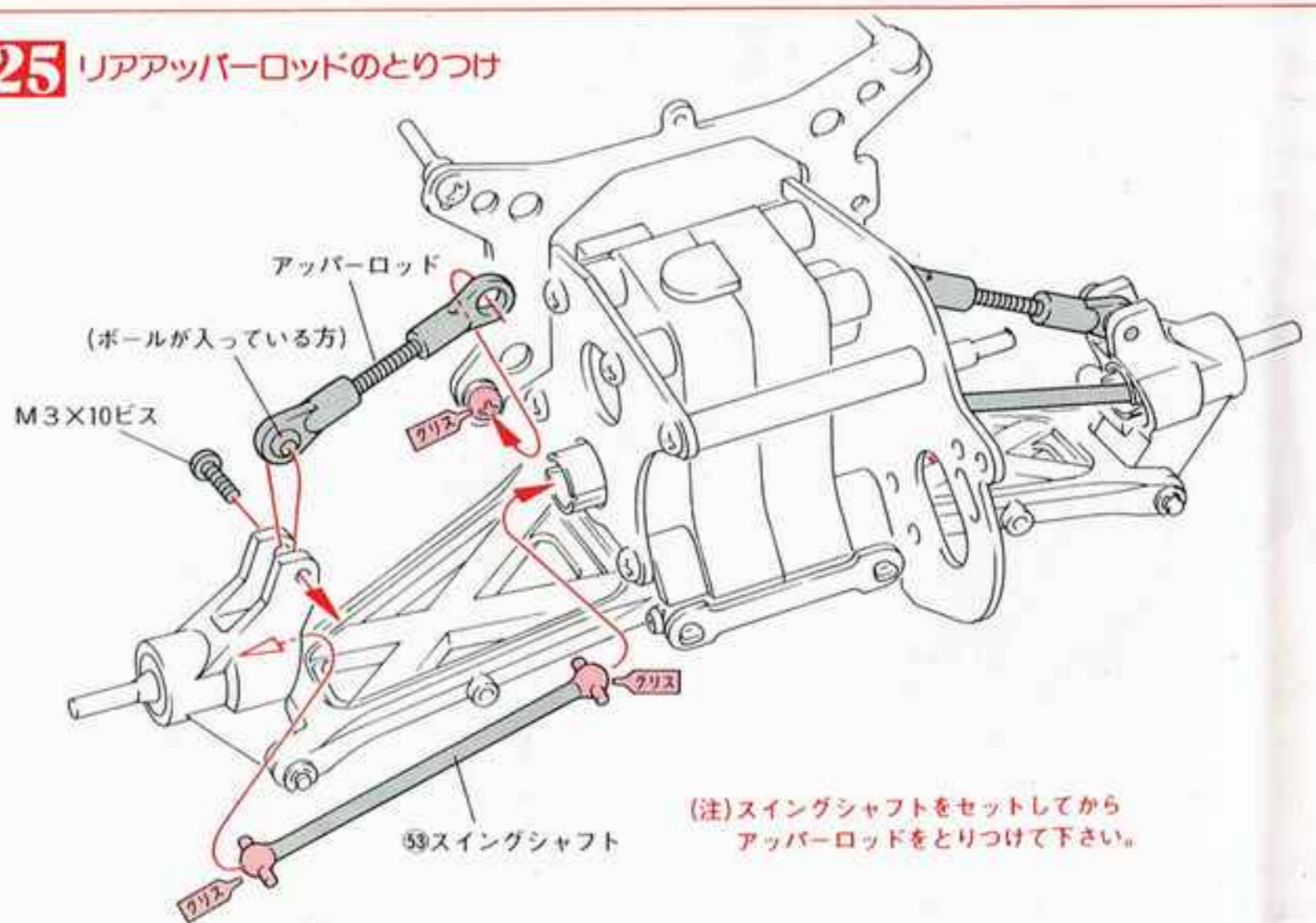
〈使用する小物パーツ〉

4φワッシャー……………2

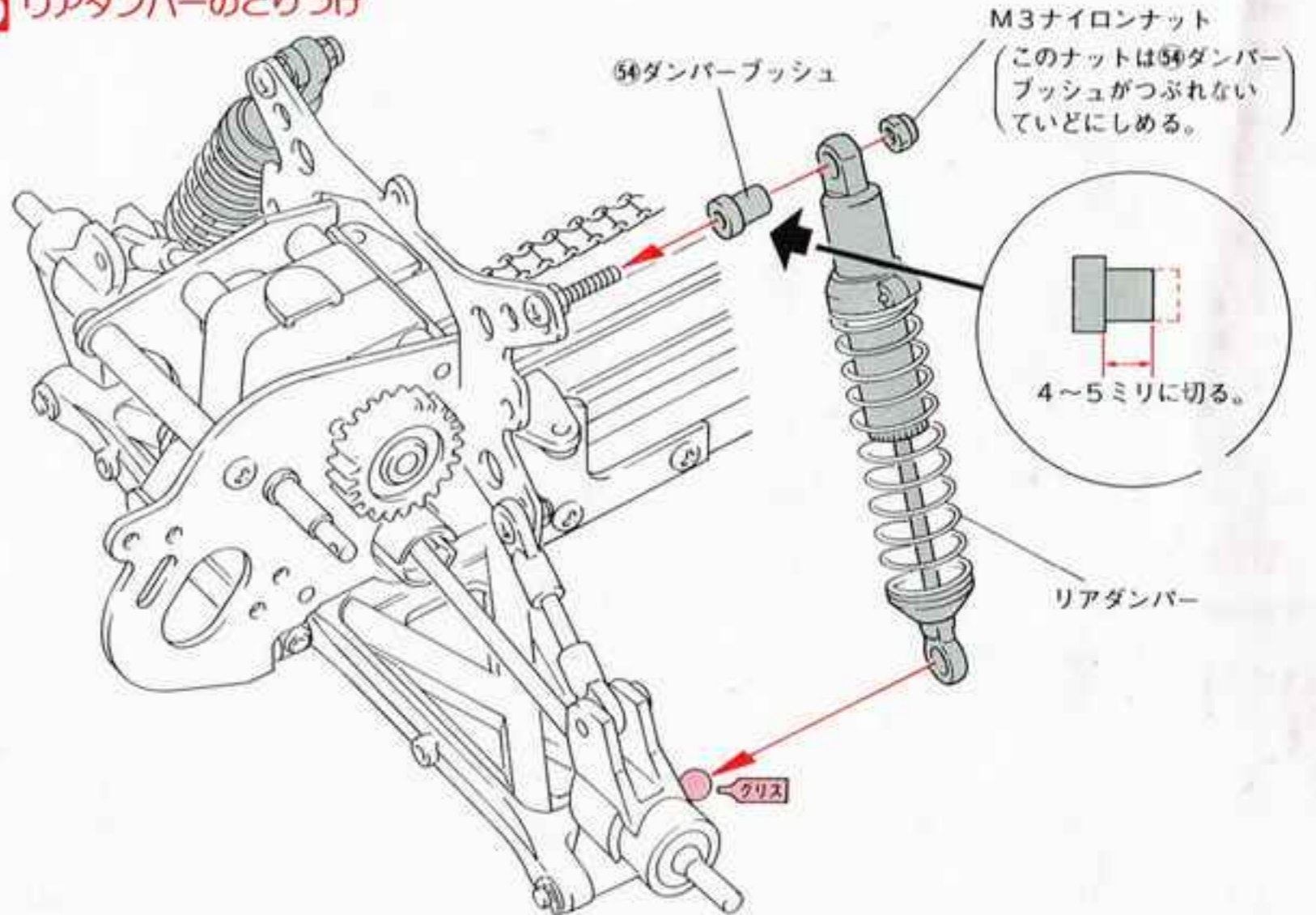
63センターギヤメタル……………1

65Oリング(P-3)……………1
(黒いゴム)

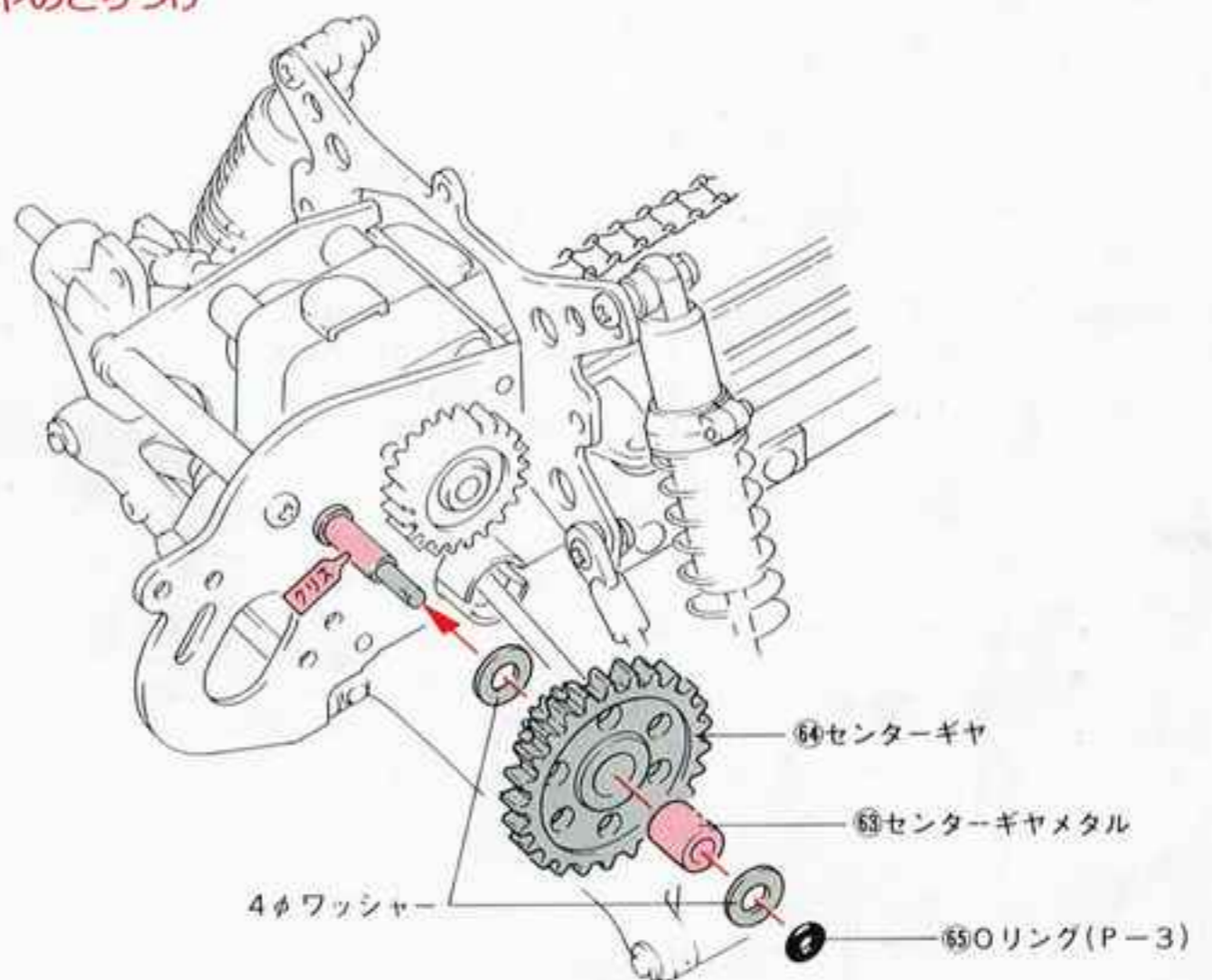
25 リアアッパーロッドのとりつけ



26 リアダンパーのとりつけ



27 センターギヤのとりつけ

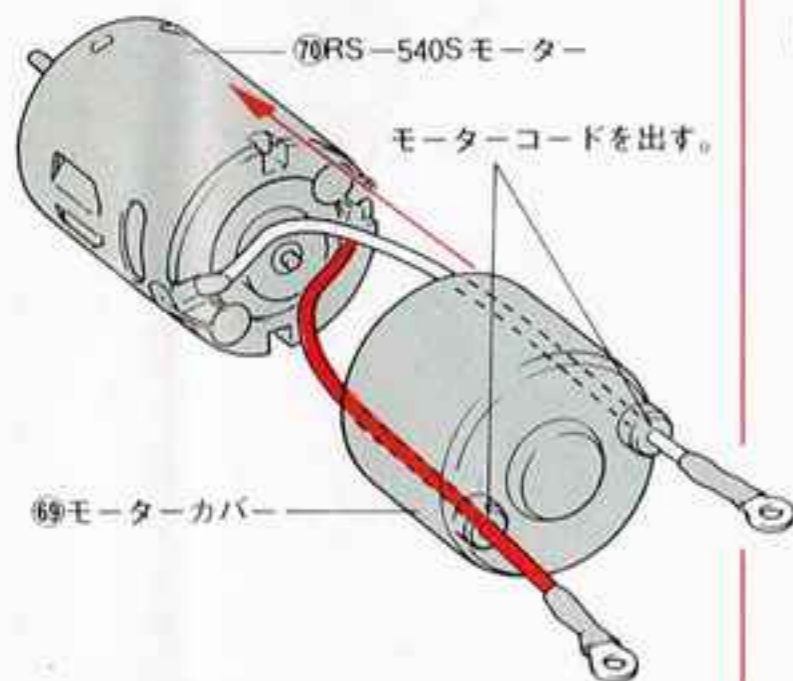


28 モーターのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

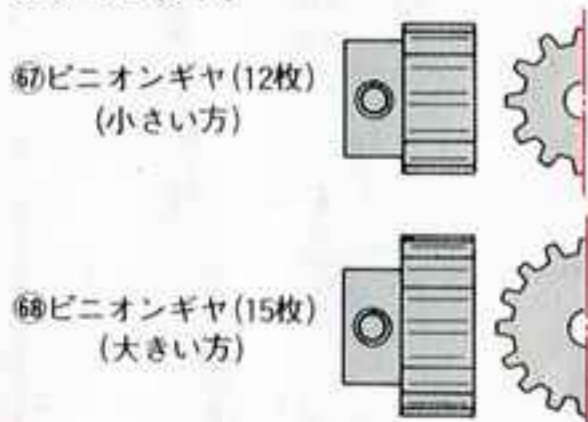
- M3×3イモネジ……………1
- M3×8ビス……………2

〈モーターカバーのとりつけ〉



〈ピニオンギヤの歯数とギヤ比について〉

キットには歯数が12枚のローギヤと15枚のハイギヤの2つのピニオンギヤが入っています。操縦になれるまでは12枚、充分になれば15枚のピニオンギヤをセットするとよいでしょう。



29 ギヤカバーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

- 66フックピン……………1

30 コントローラーサーボのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

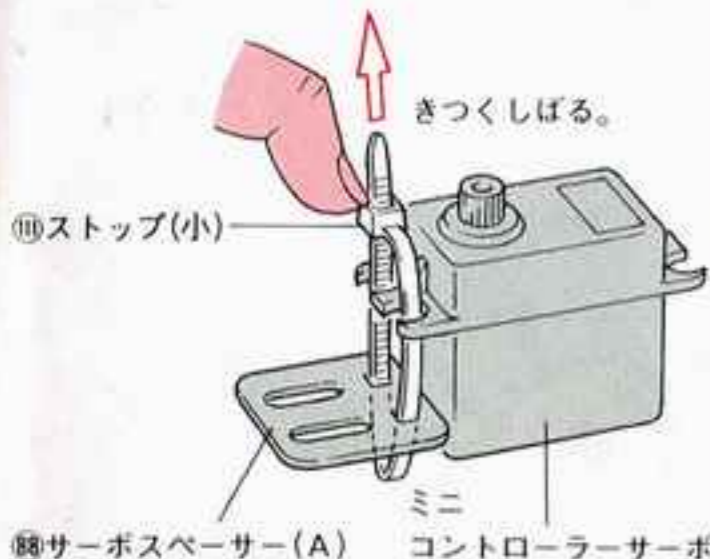
- M3×6皿タッピングビス…6

- 88サーボスペーサー(A)……………1

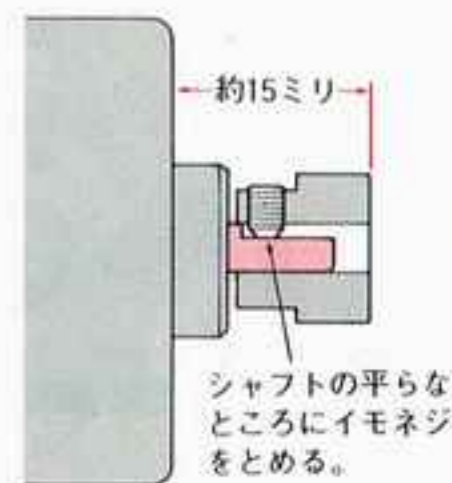
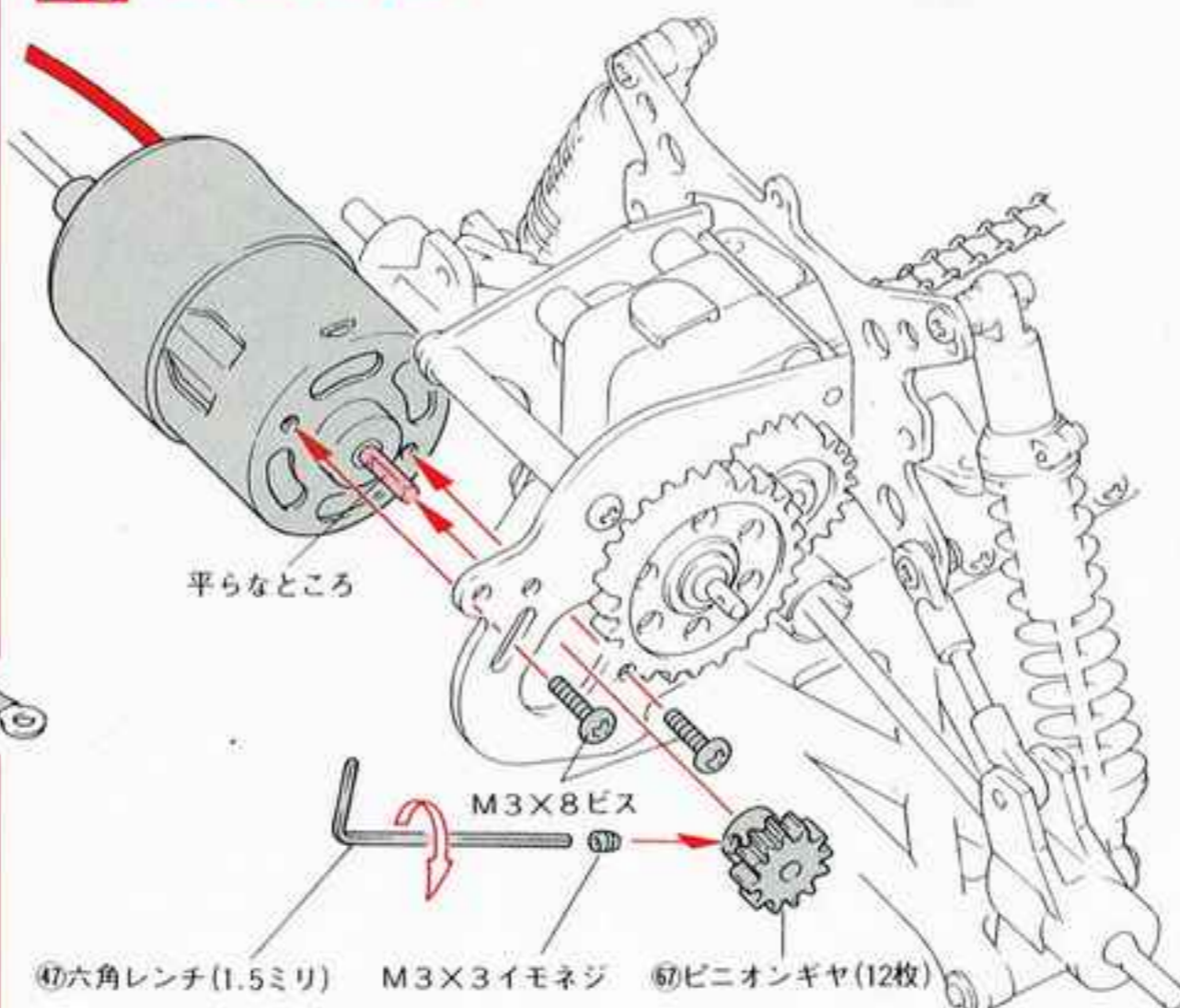
(注) 中型サーボ使用のときは使いません。

- 89サーボスペーサー(B)……………1

〈サーボスペーサーのとりつけ〉



28 モーターのとりつけ

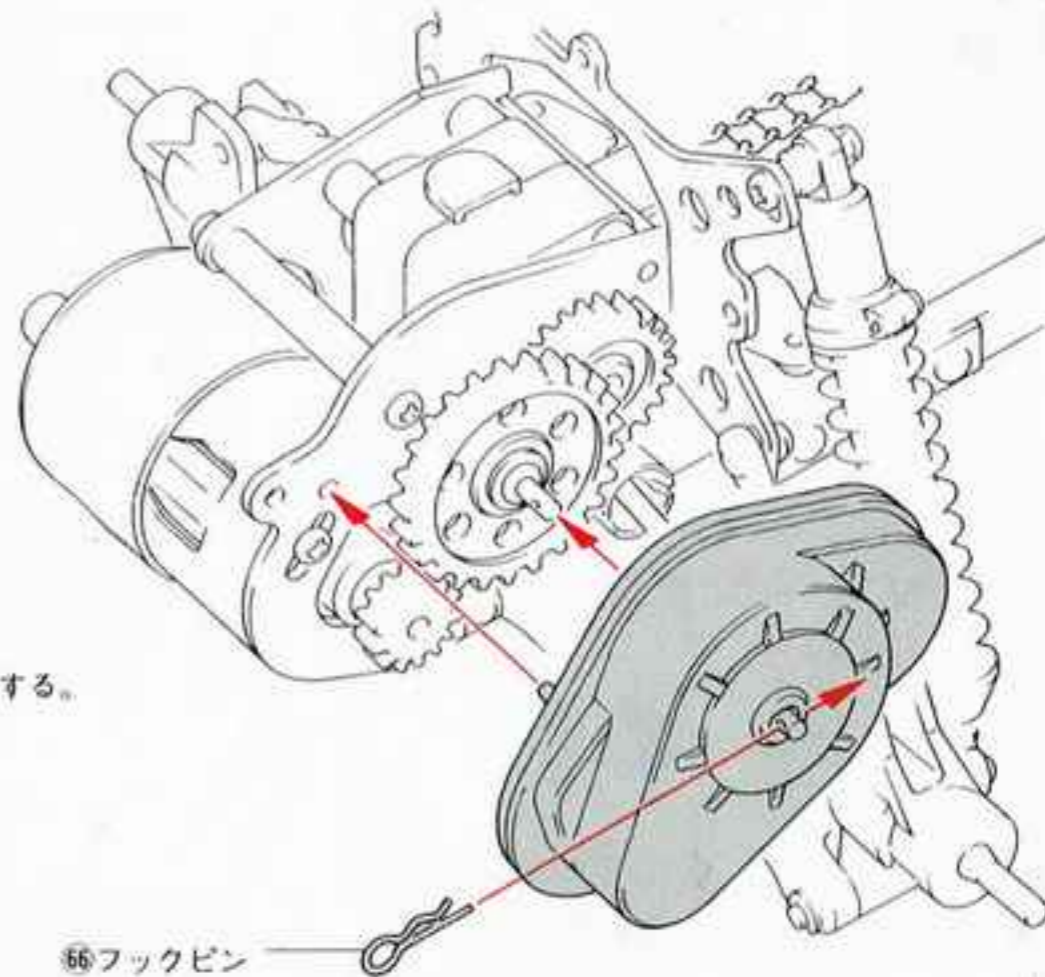
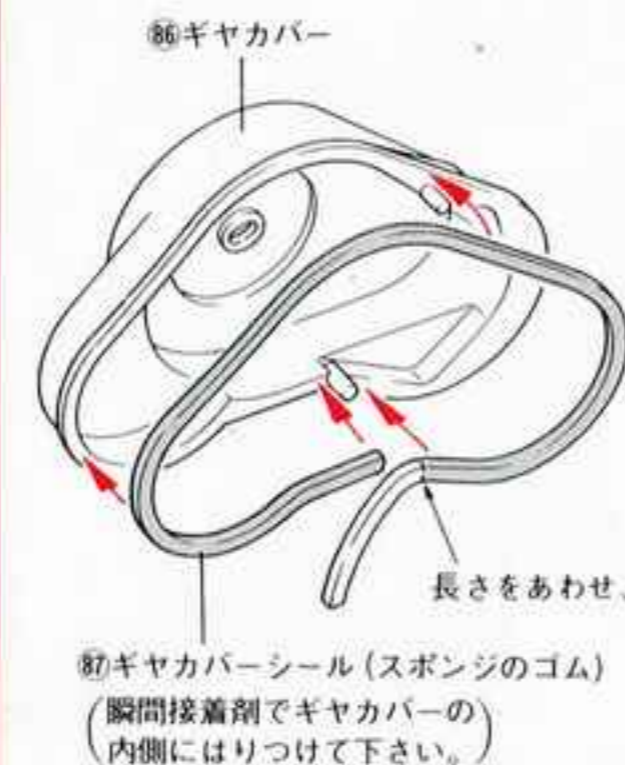


〈バックラッシュの調整〉
(ギヤのかみ合い)



ビスをゆるめ、上のビスを前・後に動かしバックラッシュを調整する。

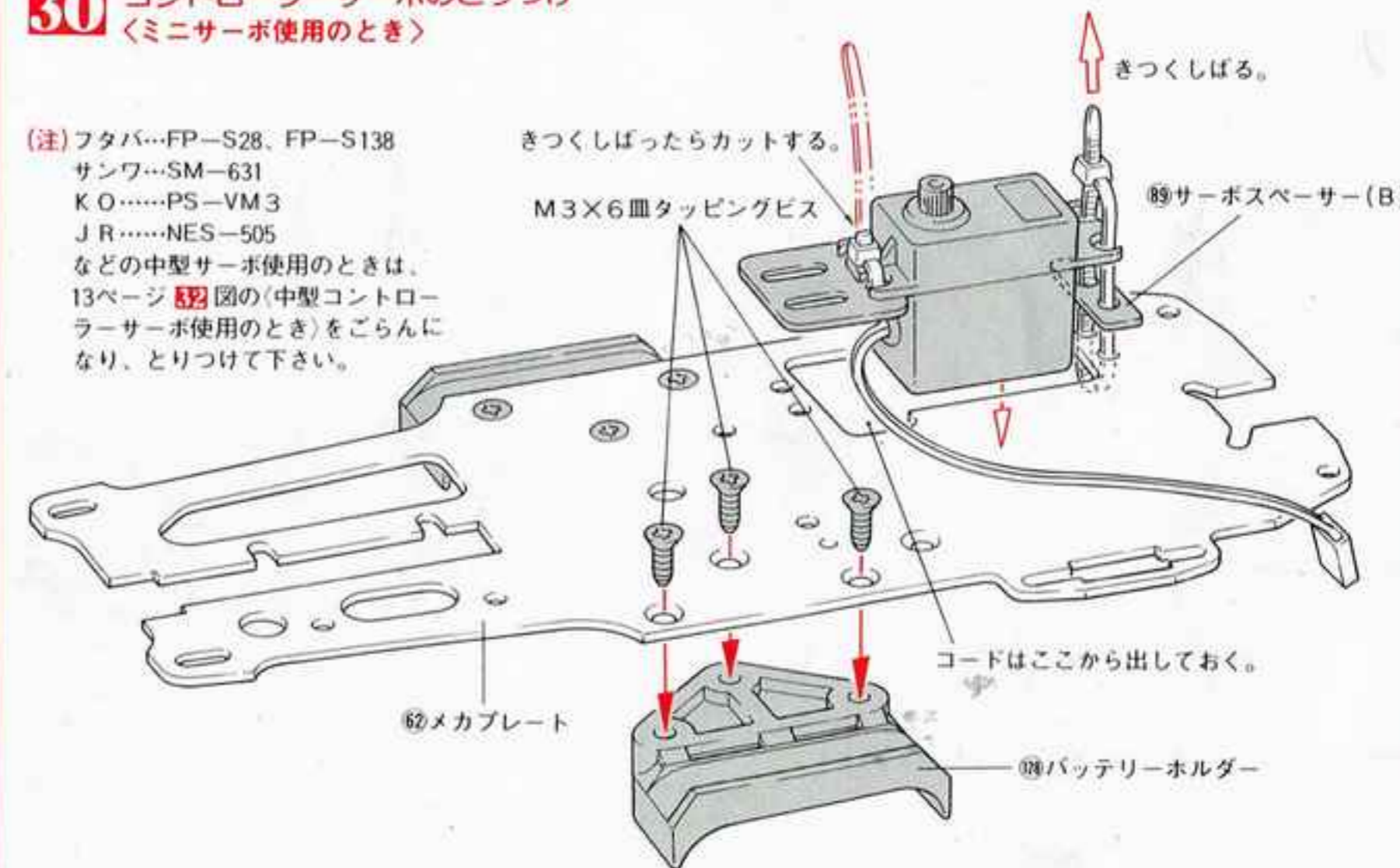
29 ギヤカバーのとりつけ



30 コントローラーサーボのとりつけ

〈ミニサーボ使用のとき〉

(注) フタバ…FP-S28、FP-S138
サンワ…SM-631
K O…PS-VM3
J R…NES-505
などの中型サーボ使用のときは、13ページ 32 図の〈中型コントローラーサーボ使用のとき〉を参考に、とりつけて下さい。



31 チェーンガイド(A)のとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2×8タッピングビス…2

④チェーンガイド(D)……1
(プラスチック)



32 メカプレートのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2×8タッピングビス…2

M2.6×8バインドタッピングビス ……4

M3×6皿タッピングビス…1

M3×8タッピングビス…2

M3×10タッピングビス…2

⑩メカポストビス…2

〈中型コントローラサーボ使用のとき〉

フタバ…FP-S28、FP-S138

サンワ…SM631

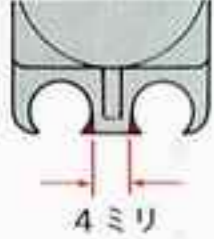
KO…PS-VM3

JR…NES-505

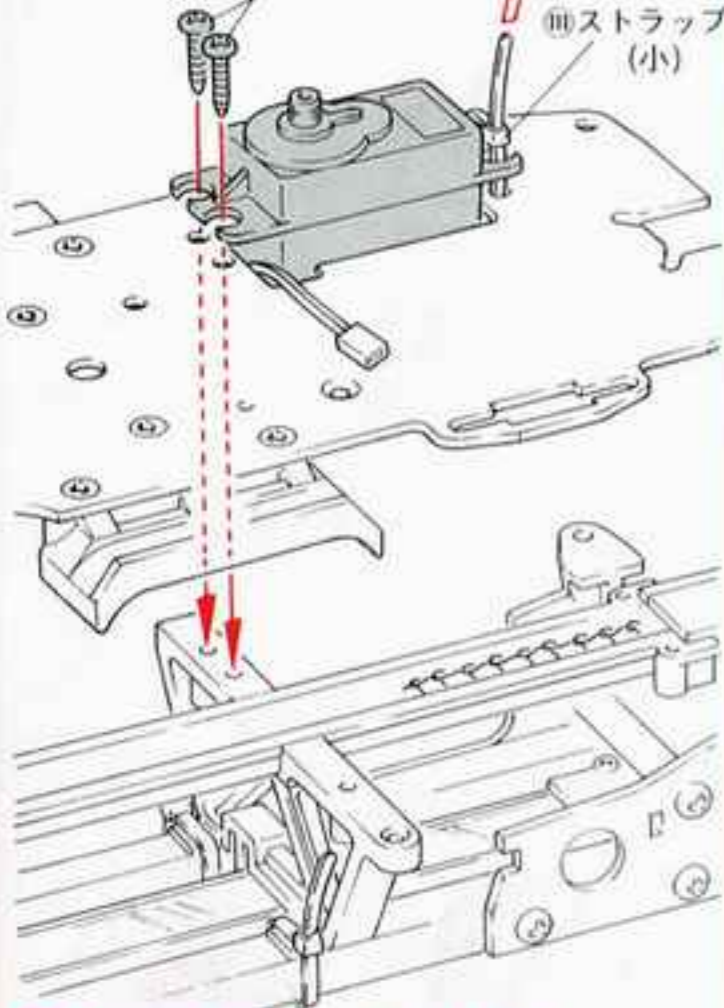
以上のサーボを使用するときは下図のように取りつけて下さい。

(1) サーボを下図のように加工して下さい。

※下図の 部をヤスリ等でけずり加工して下さい。



(2) 中型サーボのとりつけかた M3×10タッピングビス



33 コントローラーのくみだて

〈使用する小物パーツ〉

M2.6×6バインドビス…1

M3ナット(金色)…2

⑪ボールナット…1

⑫コントローラーナット…1

⑬コントローラー接点…2

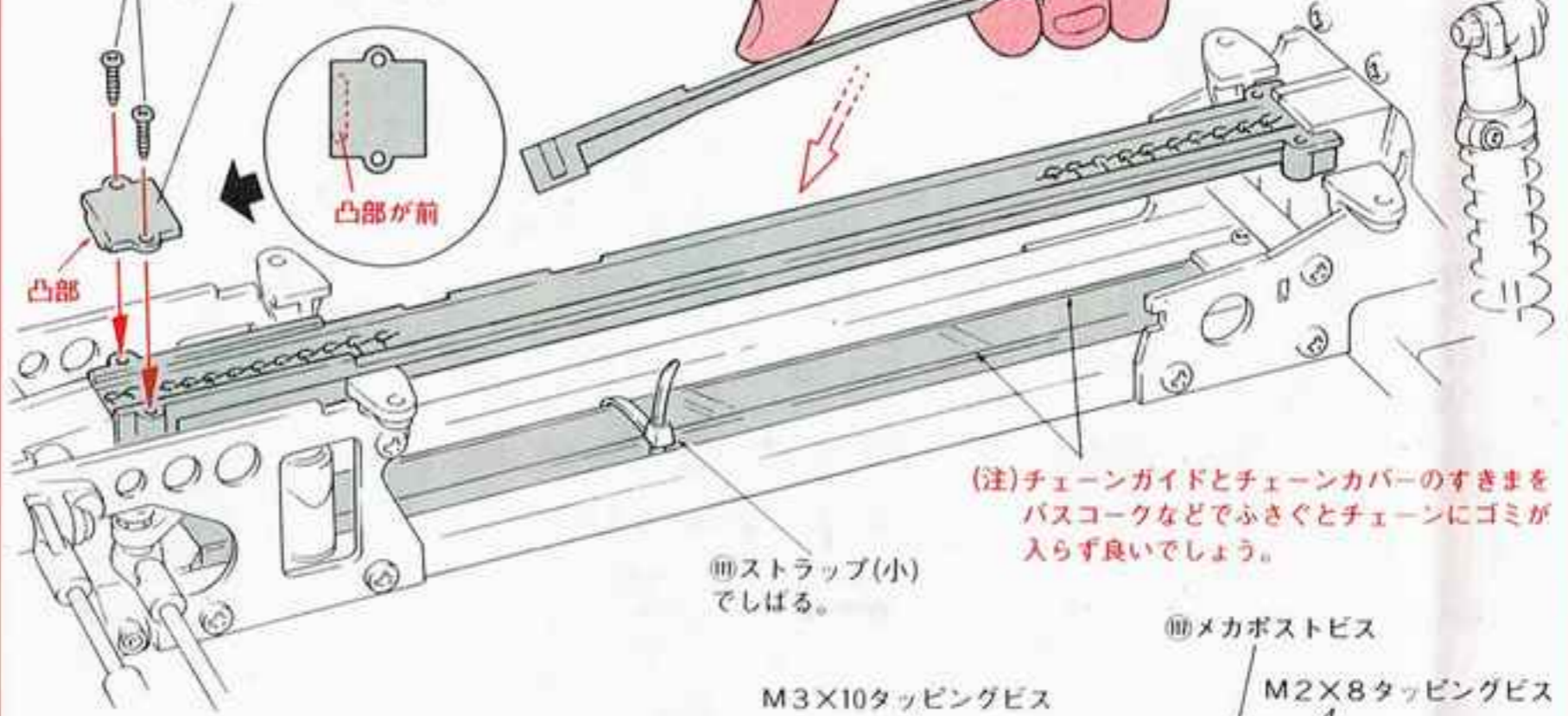
⑭コントローラーピボット…1



31 チェーンガイド(A)のとりつけ

M2×8タッピングビス

④チェーンガイド(D)

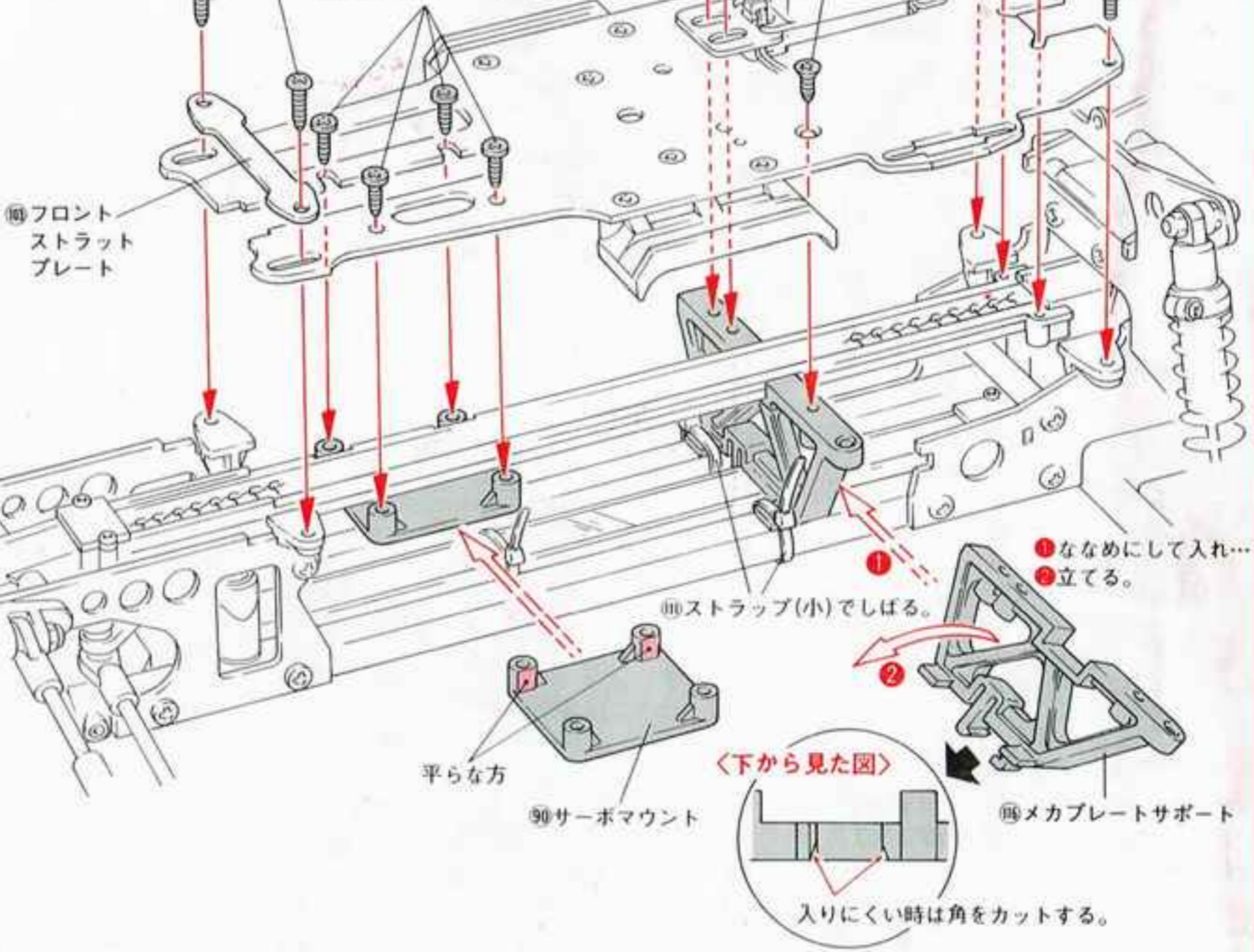


(注)チェーンガイドとチェーンカバーのすきまをバスコークなどでふさぐとチェーンにゴミが入らず良いでしょう。

⑩ストラップ(小)でしる。

32 メカプレートのとりつけ

M3×8タッピングビス
M2.6×8バインドタッピングビス



〈下から見た図〉

入りにくい時は角をカットする。

33 コントローラーのくみだて

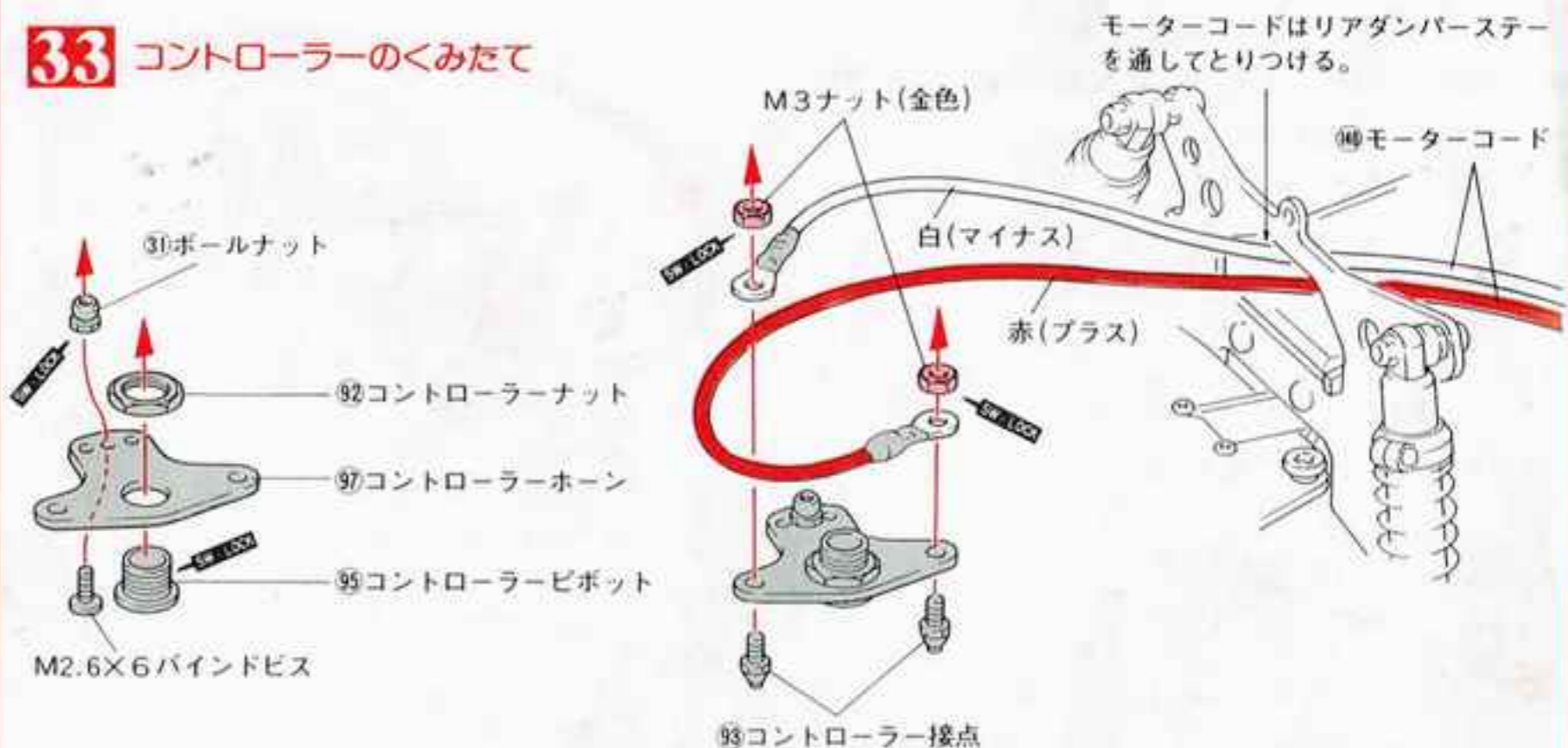
⑪ボールナット

⑫コントローラーナット

⑬コントローラーホーン

⑭コントローラーピボット

M2.6×6バインドビス



34 受信機電源の配線

＜結線のしかた＞

右図のようにプロポスイッチを電池ボックスから切りはなし、レギュレーターと結線します。

①コードをねじって結線します。

②プラスとマイナスがショートしないようビニールテープで絶縁します。

※ハンダ付けをした方がより確実に結線できます。

＜注意＞

リード線のプラス、マイナスの色は各メーカーのプロポにより違います。

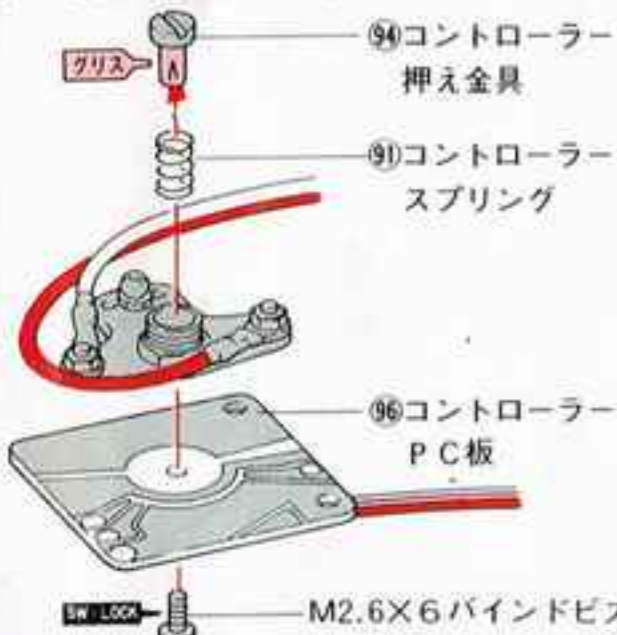


35 コントローラーPC板のとりつけ

＜使用する小物パーツ＞

- M2.6X6バインドビス……1
- M3X10ビス(金色)……2
- M3ナット(金色)……3
- ⑨1コントローラー Spring……1
- ⑨4コントローラー 押え金具……1
- ⑨8ドライバーポスト……1

＜PC板にコントローラーをとりつける＞



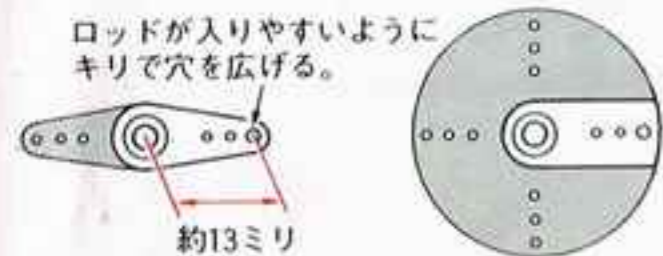
※M2.6X6バインドビスは、から回りしないよう、ネジロック又は瞬間接着剤でしっかりとPC板に固定する。

36 コントローラーのリンクージ

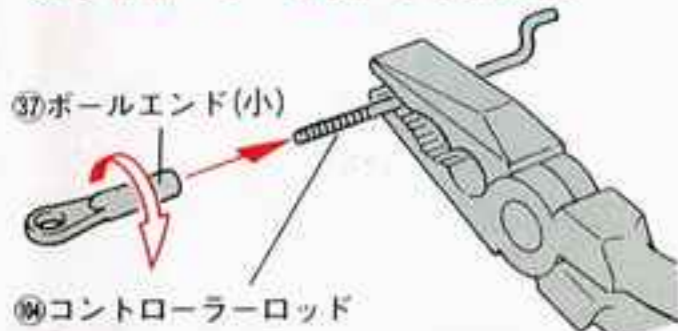
＜使用する小物パーツ＞

- ⑨7ボールエンド(小)……1
- ⑨8サーボロッド……1

＜サーボホーンのカット＞ プロポに入っているところをカットする。



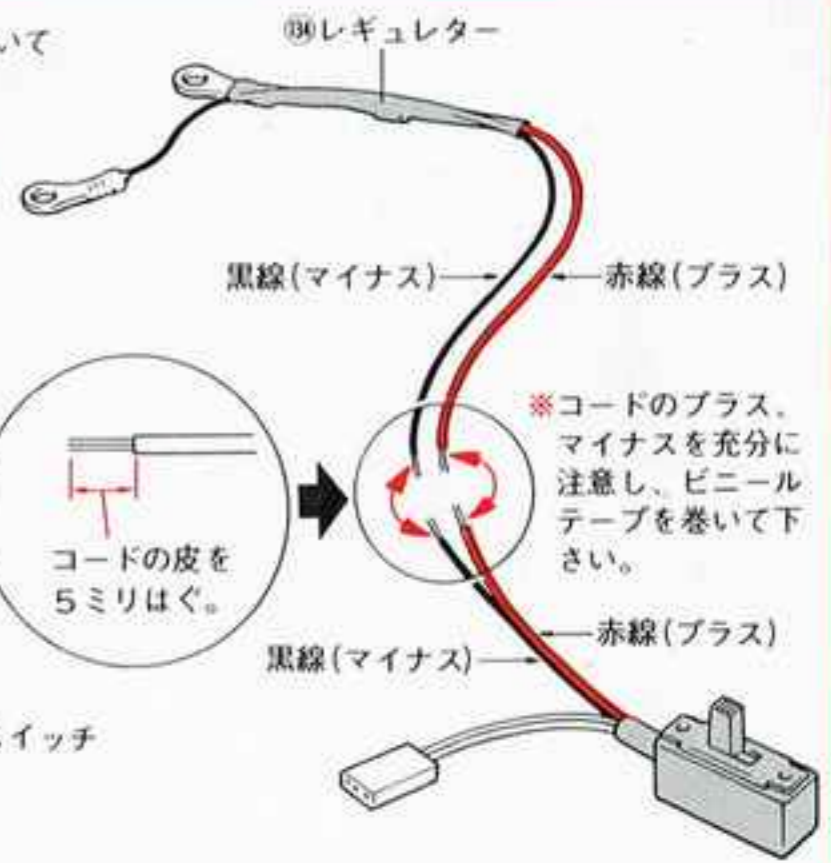
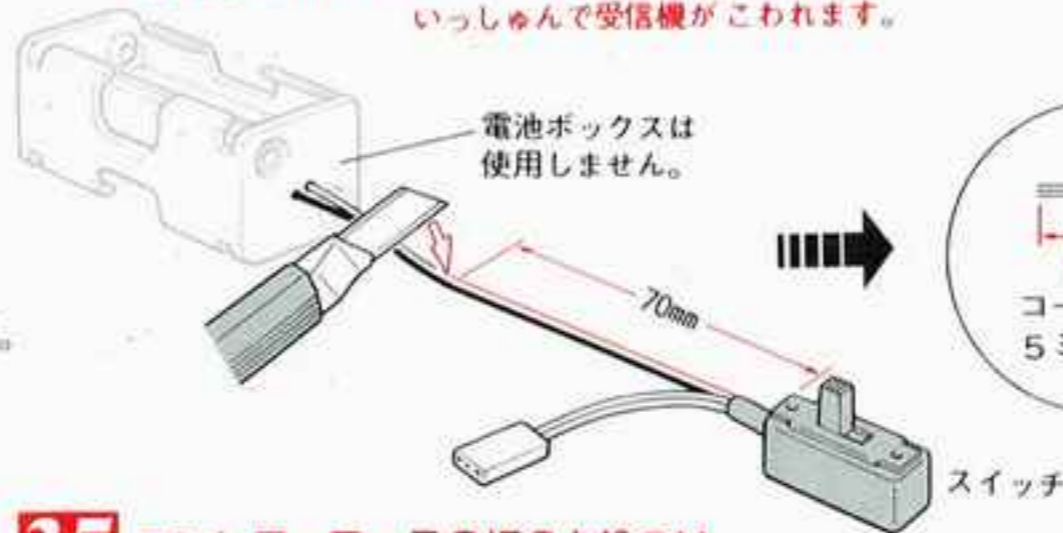
＜コントローラーロッドのくみため＞



34 受信機電源の配線

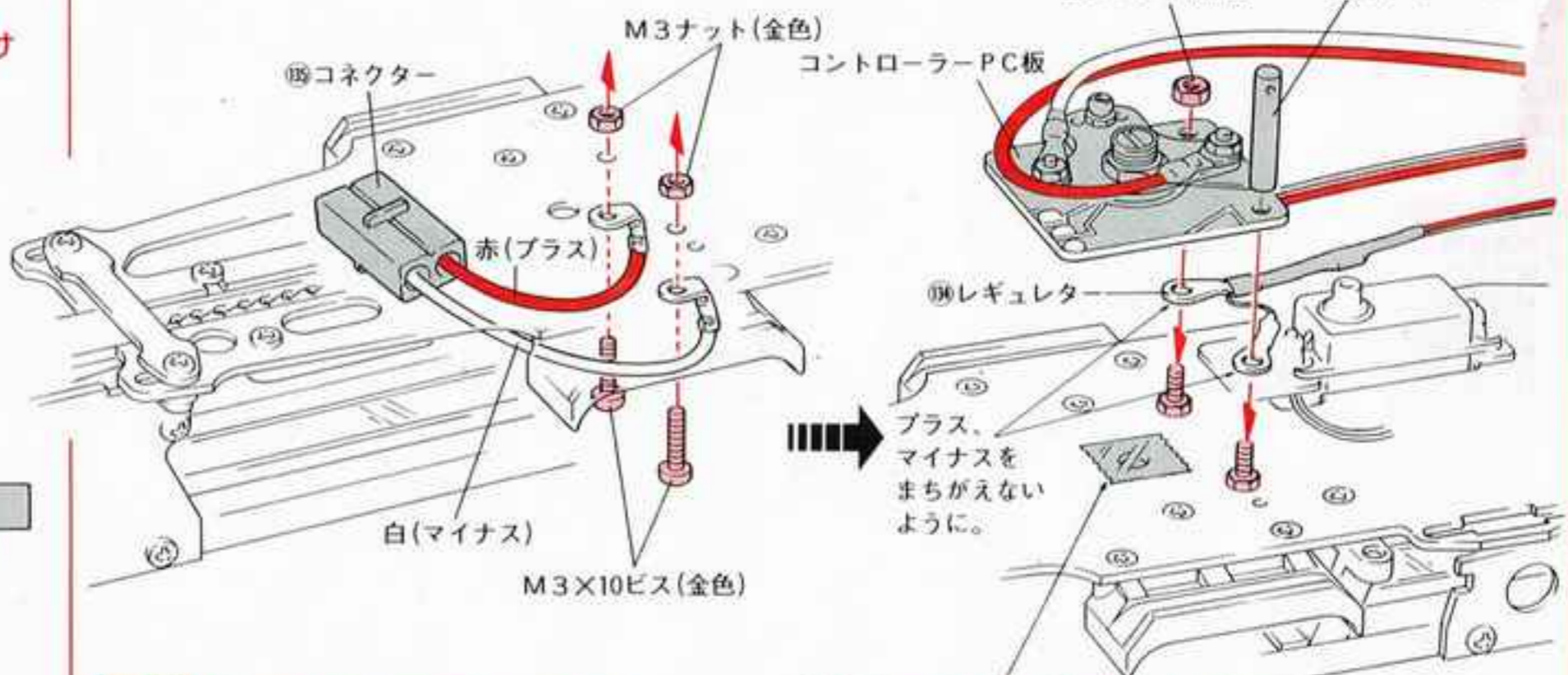
※スイッチハーネスはプロポについているものを使用します。

＜注意＞ 本車はプロポの受信機電池を走行用電池(7.2Vバッテリー)からとる共用電源を使用しております。7.2Vをそのまま受信機に使用したりプラス、マイナスをまちがえると、いっしょんで受信機がこわれます。



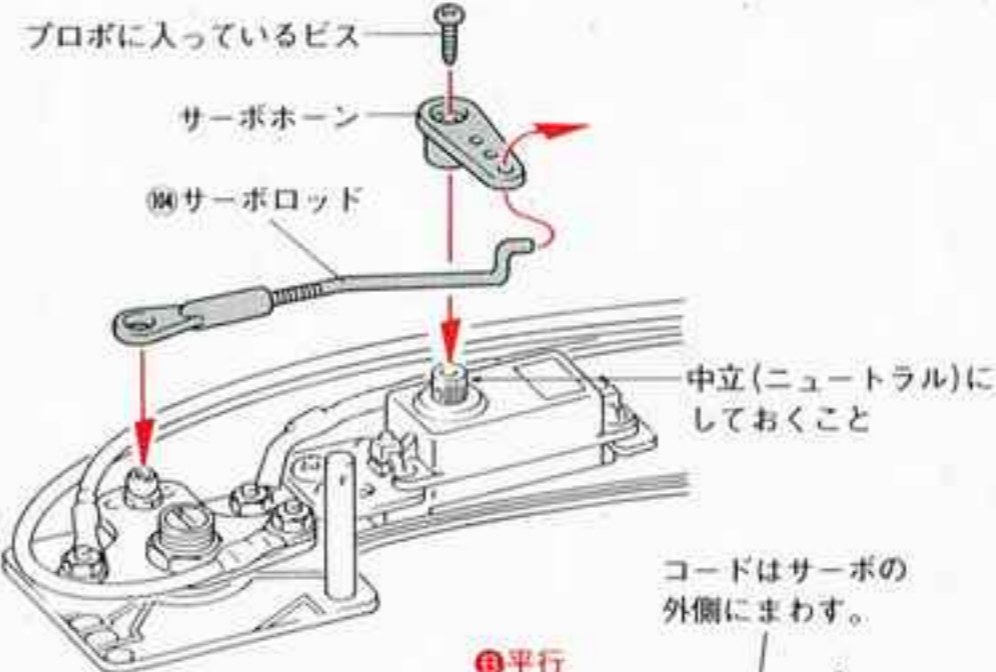
35 コントローラーPC板のとりつけ

＜コネクタの端子を曲げる＞

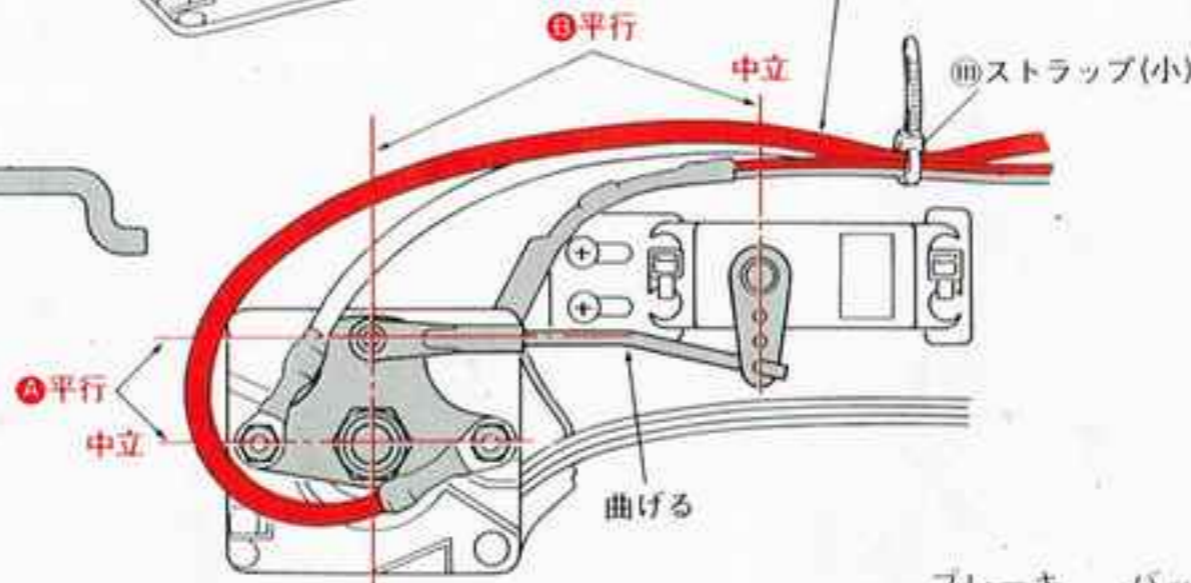
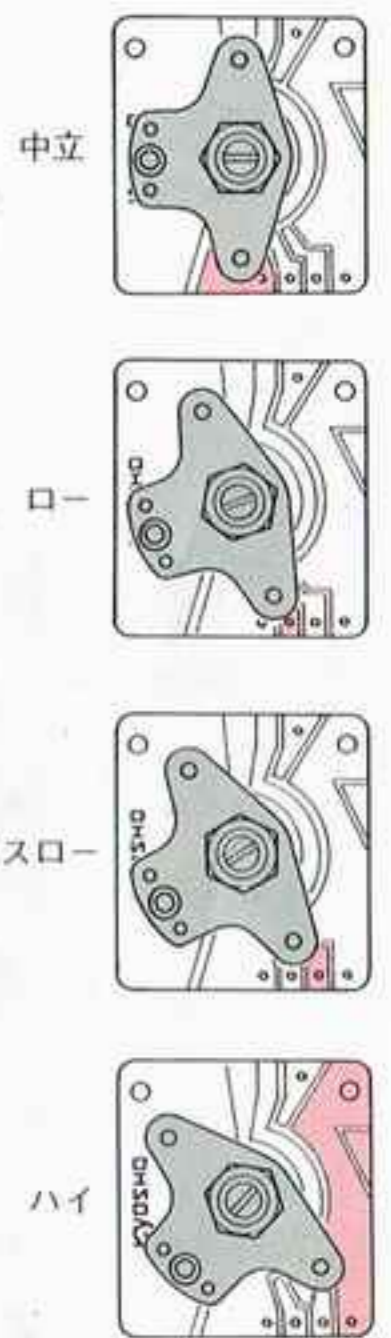


(注) デカールのあまり又はセロテープで穴をふさいで下さい。

36 コントローラーのリンクージ



＜コントローラーホーンの動き＞

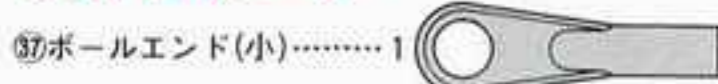


⑨の平行はボールエンドを回して調整する。

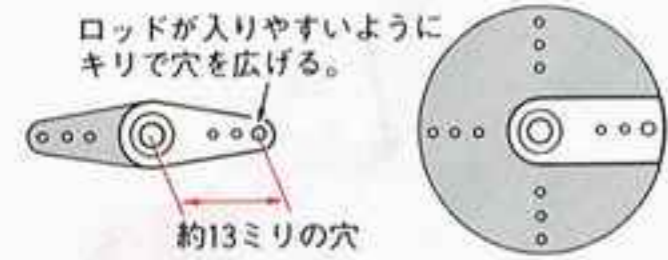


37 ステアリングのリンケージ

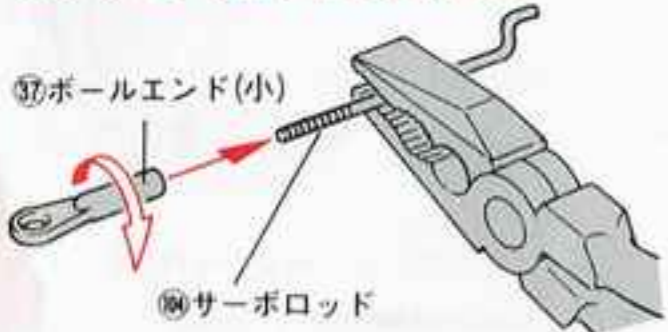
〈使用する小物パーツ〉



〈サーボホーンのカット〉 プロポに入っている

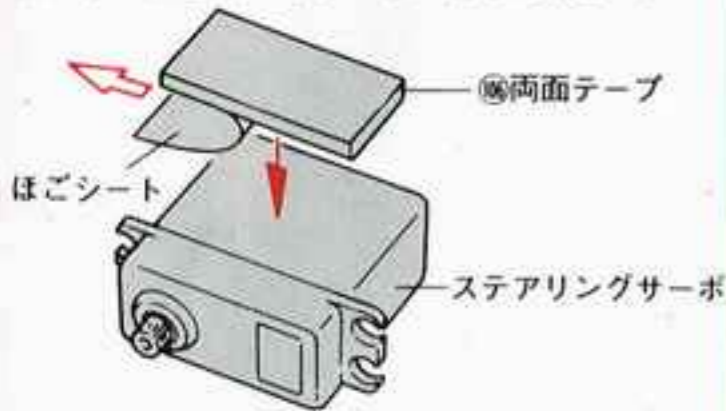


〈ステアリングロッドのくみ込め〉



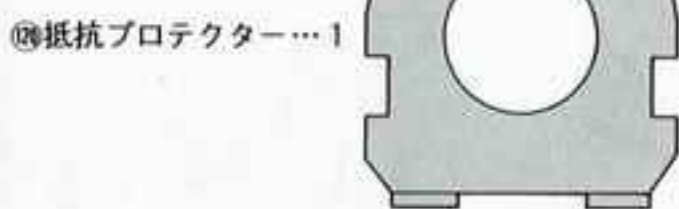
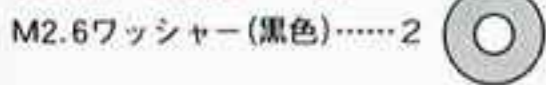
〈両面テープのはりつけ〉

両面テープをサーボの幅に合わせて切り、ほごシートをはがしサーボにはって下さい。



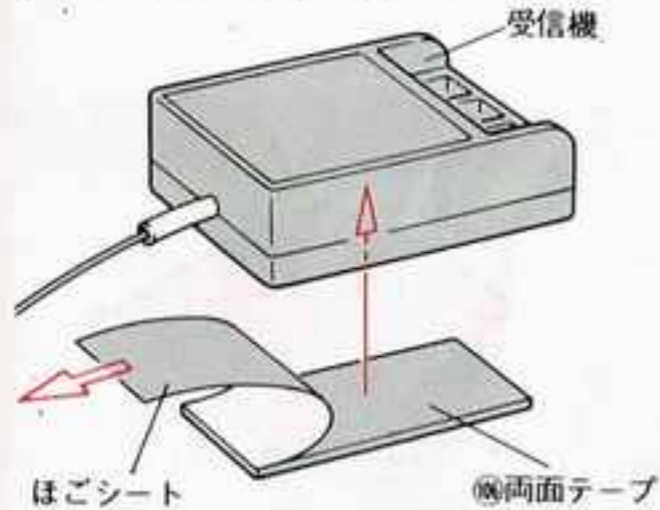
38 受信機、抵抗、アンテナのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉



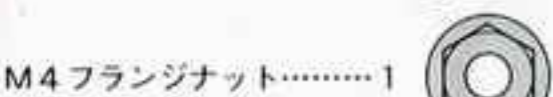
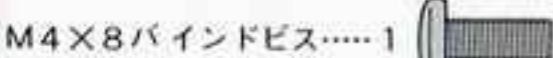
〈両面テープのはりつけ〉

両面テープを受信機の幅に合わせて切り、ほごシートをはがしてはって下さい。



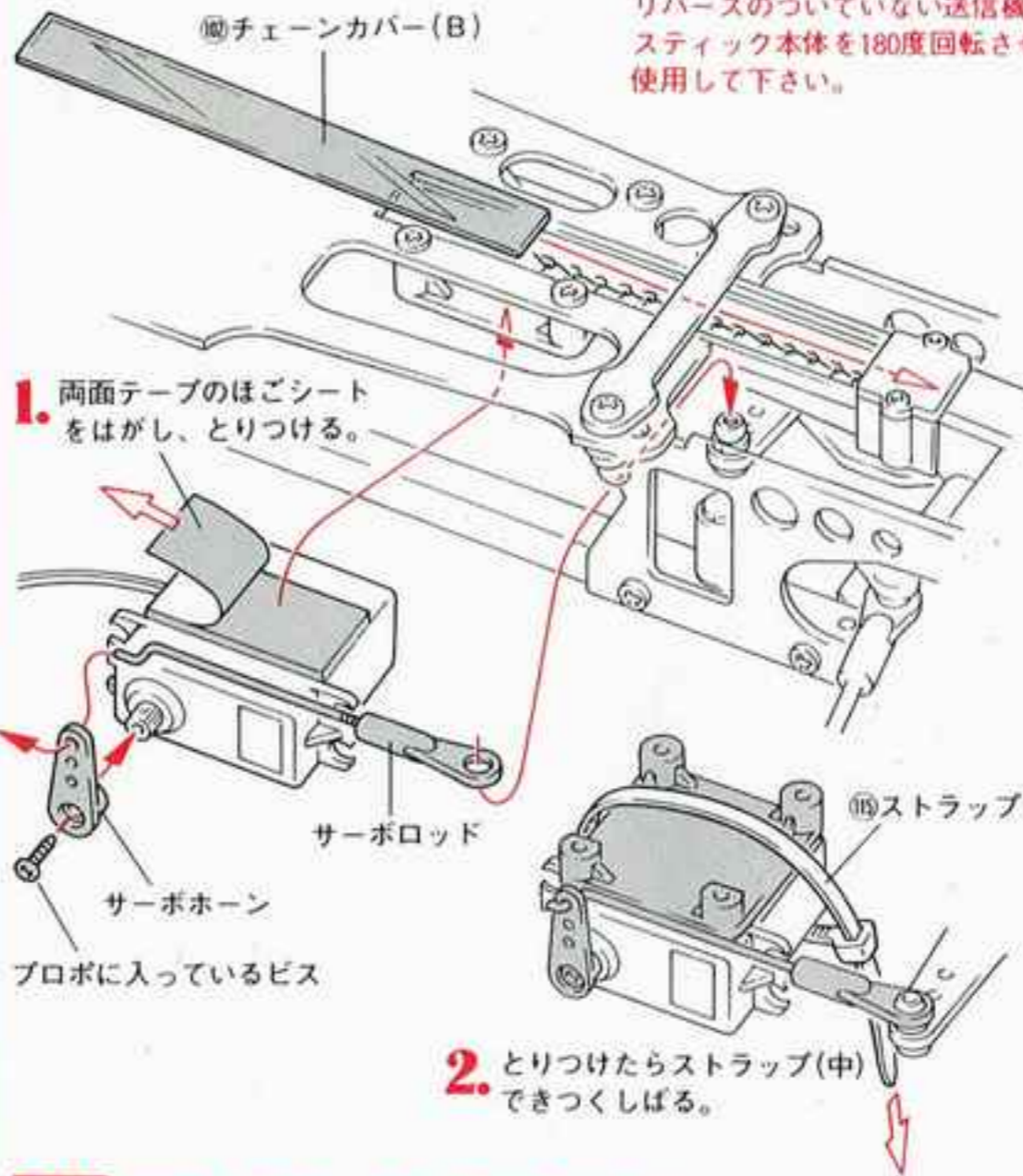
39 フロントバンパーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

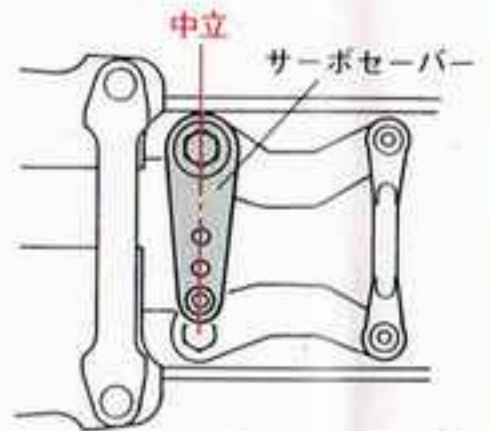
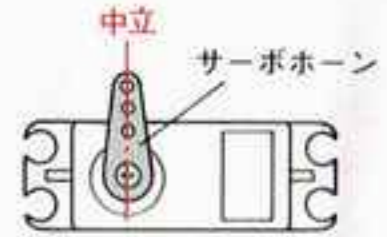


37 ステアリングのリンケージ

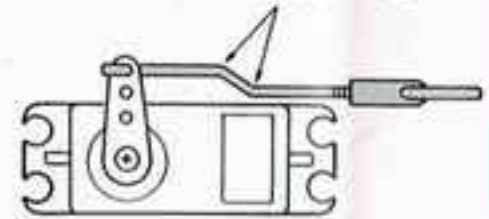
(注)ステアリングサーボの回転方向は、リバースの状態で使用して下さい。リバースのついていない送信機は、スティック本体を180度回転させ、使用して下さい。



●ステアリングロッドをとりつける時はサーボホーンとサーボセーバーを中立にしておく。



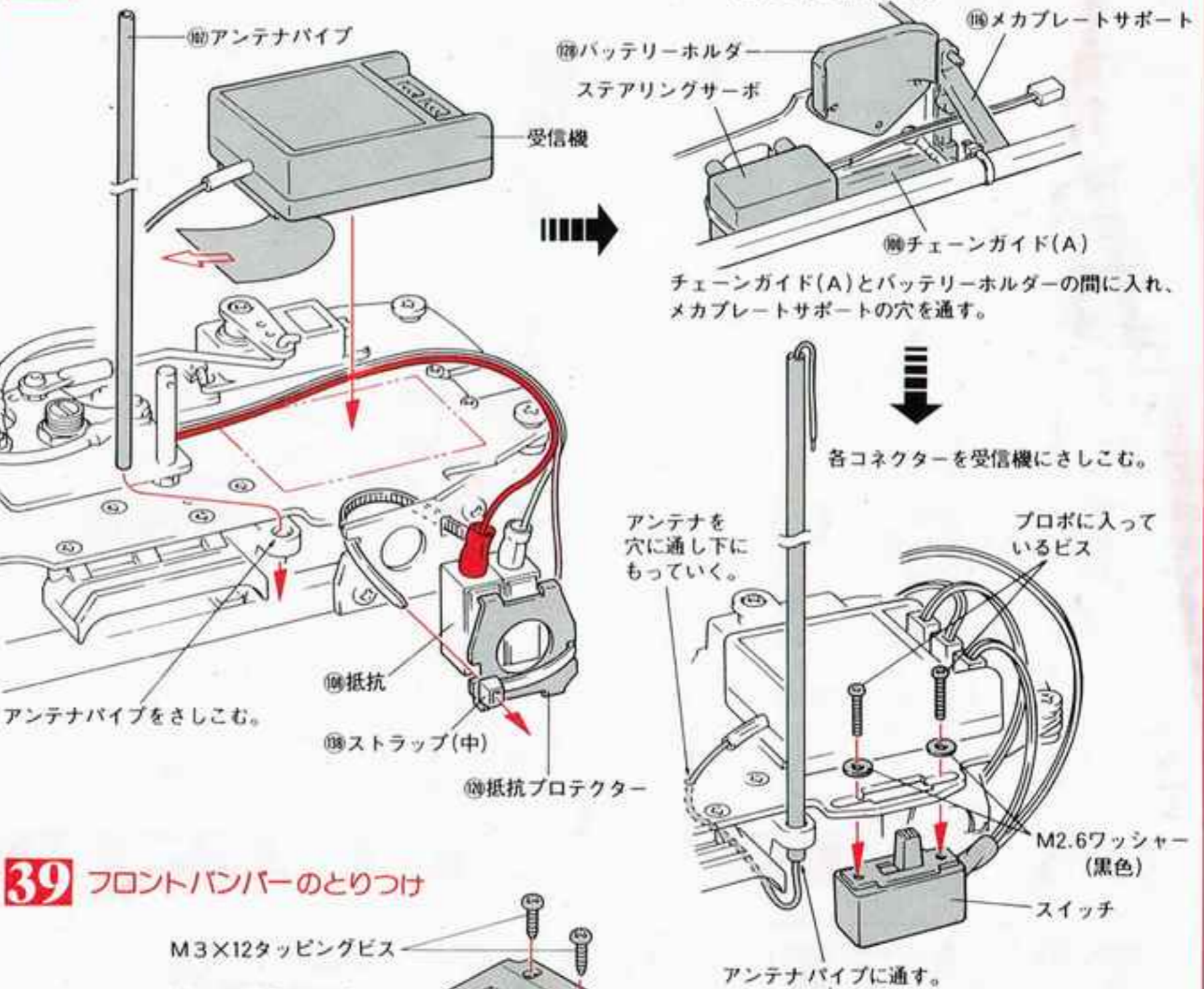
●ステアリングロッドがメカデッキにあたる時は図のように曲げる。



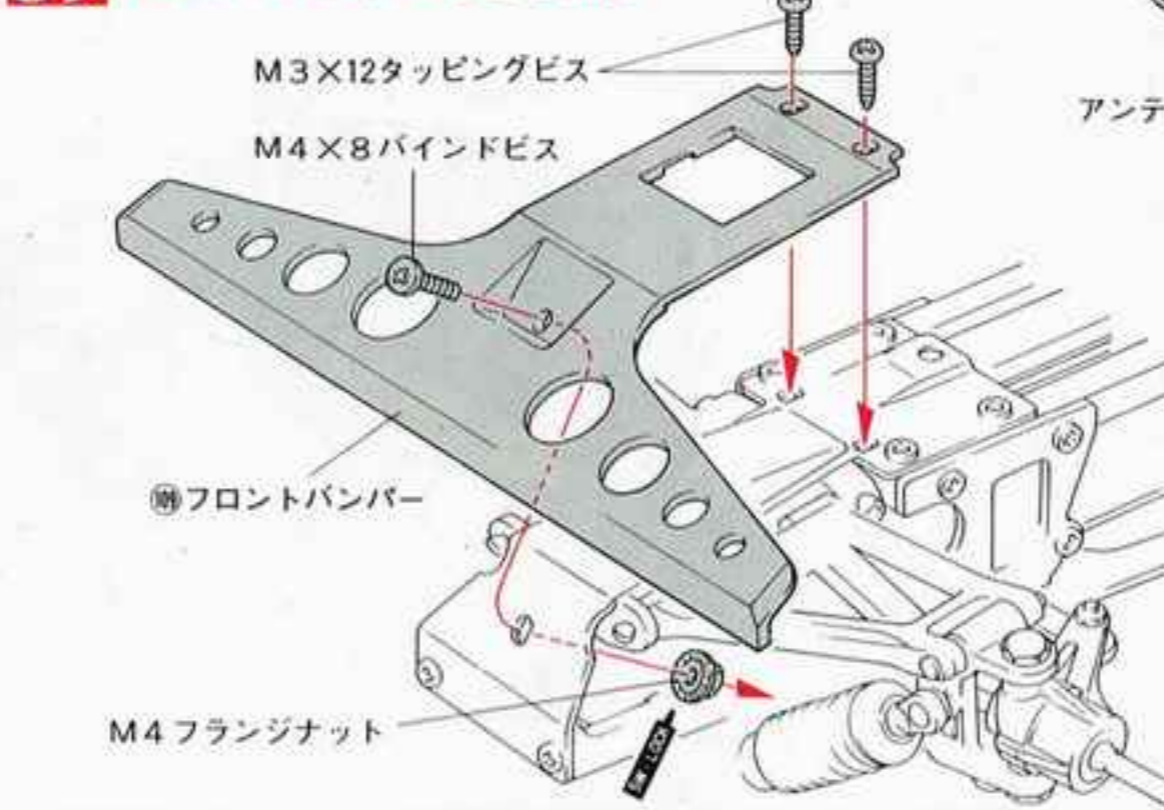
〈下から見た図〉

ステアリングサーボのコネクターコードは図のように配線する。

38 受信機、抵抗、アンテナのとりつけ



39 フロントバンパーのとりつけ



40 タイヤのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M4ナイロンナット.....4



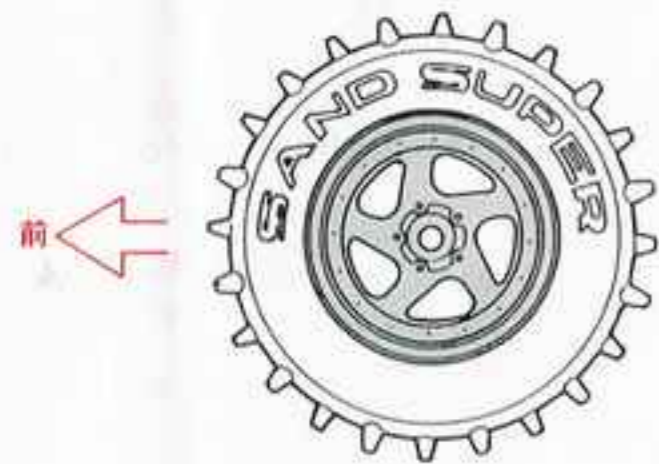
⑩ドライブワッシャー.....4



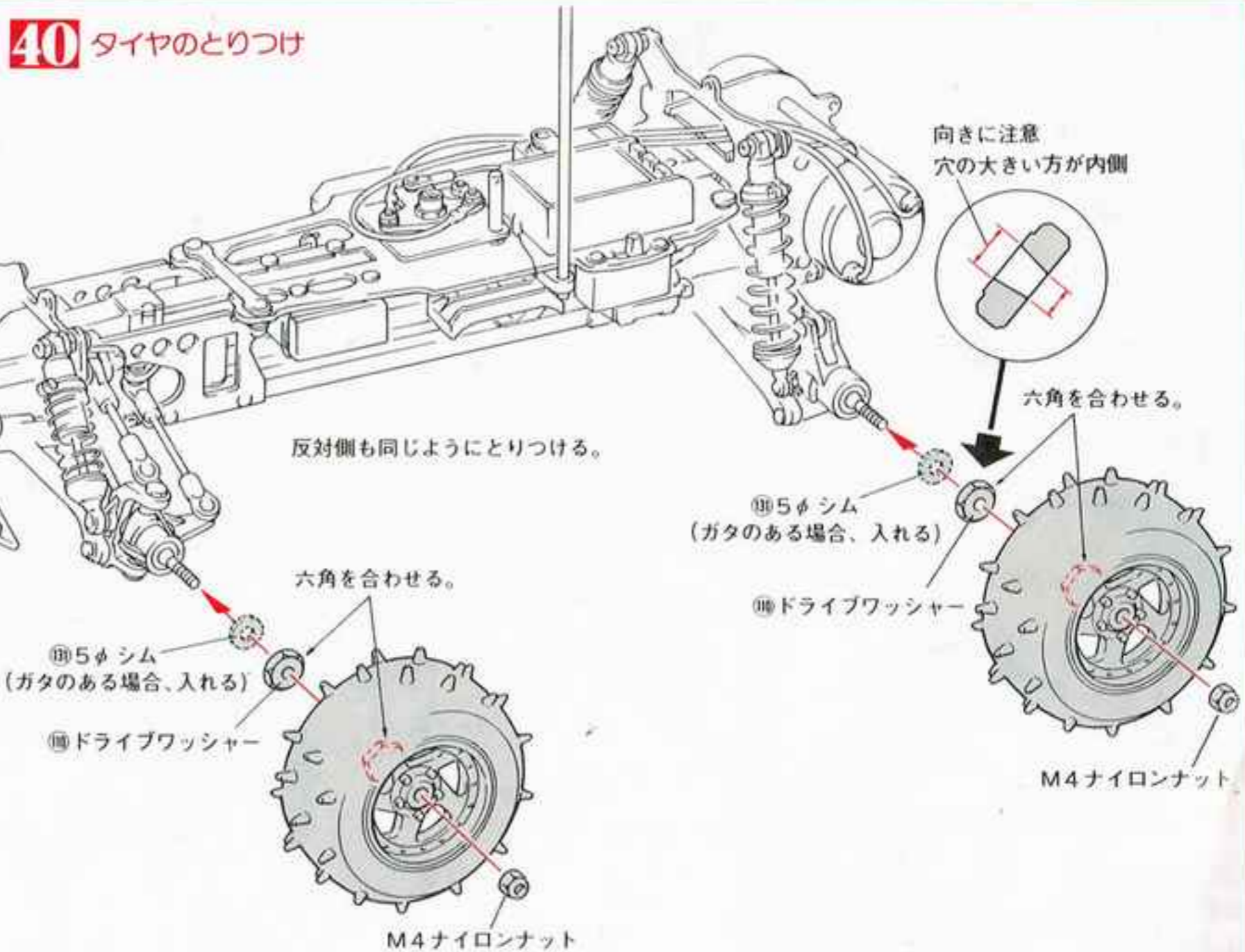
⑪5φ シム.....4



ホイルの向きは図のようにとりつけて下さい。



40 タイヤのとりつけ

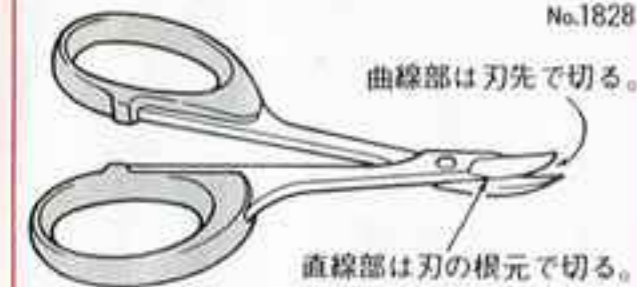


41 ボディとドライバーのカット

KYOSHO

京商ではポリカーボネード工作用の専用ハサミ「ラウンドカッター」を発売しております。

No.1828



42 ボディとドライバーの塗装

本車のボディはポリカーボネートと言う透明のプラスチック板をボディ型に成型したもので出来ています。ポリカーボネードを塗装するときは裏側から塗った方がきれいに塗装できます。塗料の付きを良くするために中性洗剤を使い、よく水洗いして手アカや油などをつけないように乾かして下さい。一色塗りの時はボディ内側全体を2~3回塗装すれば良いのですが、2色以上に色分けする時は粘着テープやマイクロラインテープなどを色分けするラインに貼り、濃い色から塗り最後にボディ全体に薄い色を塗ります。

KYOSHO



京商マイクロラインテープはマスキングテープとして又、デザインテープとしても使えます。色は6色、太さも3種類あります。 No.1841~3

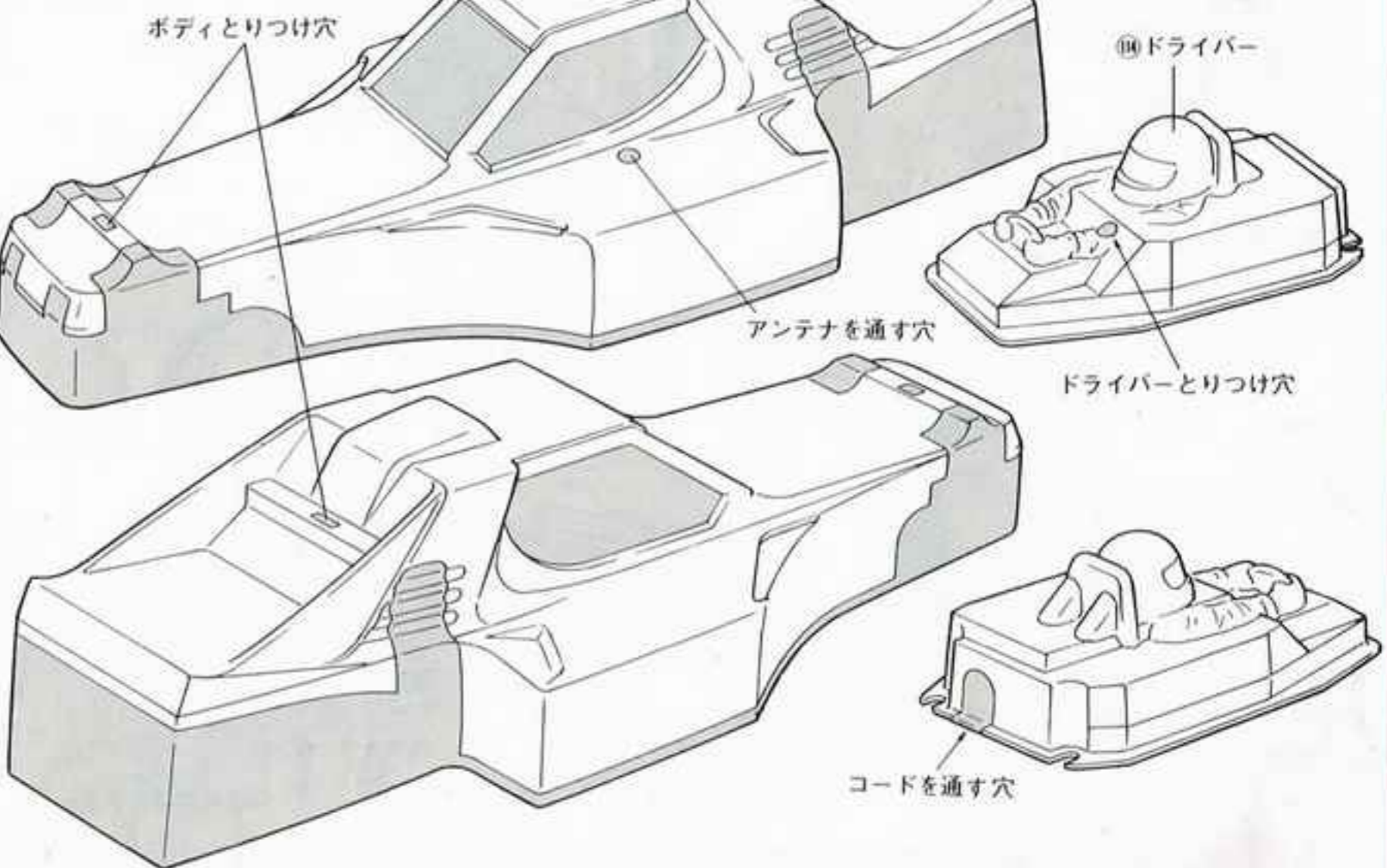
KYOSHO



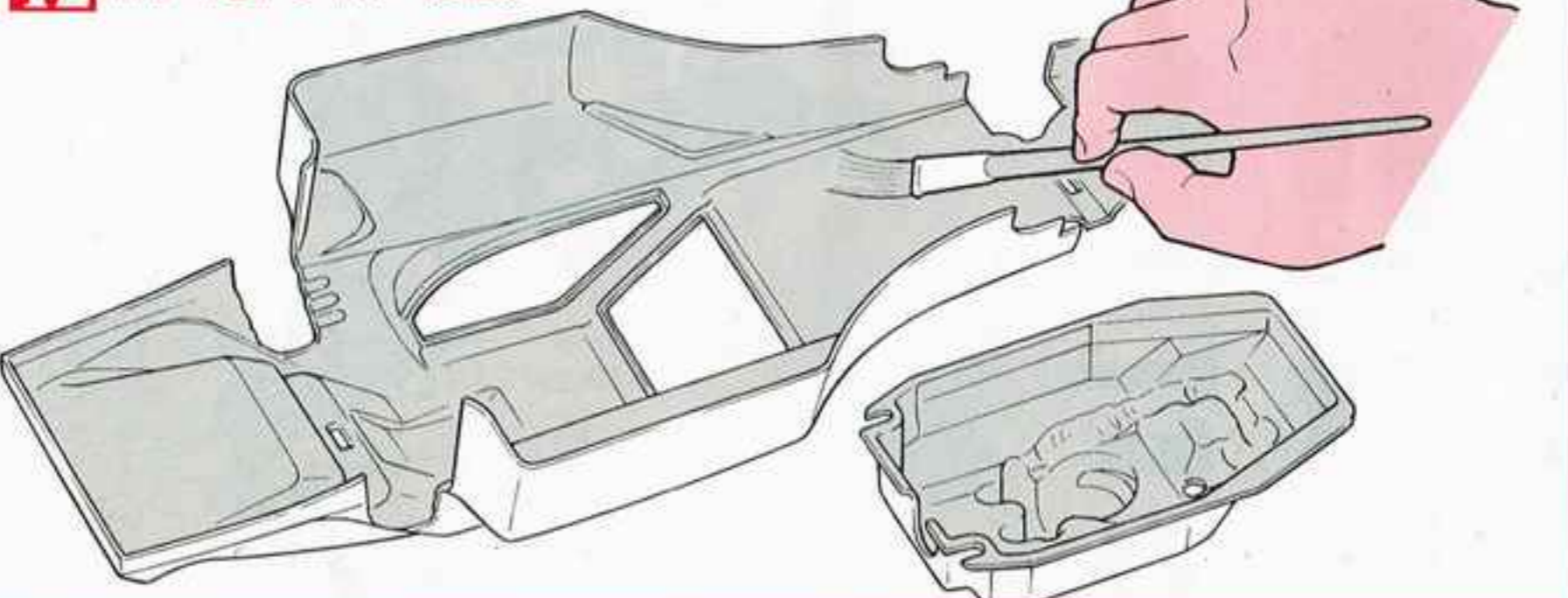
京商ポリカカラーはポリカーボネード専用のアクリル塗料で大変あつかいやすく、色も12色そろっております。 No.2230

41 ボディとドライバーのカット

カッターナイフ、ハサミ、キリを使って
□のところをカットして下さい。



42 ボディとドライバーの塗装



43 ドライバーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

⑥フックピン……………1



44 ボディのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

⑥フックピン……………2

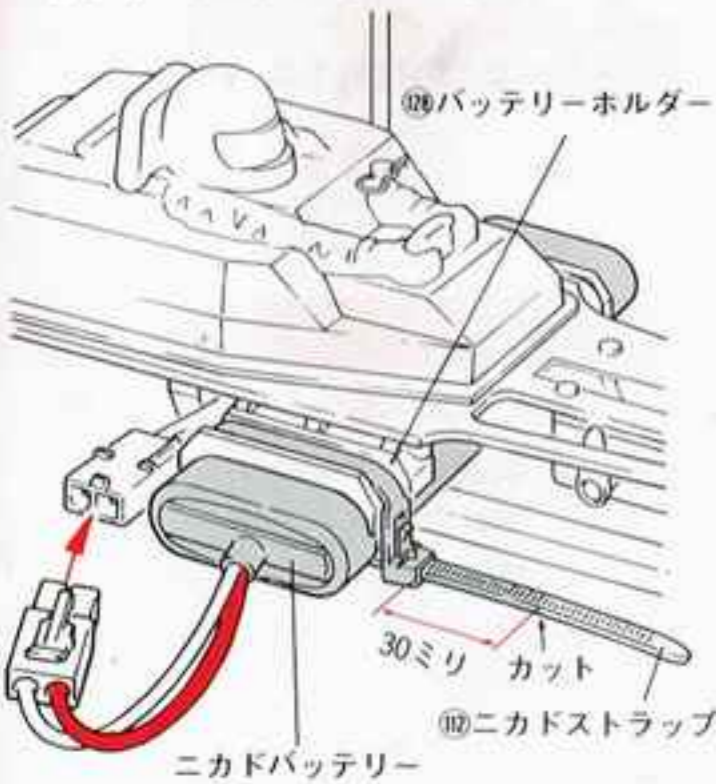


⑩ボディワッシャー…2
(とうめいの
ブラワッシャー)



〈ニカドバッテリーのとりつけ〉

ニカドストラップでニカドバッテリーと
バッテリーホルダーをしぼる。



KYOSHO



ニカドバッテリーは電動レーシングカーの性能
を十分に発揮できる高性能バッテリーをお選び
下さい。

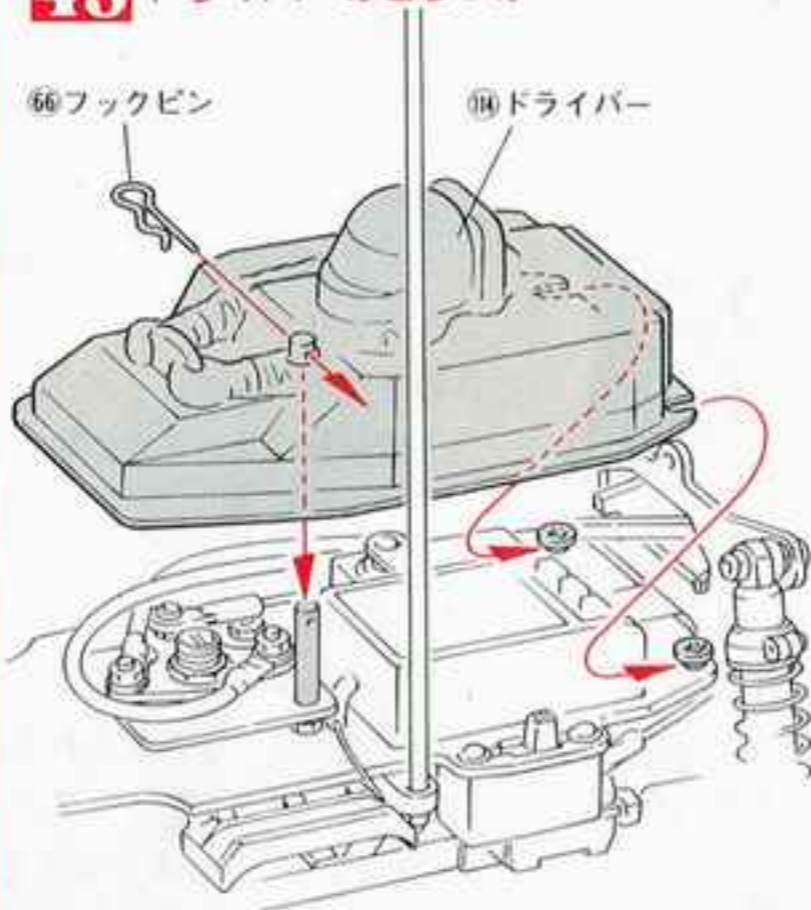
京商では特にレーシングカー用にセレクトされ
た高性能のレーシングバッテリー7.2Vを用意
しております。

No.2218

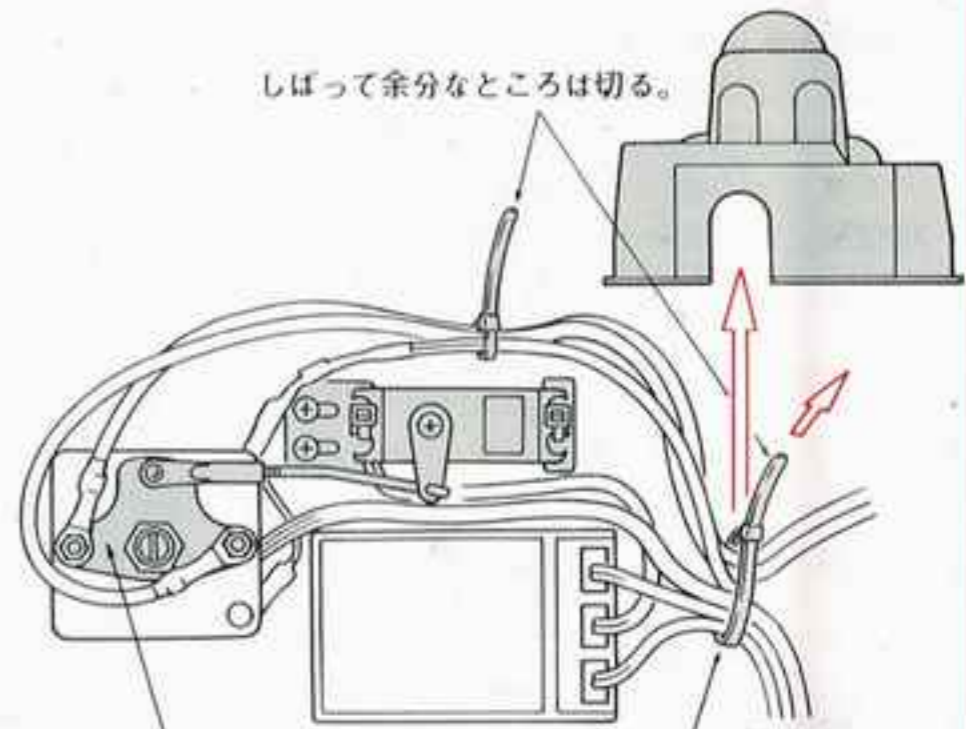
43 ドライバーのとりつけ

⑥フックピン

⑩ドライバー



しばって余分なところは切る。



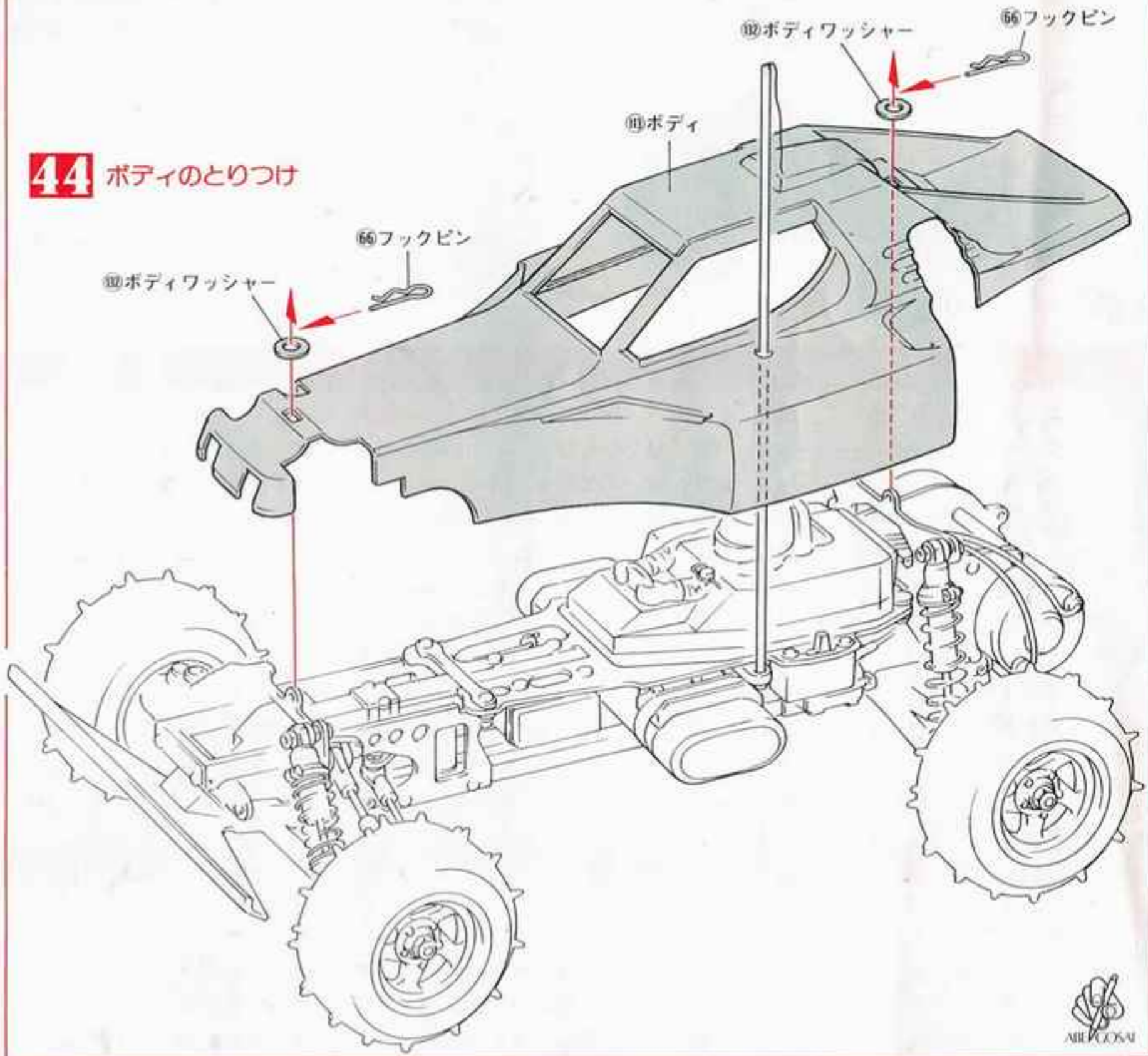
※コントローラーは回転するので
モーターコードは図のようにた
るませてドライバーをとりつけ
ること。

各コードをストラップ(小)で
しばり、ドライバーの後の穴
から出す。

44 ボディのとりつけ

⑩ボディワッシャー

⑥フックピン



フロントデフ&リアデフ分解図

〈フロントデフ〉

⑩スプロケット(A)

⑩ベベルギヤ(B)

⑩ベベルシャフト

M2X8タッピングビス

⑩ベベルギヤ(B)

⑩ベベルギヤ(A)

⑩スプロケット(B)

〈リアデフ〉

⑩メインギヤ

⑩ベベルギヤ(B)

⑩ベベルシャフト

M2X8タッピングビス

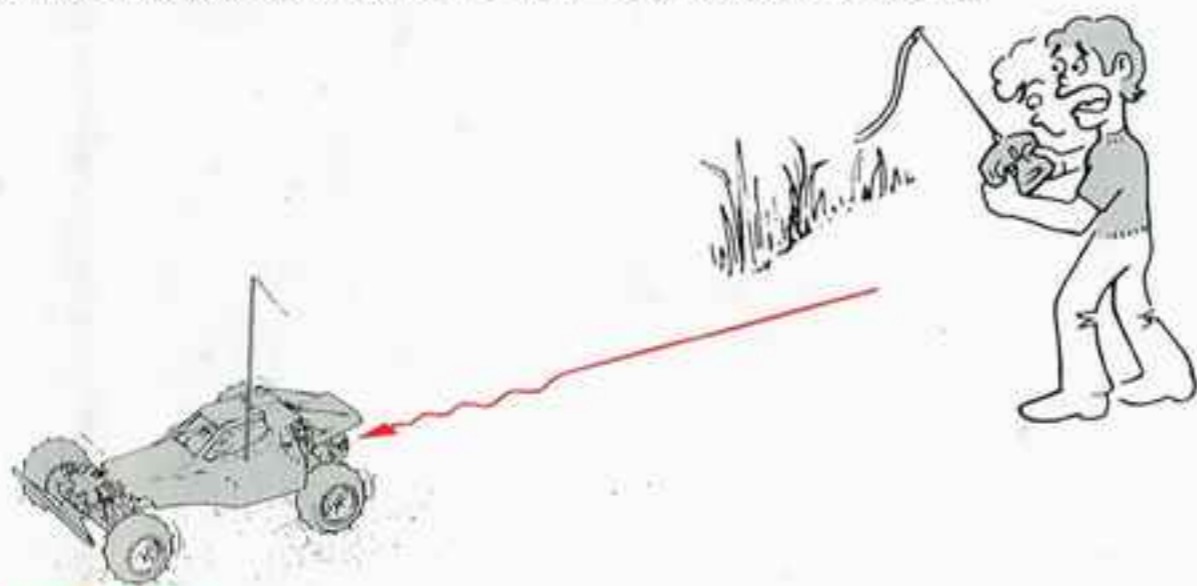
⑩ベベルギヤ(B)

⑩ベベルギヤ(A)

⑩スプロケット(C)

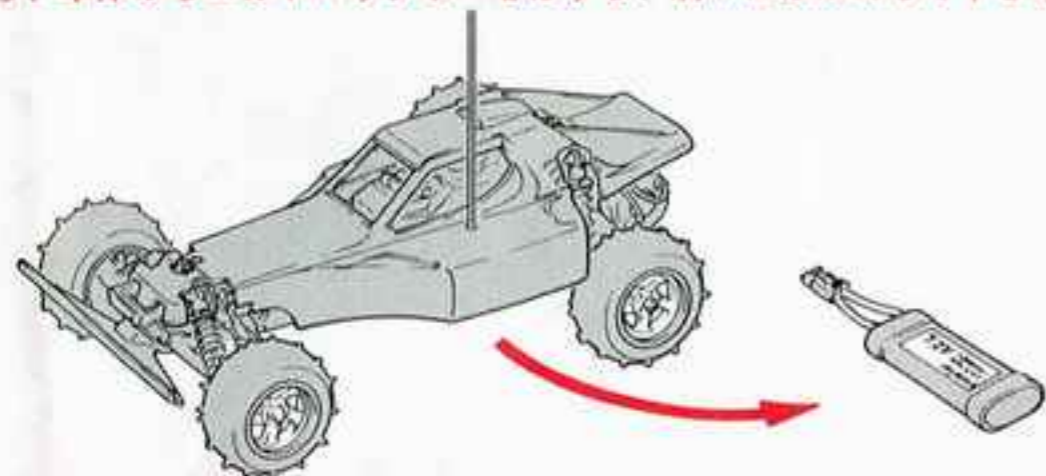
＜走行中の注意＞

このラジコンカーはプロポの受信機、サーボの電源を走行用のニカドバッテリーと共用(いっしょに)して使用しています。走行中にスピードがおちてきたなノ…とかんじたら走行を中止して下さい。そのまま走行をつづけますと、受信機に電気がいなくなりコントロールができなくなります。



＜走行後の注意＞

ラジコンカーの走行を楽しんだあとは必ずニカドバッテリーのコネクターをはずし、車体からニカドバッテリーをはずし、別々にほかにして下さい。



＜走行前のチェック＞

★初走行の時はニカドバッテリー1～3バックぐらいはゆっくりと走らせて下さい。

- ①各部のネジ、ナットなどのゆるみがないかチェック。
- ②ニカドバッテリーの充電は完全か。
- ③ステアリング(フロントタイヤ)、コントローラーがプロポ通り動くか。
- ④各配線コードがしっかりとされているか。
- ⑤各回転部はスムーズに動くか。

＜走行のときの順番＞

- ①送信機のスイッチを入れる。(ON)
 - ②受信機のスイッチを入れる。(ON)
 - ③プロポの動きをチェック。
- ★プロポのスイッチを切るとき(OFF)は受信機側を先に切り(OFF)、後で送信機のスイッチを切ること(OFF)。
- この手順をあやまると車が勝手に走ったり、ぼう走することがあるので必ず守って下さい。

＜動かないときのチェック＞

- ①バッテリー、コネクター、コントローラーなどの接触不良。
- ②ニカドバッテリーの充電不足。
- ③送信機の電池不足。
- ④他の電波の混信などしらべる。

パーツリスト

キーNo.	部品名称	数量	キーNo.	部品名称	数量	キーNo.	部品名称	数量	キーNo.	部品名称	数量
①	タイヤ	4	36	M2シャフト	1	71	ダンパーシール	4	106	両面テープ	1
②	オイル(1)	4	37	ボールエンド(小)	4	72	ダンパーオイル	1	107	アンテナパイプ	1
③	◇(2)	4	38	キングピン	4	73	フロントダンパーケース	2	108	抵抗	2
④	◇(3)	4	39	ナックルアーム(L)	1	74	リアダンパーケース	2	109	フロントバンパー	1
⑤	8φ×14ベアリング	4	40	◇(R)	1	75	フロントダンパーピストン	2	110	ドライブワッシャー	4
⑥	ジョイント	4	41	フロントシャフト	2	76	リアダンパーピストン	2	111	ストラップ(小)	6
⑦	六角レンチ(2ミリ)	1	42	フロントハブ(L)	1	77	フロントスプリング	2	112	ニカドストラップ	2
⑧	プラメタル	8	43	◇(R)	1	78	リアスプリング	2	113	ボディ	1
⑨	ギヤボックス(L)	1	44	Eリング(E-2.5)	4	79	スプリングストッパー	4	114	ドライバー	1
⑩	ファイナルピニオン	1	45	サスシャフト(A)	2	80	ダンパーワッシャー	4	115	ストラップ(大)	1
⑪	ギヤボックス(R)	1	46	◇(B)	2	81	ダンパーOリング	4	116	メカプレートサポート	1
⑫	センターギヤシャフト	1	47	六角レンチ(1.5ミリ)	1	82	ダンパーストッパー	4	117	メカポストビス	2
⑬	リアプレート(R)	1	48	フロントサスアーム	2	83	スプリング受	4	118	M2.6ピロボール	4
⑭	◇(L)	1	49	5.8φボール	4	84	ダンパーエンド	4	119	5φ×10メタル(金属)	2
⑮	カウンターギヤ	1	50	ボールエンド(大)	12	85	ジョイントカラー	2	120	抵抗プロテクター	1
⑯	M3ピロボール	8	51	アッパーロッド	4	86	ギヤカバー	1	121	メインギヤ	1
⑰	リアダンパーステー	1	52	フロントダンパーステー	1	87	ギヤカバーシール	1	122	スプロケット(A)	1
⑱	ギヤボックスハッチ	1	53	スイングシャフト	4	88	サーボスペーサー(A)	1	123	◇(B)	1
⑲	フロントサスプレート	1	54	ダンパーブッシュ	4	89	◇(B)	1	124	◇(C)	1
⑳	アンダーガード	1	55	タイロッド	2	90	サーボマウント	1	125	ベベルギヤ(A)	4
㉑	フロントサポート	1	56	リアシャフト	2	91	コントローラースプリング	1	126	◇(B)	4
㉒	メインシャーシ	2	57	リアハブ(R)	1	92	コントローラーナット	1	127	ベベルシャフト	2
㉓	フロントサイドプレート	2	58	サスシャフト(C)	2	93	コントローラー接点	2	128	バッテリーホルダー	2
㉔	フロントアッパーピボット(L)	1	59	リアサスアーム	2	94	コントローラー押え金具	1	129	バルクヘッド(L)	1
㉕	◇(R)	1	60	サスシャフト(D)	2	95	コントローラーピボット	1	130	◇(R)	1
㉖	リアメカポスト	2	61	リアサスストラット	1	96	コントローラーPC板	1	131	5φシム	4
㉗	フロントメカポスト	2	62	メカプレート	1	97	コントローラーホーン	1	132	ボディワッシャー	2
㉘	チェーンガイド(B)	1	63	センターギヤメタル	1	98	ドライバーポスト	1	133	デカール	1
㉙	◇(C)	1	64	センターギヤ	1	99	チェーンカバー(A)	1	134	レギュレーター	1
㉚	チェーン	1	65	Oリング	1	100	チェーンガイド(A)	1	135	コネクター	1
㉛	ボールナット	4	66	フックピン	4	101	◇(D)	1	136	グリス	1
㉜	セーバーシャフト(A)	1	67	ピニオンギヤ(12枚)	1	102	チェーンカバー(B)	1	137	ダンパーレンチ	1
㉝	◇(B)	1	68	◇(15枚)	1	103	フロントストラットプレート	1	138	ストラップ(中)	1
㉞	サーボセーバー(A)	1組	69	モーターカバー	1	104	サーボロッド	2	139	リアハブ(L)	1
㉟	◇(B)	1	70	RS-540Sモーター	1	105	セーバースペーサー	1	140	モーターコード	1

チェーンの調整

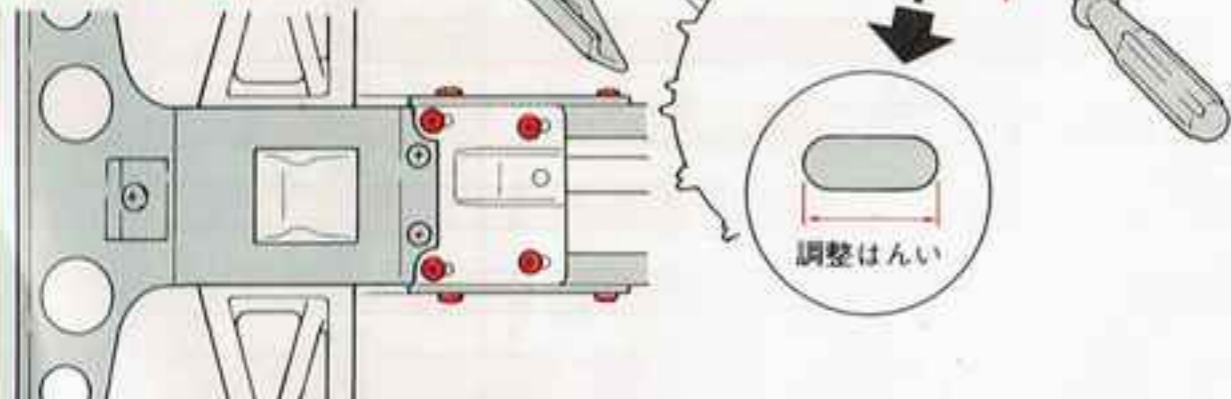
ニカドバッテリー5~6バック走行ごとにチェーンの張り具合の調整を必ずして下さい。

チェーンをたるんだまま走行させるとスプロケットにまきつき、スプロケットをこわすおそれがあります。必ず調整して下さい。

㊦チェーンの調整方法

チェーンカバー

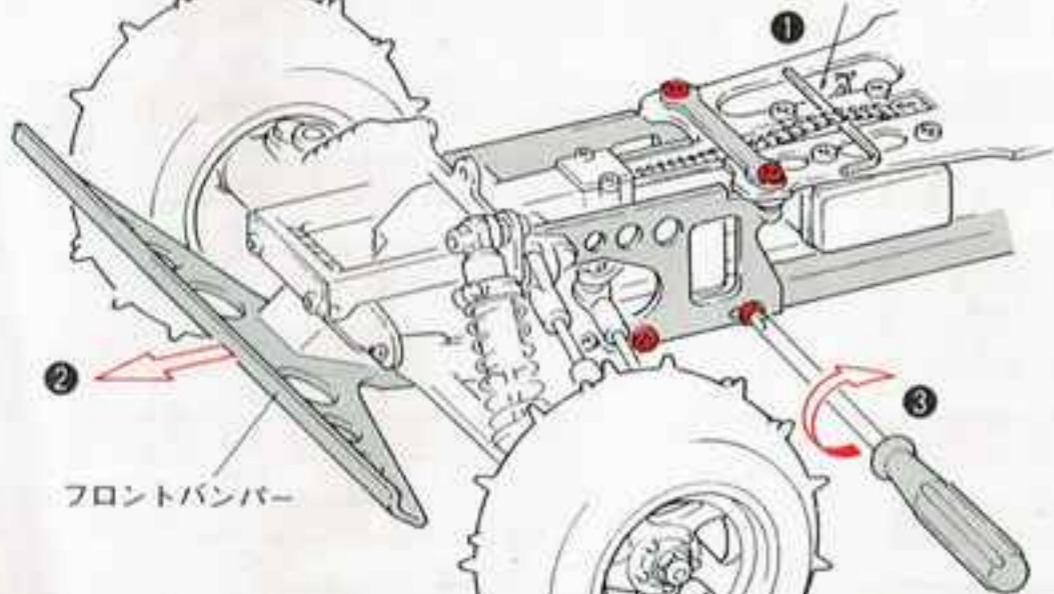
<下から見た図>



- ①まず赤くぬられたビス(10本)を半回転ぐらいゆるめて下さい。
- ②チェーンカバーをはずして下さい。

㊦チェーンの調整方法

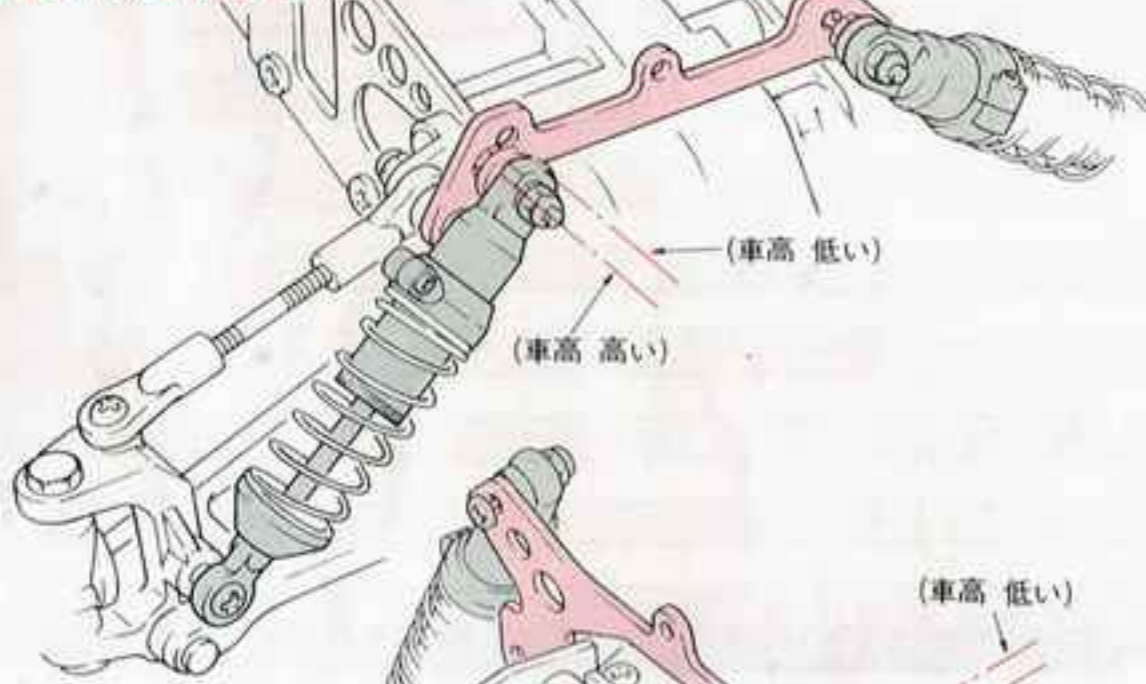
1.5ミリ六角レンチ



- ①1.5ミリの六角レンチを図のようにチェーンの下に入れて下さい。
 - ②1.5ミリのレンチを入れたままフロントバンパーを⇨印の方向にひっぱって下さい。
 - ③フロントバンパーをひっぱりながら赤くぬられたビス(10本)をしめて下さい。
- ★この状態がチェーンの抵抗も少なく効率の良い張り具合です。

車高の調整

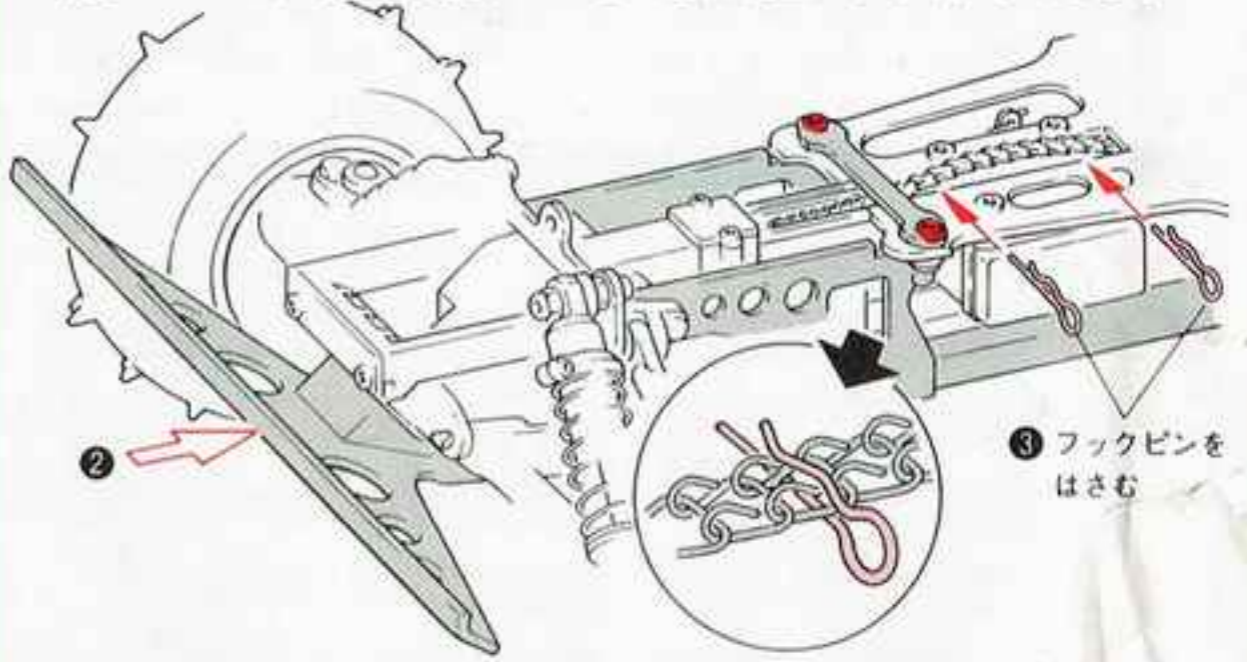
(1) フロントの車高調整



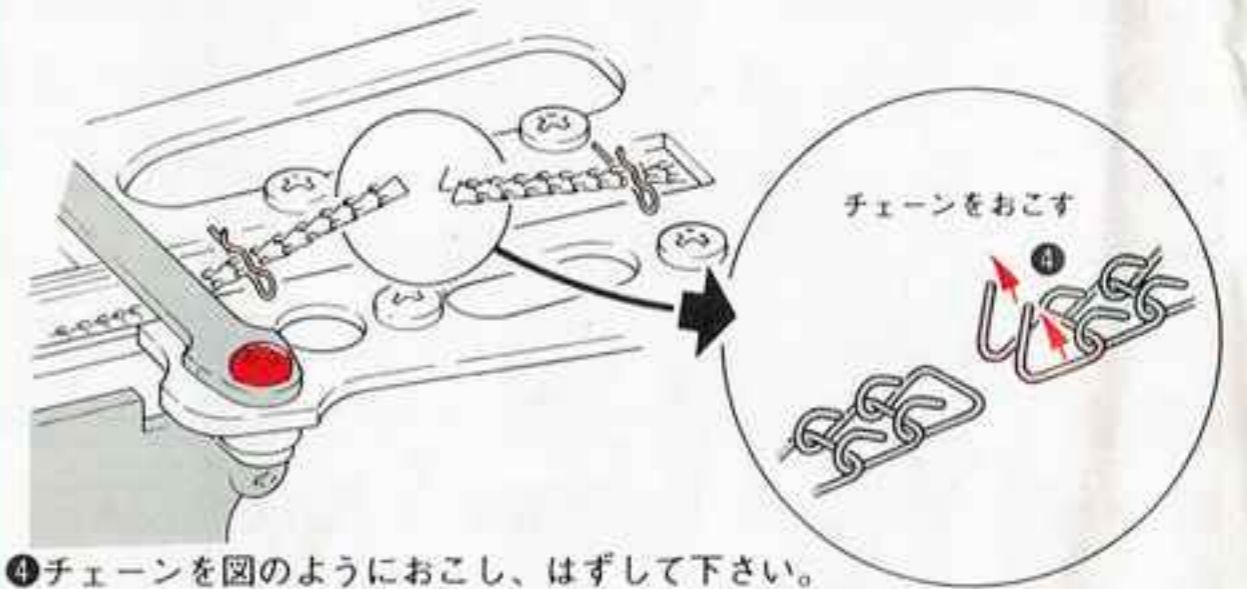
(2) リアの車高調整

※上図のように走行場所に合わせ、車高調整ができます。主にグリップの良い芝生などは車高を低く、グリップの悪い所では車高を高くセットして下さい。

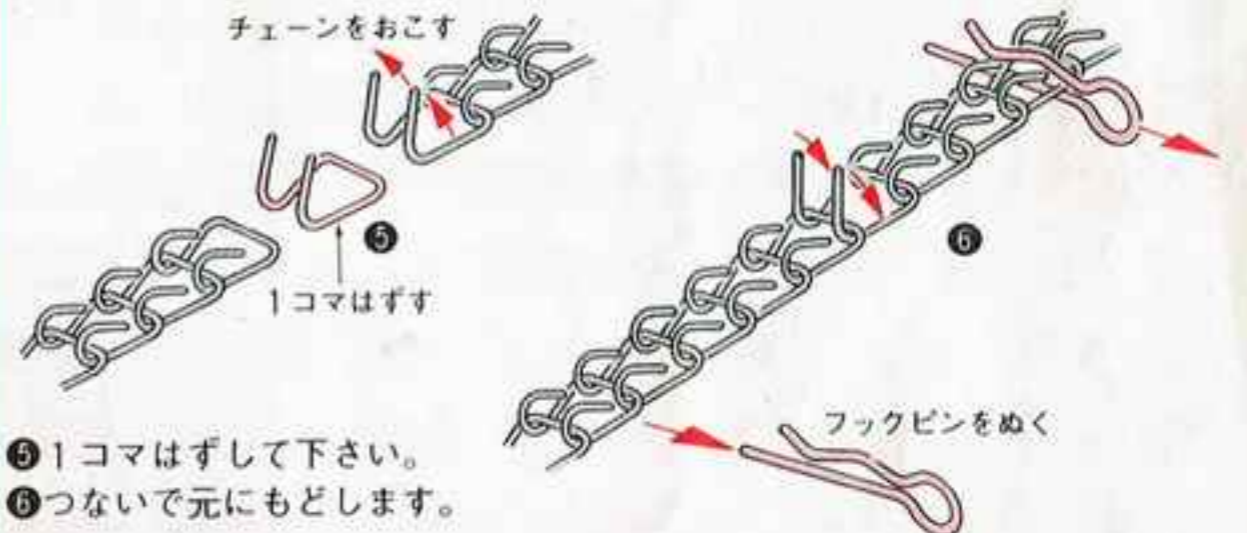
●チェーンがのびすぎて調整はんいをこえ、調整できなくなったときは...



- ①左図の赤くぬられたビス(10本)をゆるめ...
- ②つぎにフロントバンパーを⇨印の方向に強くおし、チェーンをたるませる。
- ③チェーンにフックピンをはさんでおきます。チェーンをはずしたとき、ギヤボックスの方にチェーンが入っていかないようにするためです。



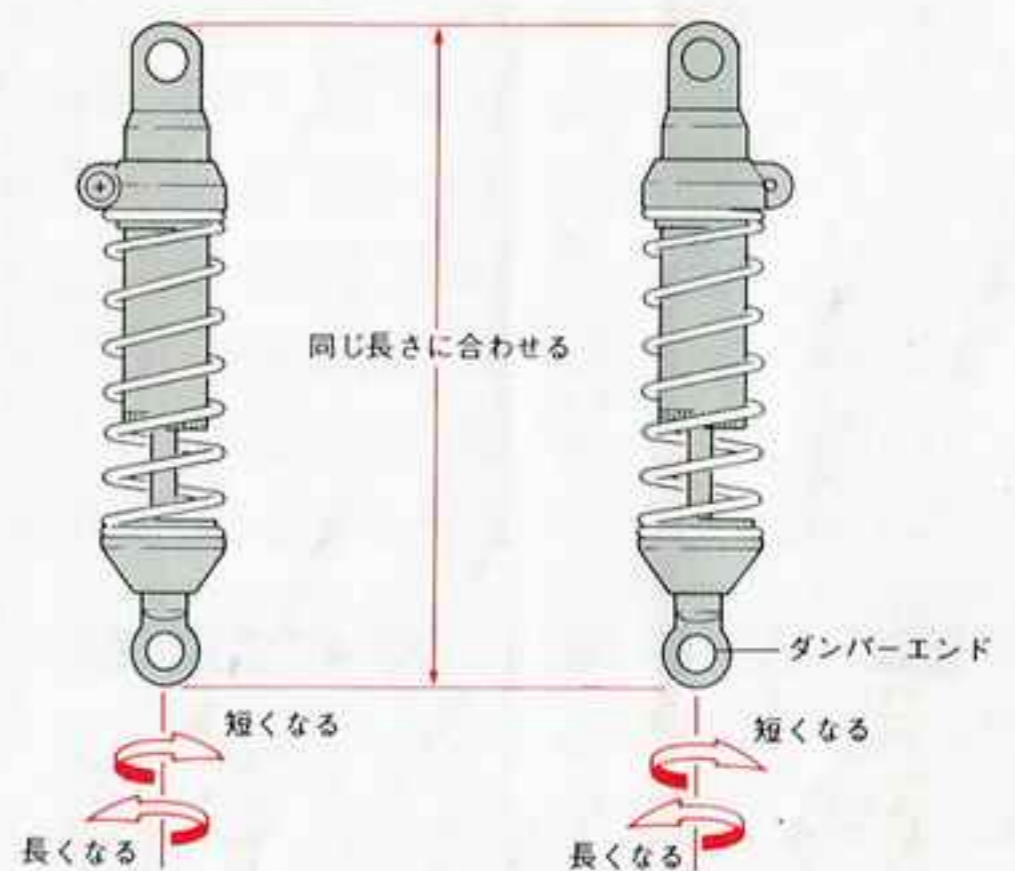
- ④チェーンを図のようにおこし、はずして下さい。



- ⑤1コマはずして下さい。
- ⑥つないで元にもどします。

★チェーンを1コマつめ、つないだら左図のチェーン調整方法で調整して下さい。

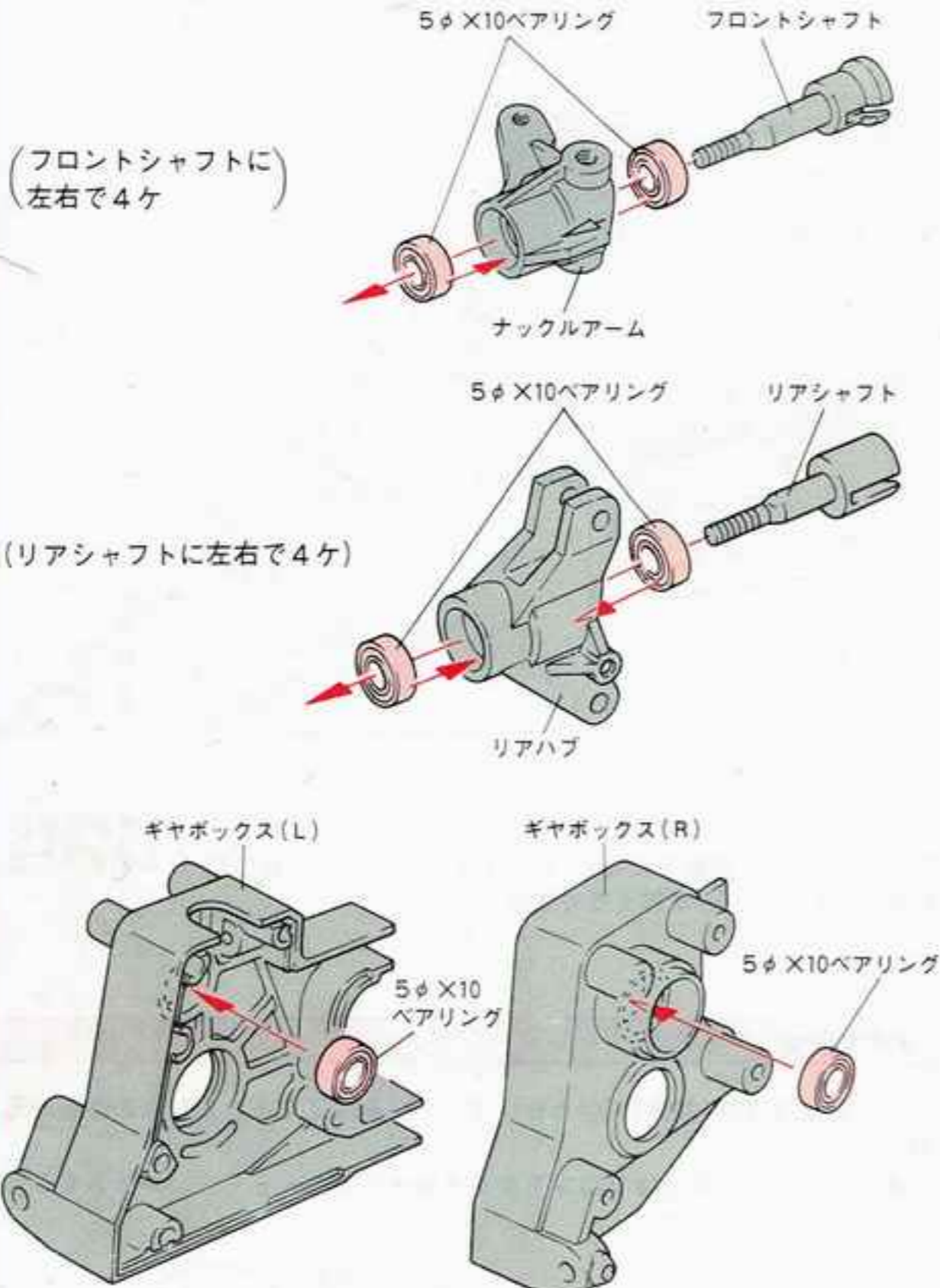
ダンパーの寸法調整



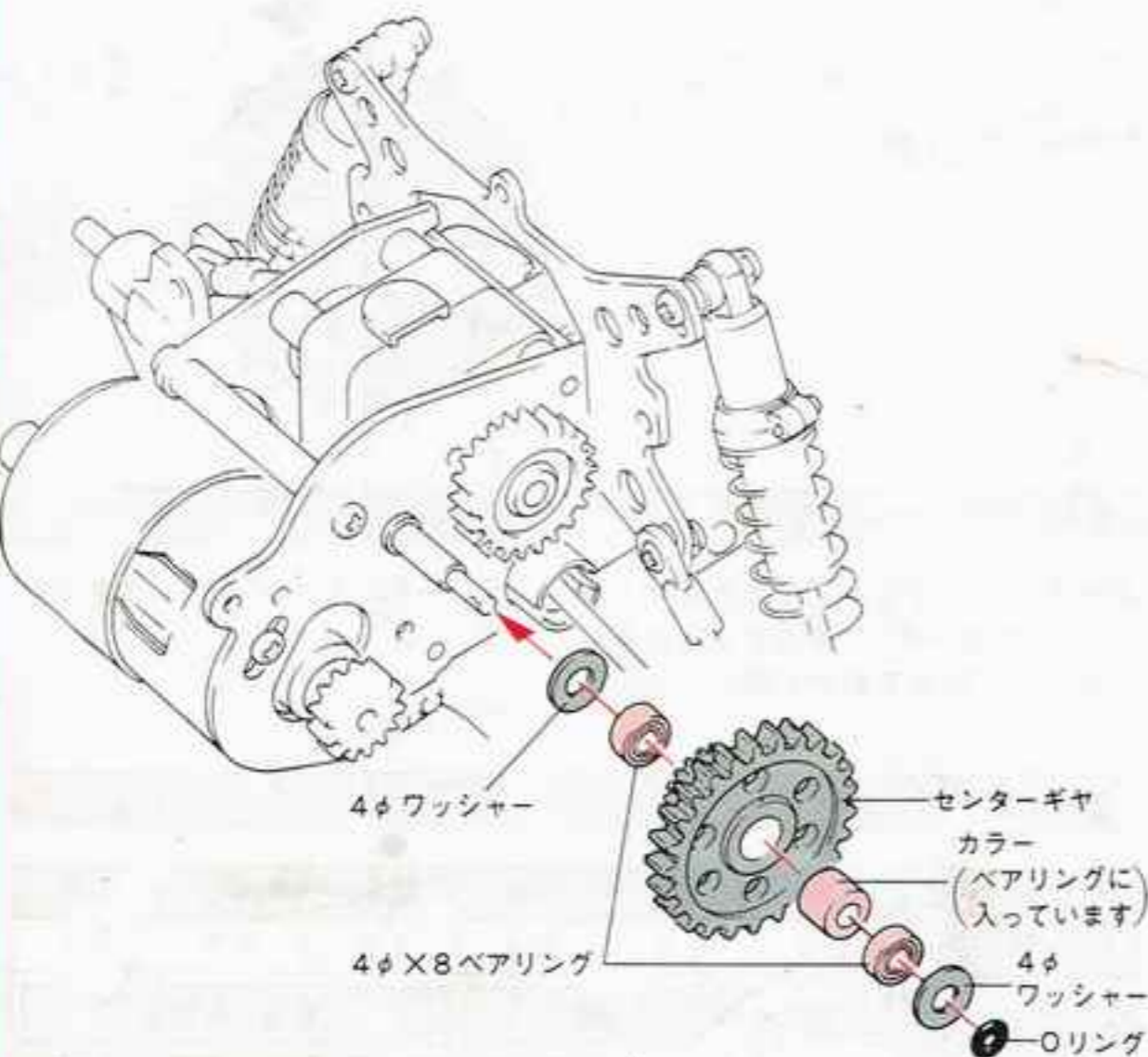
※フロントダンパーどうし、又リアダンパーどうしの長さはダンパーエンドのネジ部をまわし、左右同じ長さに調整して下さい。左右の長さがちがっていると右・左のコーナリングの大きさがちがったり、直進性も悪くなります。

オプションベアリング

オプションのベアリングを使用することで、よりスムーズな回転になり、スピード、走行時間がアップします。



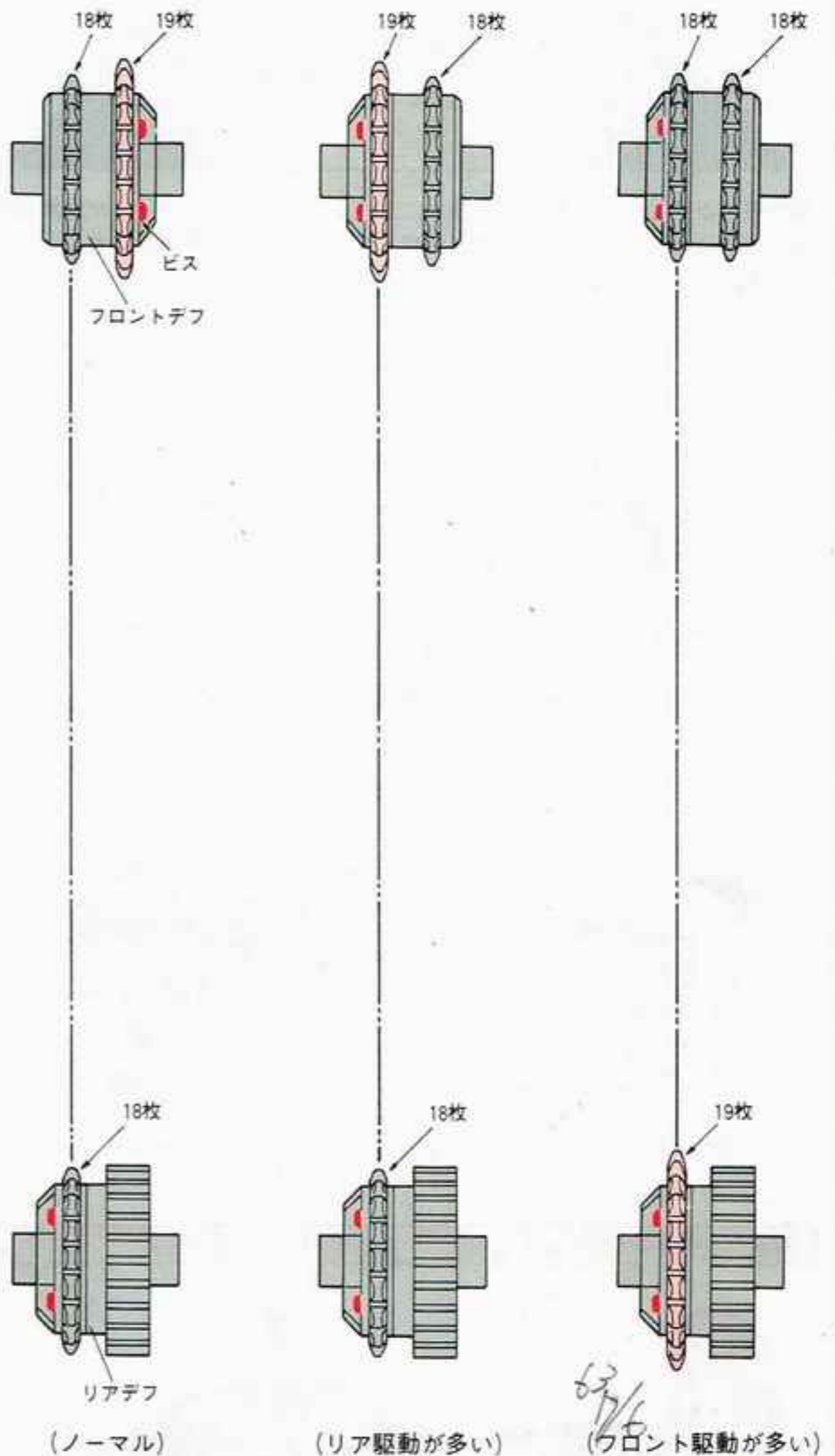
上図で使用するベアリングは5φ X 10ベアリングで10ヶ使用します。KYOSHOでは2ヶを1セットにしたベアリング No.1901ボールベアリング5φ X 10を¥700で販売しています。オプティマには5セット必要です。



上図で使用するベアリングは4φ X 8ベアリングで2ヶ使用します。KYOSHOでは2ヶを1セットにしたベアリング No.1903ボールベアリング4φ X 8を¥700で販売しています。オプティマには1セット必要です。

前、後輪の回転差の変更

本車はスプロケットを入れかえることにより、前輪と後輪の回転差を変えることができます。



説明書通りに組立てると前、後輪が同じ回転。
リアの回転の方が多くなり、リア駆動ぎみになる。
フロントの回転の方が多くなりフロント駆動ぎみになる。

チェーンの防じんについて

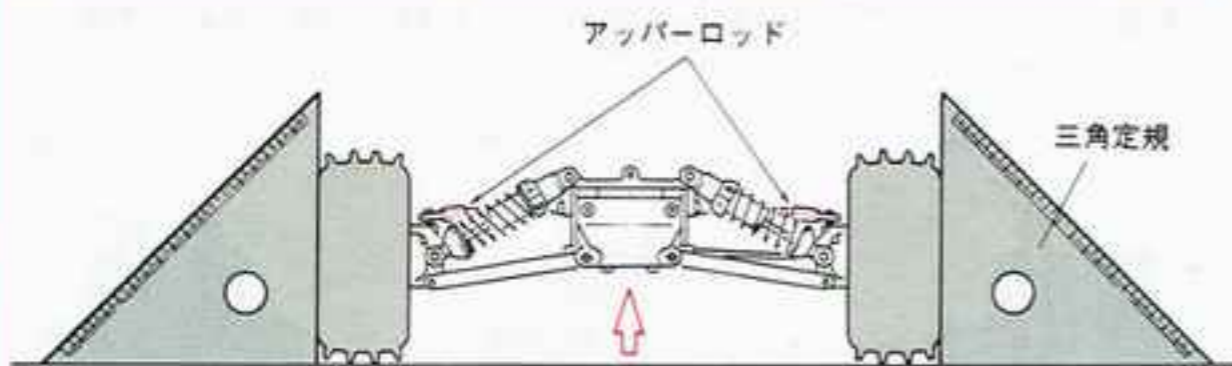
チェーンカバー、チェーンガイドから砂、ゴミが入らないよう、常に気をつけて下さい。
チェーンカバー、チェーンガイド等のすきまをセロテープ又はバスコーク等でシールすると良いでしょう。
又、ときどきギヤボックスハッチをとり、車をうらがえしにし、ハッチの穴から砂等を出すようにして下さい。

(注意) チェーンガイドの中にゴミや小さい砂利等が入るとスプロケットやギヤ等を破損することがあります。

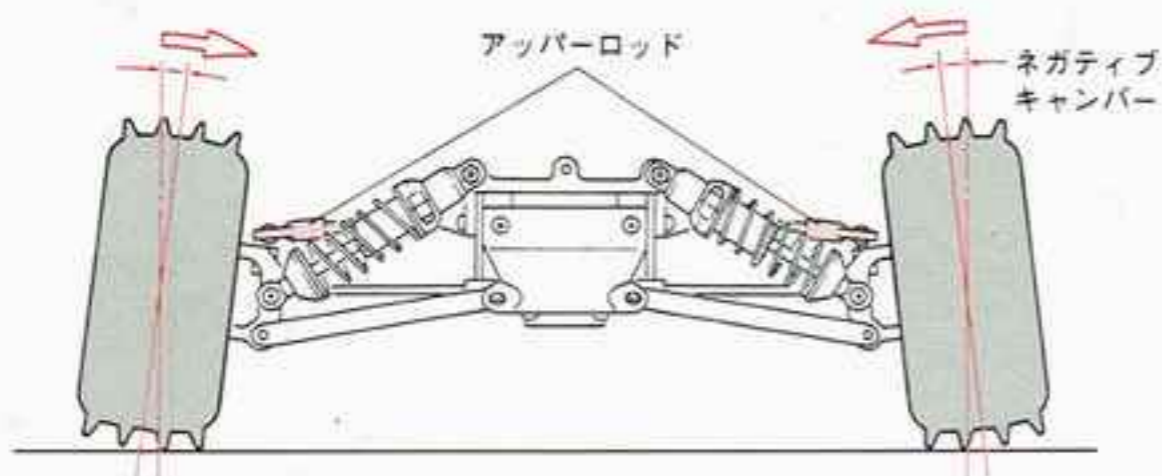
チェーンの入れかた

チェーン交換等で完成後チェーンを入れるときは、チェーンカバー(B)をはずし、チェーンが常に下にたれていく方向に車を合わせ、タイヤを回転させながらフロントデフからリアデフにからませていきます。多少のコツがいりますが可能です。

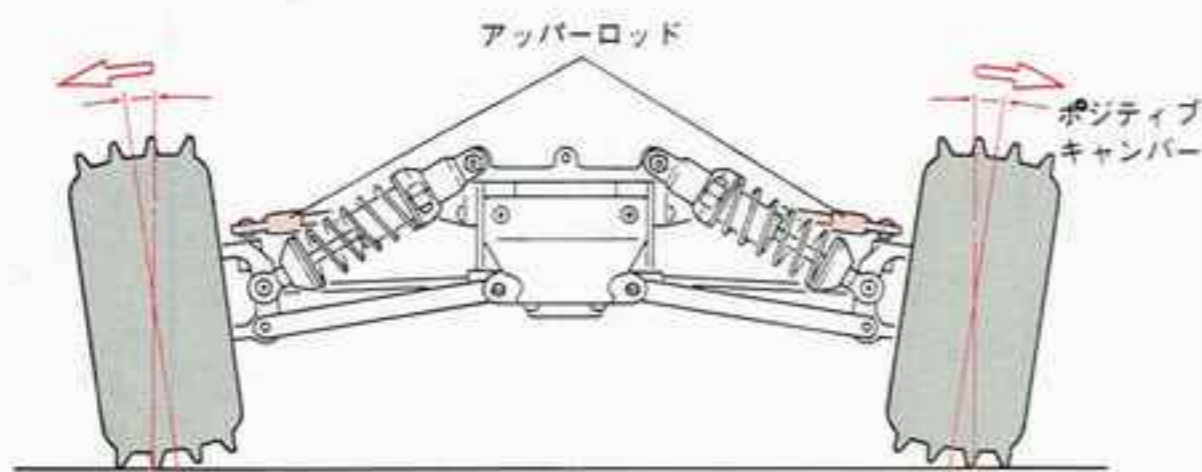
基本セッティング(1)



車を平らな所におき、車高を一番上に上げた状態でタイヤが地面と90度になるよう、フロントリアのアッパーロッドの長さを調整します。
 (注)車高を変えた時(説明書19ページ参照)も上記の調整をして下さい。

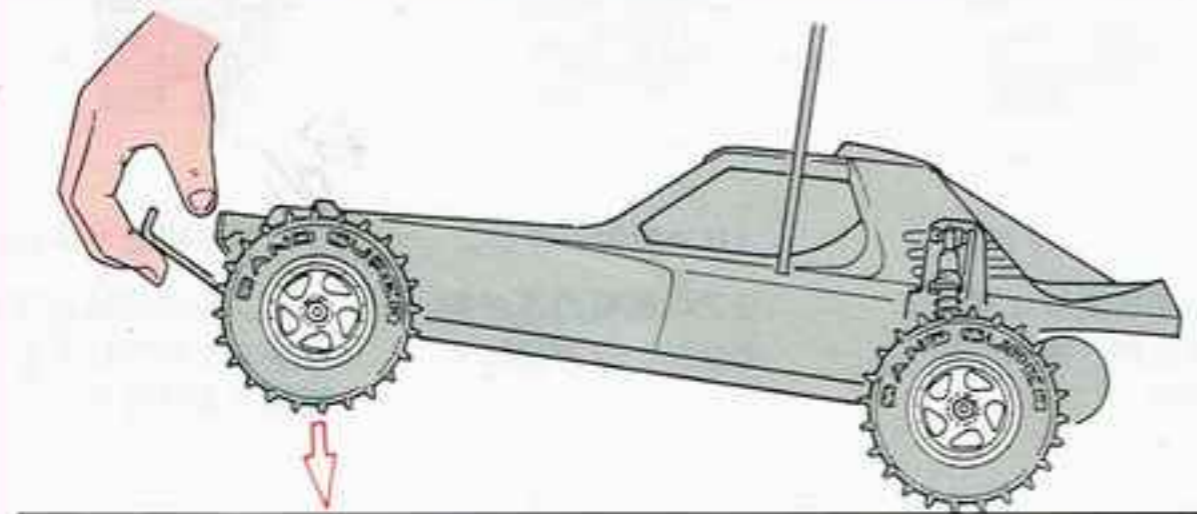


アッパーロッドを短くするとネガティブキャンバーがつく。

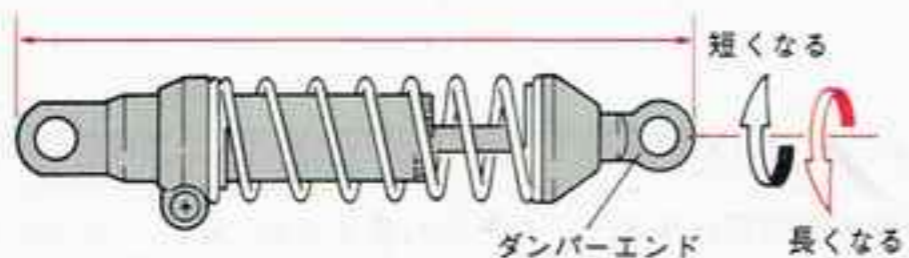
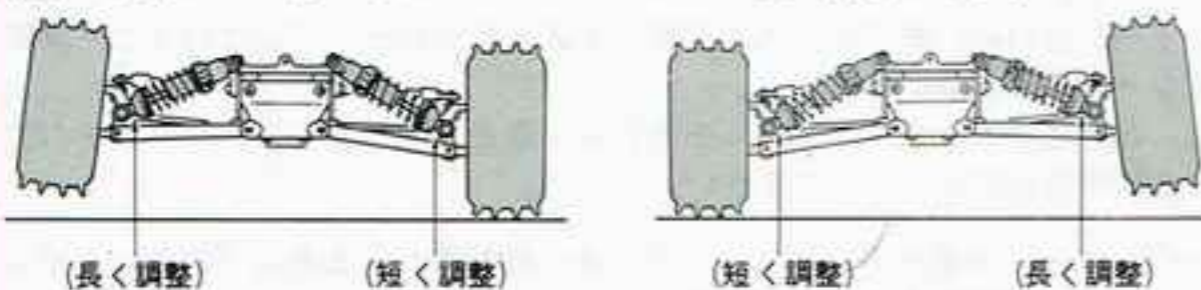


アッパーロッドを長くするとポジティブキャンバーがつく。

基本セッティング(2)

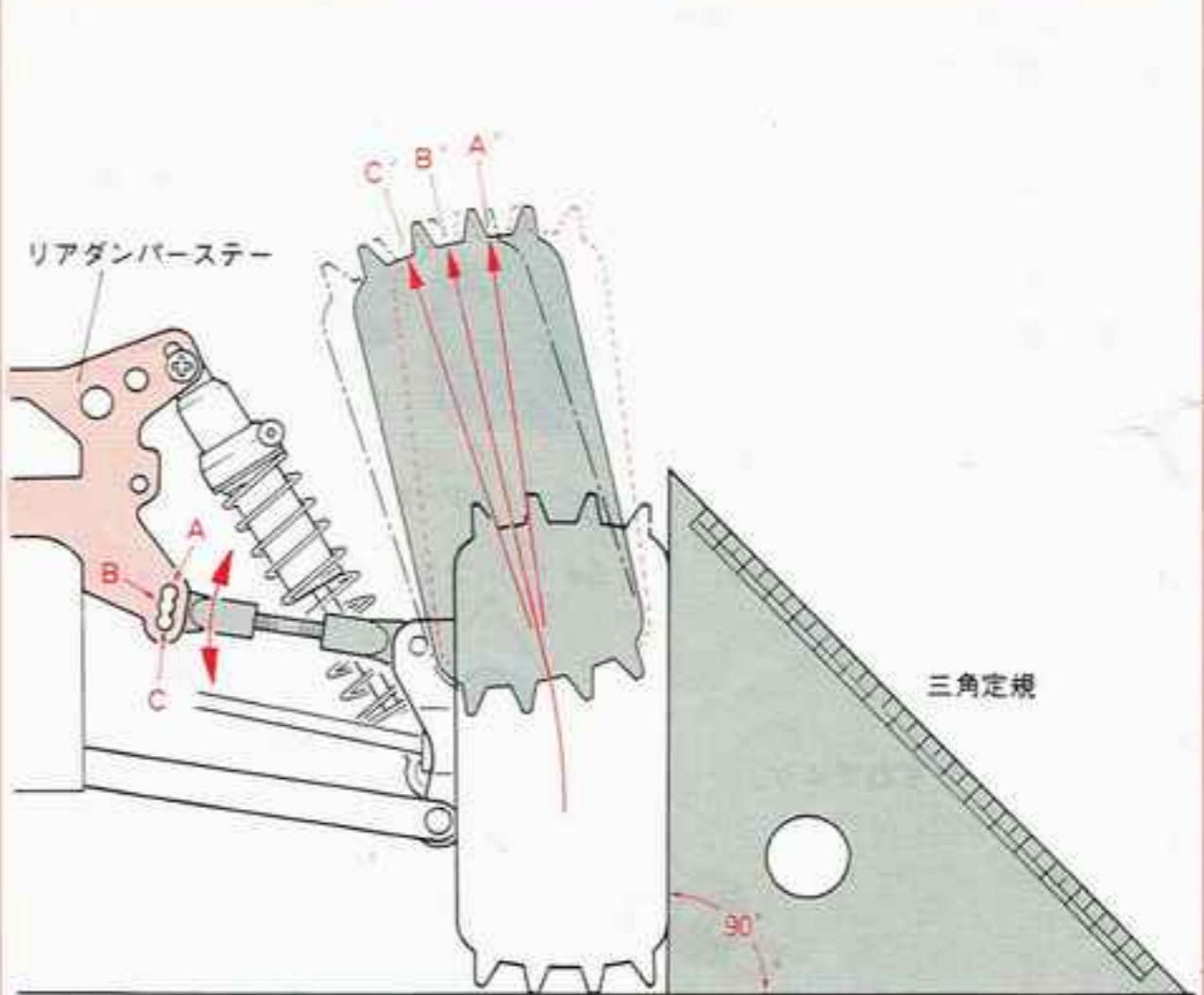


車を平らな所におき、前輪をもち上げ、つぎにゆっくりと前輪を下げていったとき、平らな所に前輪の左右が同時につくよう、ダンパーの長さを調整する。前輪が同時につかないと右・左のステアリング量が異なります。



ダンパーエンドをねじって長さを調整する。

リアアッパーロッド取付位置とキャンバー変化の関係

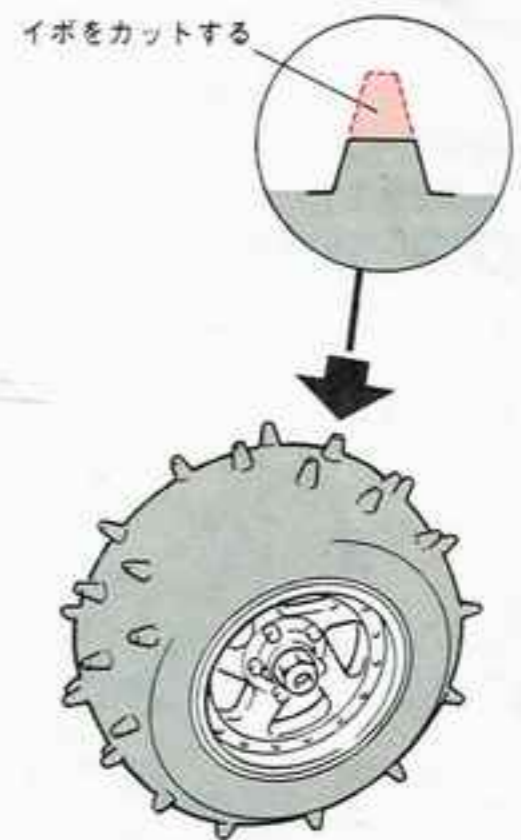


リアダンパースターのアッパーロッド取付位置をAにすると、リアサスがしずんだとき、A'の動きになり、BにするとB'、CにするとC'とA⇒B⇒Cにするほどキャンバーが強くなります。

タイヤのセッティング(1)

タイヤは走行場所(路面)に合わせ、スパイクを加工するとより車の性能が発揮できます。

※車がクイックな場合はフロントタイヤのイボを $\frac{1}{2}$ 〜 $\frac{3}{4}$ ぐらいカットするとマイルドになります。



走行場所	イボの加工量
芝 生	イボを半分カット
コンクリート	イボを $\frac{3}{4}$ カット
砂 地	加工しない
かたいダート	イボを $\frac{1}{2}$ カット
やわらかいダート	加工しない

タイヤのセッティング(2)

よりタイヤのグリップを上げたいときは、SC-84 スペシャルリアタイヤ(スコピオン用)を使用することもできます。1セット用意しておくといいでしょう。

ギヤ比とオプションモーター

ギヤ比	12枚	13枚	14枚	15枚	16枚	17枚
ピニオンギヤ	12枚	13枚	14枚	15枚	16枚	17枚
ギヤ比	10.3	9.5	8.8	8.2	7.7	7.3
適合モーター	ル・マン240S			RS-540S		
	ル・マン360PT					
	ル・マン480GOLD					

部品を紛失、破損された時

下記の品番、部品名、内容を確認し、キットをお求めいただいた模型店で品番を言ってお求め下さい。近くに模型店がなく部品が入手できないときは「京商サービス部」へ部品代に送料を加え(郵便普通為替または現金書留)品番を明記の上、直接お申し込み下さい。※2品以上お求めの場合の送料は、品番の中で一番高い送料のみお送りください。他の送料はサービスとなります。なお、〒番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号を明記して下さい。又、お申し込みになられたパーツはご送金いただいてからお届けできるまで10日以上かかる場合もありますので御了承下さい。 ●表示の送料は昭和60年9月10日現在のもので法規改正にともない変更になる場合がありますので御了承下さい。

品番	部品名	内容(キ- No. 入数)	定価	送料
OT-1	ギヤボックス	⑨ ⑪ ⑬ ⑭ 各1ケ	600	170
OT-2	チェーン	⑳ ×1ケ	600	120
OT-3	ホイールセット	② ③ ④ 各4ケ	600	240
OT-4	キングピン	⑳ ×4ケ	250	70
OT-5	ジョイント	⑥ ×2	300	120
OT-6	スイングシャフト	⑤③ ×2	550	70
OT-7	リアプレートセット	⑫ ⑬ ⑭ 各1ケ	850	120
OT-8	フロントサイドプレート	⑮ ×1ケ ⑯ ×2ケ	250	120
OT-9	ダンパーステー	⑰ ⑱ 各1ケ	350	70
OT-10	メタルセット	⑲ ×1ケ ⑳ ×2ケ ㉑ ×10ケ	300	120
OT-11	サスシャフト	④⑤ ⑥⑦ ⑧ 各2ケ	350	120
OT-12	メカプレート	⑫ ×1ケ	600	120
OT-13	サスアームセット	④⑤ ⑥⑦ 各2ケ	350	120
OT-14	アンダーガード	⑲ ×1ケ	250	120
OT-15	フロントバンパー	⑱ ×1ケ	250	120
OT-16	ナックルアーム	⑳ ㉑ 各1ケ	500	120
OT-17	フロントシャフト	④① ×2ケ	450	120
OT-18	リアシャフト	⑤⑥ ×2ケ	450	120
OT-19	ドライブワッシャー	⑩ ×4ケ	250	70
OT-20	メインシャーシ	㉒ ×2ケ	750	120
OT-21	ビス、ナット、レンチセット	キットの袋詰(OP-1)と同じ内容	950	120
OT-22	ボディワッシャー	㉓ ×10ケ	250	70
OT-23	ピニオンギヤ(12T)	⑥⑦ ×1ケ	250	120
OT-24	ピニオンギヤ(15T)	⑥⑧ ×1ケ	250	120
OT-25	ボディ(オブティマ)	⑩ ×1ケ	1,700	240
OT-26	ドライバー	㉔ ㉕ 各1ケ	450	120
OT-27	スプロケット、ギヤセット	⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ 各1ケ	750	120
OT-28	デフギヤセット	㉖ ×2ケ ㉗ ㉘ 各4ケ	750	120
OT-29	Oリング	⑥③ ×10ケ	200	70
OT-30	タイヤ	① ×2ケ	900	170
OT-31	M3ピロボール	⑬ ×10ケ	350	70
OT-32	5.8φボール	④⑨ ×10ケ	250	70
OT-33	ボールナット(M2.6)	⑤⑩ ×10ケ	250	70
OT-34	プレートセット	⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ 各1ケ	300	120
OT-35	アッパーロッドセット	⑳ ×1ケ ㉑ ×2ケ ㉒ ㉓ 各4ケ ㉔ ×8ケ	380	70
OT-36	M2.6ピロボール	⑩ ×10ケ	350	70
OT-37	コードセット	⑩ ×1ケ ⑪ ×1組	400	70
OT-38	シリコングリス(2本入)	⑬ ×2ケ	300	120
OT-39	Eリング(2.5)	④④ ×10ケ	120	70
OT-40	ストラップ(L-150)	⑩ ×6ケ	180	70
OT-41	ファイナルピニオン	⑩ ×1ケ	280	120
OT-42	サーボセーバーセット	⑳ ㉑ ㉒ 各1ケ ㉓ ×1組	350	120
OT-43	リアダンパーセット	⑳ ×1ケ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ 各2ケ	1,500	120
OT-44	デカール(オブティマ)	⑩ ×1ケ	300	120
OT-45	リアハブ	⑤⑦ ⑧ 各1ケ	200	120
OT-46	チェーンガイドセット	㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 各1ケ	300	120
OT-47	フロントハブセット	㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 各1ケ	250	120
OT-48	バッテリーホルダーセット	⑬ ⑭ ⑮ 各1ケ ⑯ ⑰ ⑱ 各2ケ	250	120
OT-49	ギヤカバーセット	⑥⑤ ⑥⑥ ㉑ ㉒ ㉓ 各1ケ	250	120
SC-40	モーターカバー	⑥⑨ ×1ケ	350	120
SC-46	両面テープ	⑥ ×1ケ	180	70
SC-67	コントローラーセット	⑨① ⑨② ⑨③ ⑨④ ⑨⑤ ⑨⑥ ⑨⑦ 各1ケ ⑨⑧ ×2ケ	1,250	120
SC-78	コントローラーPC板	⑨⑥ ×1ケ	450	70
SC-79	コントローラー接点	⑨⑨ ×2ケ	300	70
SC-105	抵抗	⑩ ×1ケ	350	120
SC-107	コネクタ	⑩ ×1ケ	300	70
SC-89	タイロッド	⑤⑤ ×2 ⑤⑥ ⑤⑦ 各4ケ	450	70
SC-101	リアシャフトシム	⑩ ×10ケ	80	70
EF-37	ストラップ(小)	⑩ ×6ケ	180	70
EF-38	ストラップ(中)サーボ止め用	⑩ ×6ケ	300	70
EF-39	ニカドストラップ	⑩ ×6ケ	400	70
EP-22	フックピン	⑥⑥ ×5ケ	100	70
LD-79	ダンパーブッシュ	⑤④ ×10ケ	300	70
SD-79	アンテナパイプ	⑩ ×5ケ	250	120
1911	8φ×14ベアリング	⑤ ×2ケ	700	70
AB-30	フロントダンパー	④⑨ ④⑩ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ 各2ケ ㉝ ×1ケ	1,500	120
オ ブ シ ョ ン パ ー ツ				
OT-50	ピニオンギヤ(13T)	ギヤ比(9.56:1)	250	120
OT-51	〃 (14T)	〃 (8.87:1)	250	120
OT-52	〃 (16T)	〃 (7.76:1)	250	120
OT-53	〃 (17T)	〃 (7.31:1)	250	120
OT-54	スタビライザーセット	フロント及びリアスタビライザーセット	1,000	120
SC-80	4速用抵抗	前進4段変速用抵抗	650	120
1901	ボールベアリング(5φ×10)	2ケ入り	700	70
1903	〃 (4φ×8)	2ケ入り	700	70
1951	ダンパーオイルセット(S.M.H)	ソフト、メディアム、ハードの3本セット	800	